

世界が進むチカラになる。



お客さま本位の取組み

～ お客さまの最善の利益の追求に向けて

2026年6月

三菱UFJフィナンシャル・グループ

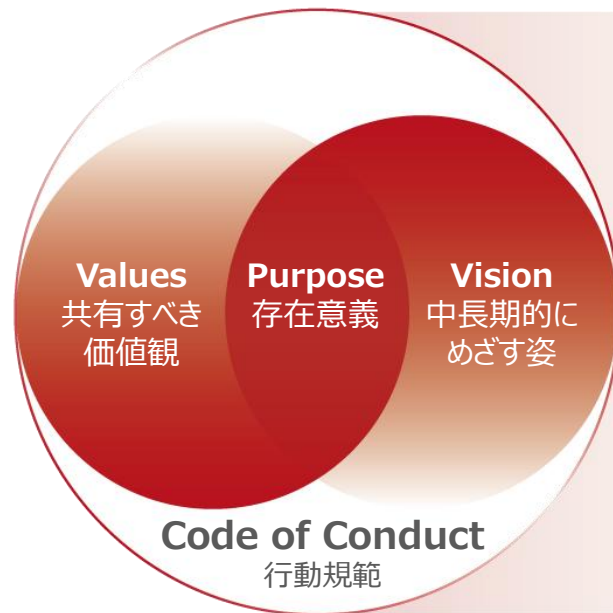
目次

- MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針
- MUFG FD基本方針に基づく取組状況
 - 1. お客さま本位の徹底
 - 2. お客さまのニーズをとらえた商品の開発・提供
 - 3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践
 - 4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備
 - 5. お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化
 - 6. 資産運用を支える資産管理総合サービスの品質向上
 - 7. グループ総合力を活用した金融サービスの提供
 - 8. 快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備
 - 9. プロフェッショナリズムの発揮
- 製販全体としてお客さまの最善の利益を実現するための取組み（組成会社・販売会社における情報連携）
- 共通KPI

MUFGフィデューシャリー・ デューティー基本方針

MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針と行動規範

- MUFG Wayは、従業員一人ひとりが社会における存在意義（Purpose）を認識し、MUFGグループが経営活動を遂行するにあたっての最も基本的な姿勢を示したものであり、すべての活動の指針です。
- また、行動規範は、MUFG Wayの下に、役職員が日々いかに判断し行動すべきかの基準を示し、下支えする大切なものです。
- MUFGは、お客さま本位の取組みの徹底を図るため、「お客さまに対する姿勢」を「行動規範」の第1章に掲げ、それを基にグループ共通の指針となる「MUFGフィデューシャリー・デューティー基本方針」（以下、MUFG FD基本方針）を策定・公表しています。



MUFG Way

Purpose

世界が進むチカラになる。

Values

1. 「信頼・信用」
2. 「プロフェッショナリズムとチームワーク」
3. 「挑戦とスピード」

Vision

世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ

Code of Conduct（行動規範）



第1章

「お客さま」に対する姿勢



第2章

「社会」に対する責任



第3章

「職場」における心構え

MUFGのお客さま本位の業務運営

- 当資料では、主に安定的な資産形成を図る個人のお客さま向けに、MUFGグループ各社の2025年度の取組状況、2026年度のアクションプランを、具体的な指標（KPI）・取組事例とあわせて取り纏まとめております。

MUFG FD基本方針*1の位置付け

- 本方針の下、グループ各社はお客さま本位の姿勢を共有し、その取組状況を定期的に公表するとともに、MUFGもその取組みをモニタリングし、本方針の内容自体も定期的に見直します。
- また、本方針は、行動規範*2、金融庁公表の「顧客本位の業務運営に関する原則」（2024年9月改訂）と対応しており、その関係は右表の通りです。

MUFG FD基本方針		金融庁顧客本位の業務運営に関する原則		当資料 該当ページ
	0. 序文		【補充原則1・2・5】	P4-5・41
行動規範 1-1	1. お客さま本位の徹底	【原則2】		P8-14
	2. お客さまのニーズをとらえた商品の開発・提供	【原則6】	【補充原則3・4】	P15-16、38-40
誠実な行動	3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践	【原則4-7】		P17-25
行動規範 1-2	4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備	【原則3・6】	【補充原則3・4】	P26-29、38-40
	5. お客さまの投資成果向上に向けた運用の高度化	【原則3・6】		P30-32
品質の追求	6. 資産運用を支える資産管理総合サービスの品質向上	【原則2・6】		P33
行動規範 1-3	7. グループ総合力を活用した金融サービスの提供	【原則2】		P34-35
	8. 快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備	【原則6】		P36
期待を超えるサービスの提供	9. プロフェッショナリズムの発揮	【原則2】		P37
共通KPI				P42-64

運営態勢

- MUFGはフィデューシャリー・デューティー推進委員会（以下、FD推進委員会）等を定期的に開催し、お客さま本位の業務運営態勢のさらなる強化や、ベスト・プラクティスの共有を含めたグループ一体での業務推進を行っており、その内容はグループ経営会議等に定期報告されています。
- FD推進委員会には外部有識者をアドバイザーとして招聘し、社外視点からの提言・助言を得るとともに、お客さま本位の業務運営に係る活動内容全体については、社内コンプライアンス部門や監査部門による検証・評価もされており、様々な観点から議論を行っています。
- また、持株組織である資産運用戦略室では、グループを横断した情報共有を行い、集約した情報から得られる示唆を各グループ会社へ展開することでさらなるガバナンス強化をめざして取り組んでいます。

*1 MUFG 基本方針：<https://www.mufig.jp/profile/governance/fd/>

*2 行動規範：https://www.mufig.jp/profile/governance/ethics/index.html?link_id=gnavi_profile_internal_governance_ethics

MUFGのグループ各社

- MUFG FD基本方針に則り、2025年度の取組状況、2026年度のアクションプランおよび具体的な指標（KPI）を策定・公表しているグループ各社は、以下の通りです。

グループ各社の担う主な機能・役割

	販売	商品開発・運用	資産管理
三菱UFJ銀行 (銀行)	✓	✓	
三菱UFJ信託銀行 (信託)	✓	✓	✓
三菱UFJモルガン・スタンレー証券 (証券)	✓	✓	
三菱UFJ eスマート証券 (eスマ)	✓		
三菱UFJアセットマネジメント (MUAM)	✓	✓	
三菱UFJ不動産投資顧問 (MUREAM)		✓	
三菱UFJオルタナティブインベストメンツ (MUAIts)		✓	
日本マスタートラスト信託銀行 (MTBJ)			✓

() は当資料におけるグループ各社の略称

MUFG FD基本方針に基づく 取組状況

販売

商品開発・運用

1. お客さま本位の徹底

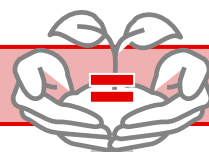
(1) 社会的責任の重さを一人ひとりが十分に認識し、常に公明正大かつ誠実な姿勢と高い職業倫理を持ち、お客さま本位の業務を徹底してまいります。【原則2】

- MUFGグループでは、お客さまの豊かな生活の実現に向けて「お客さまの最善の利益の追求」を定義し、お客さま本位の業務運営に取り組んでいます。
- この徹底を通じて、資産運用ビジネスの健全かつ持続的な成長の実現を目指しています。

めざす姿 ～ お客さまの最善の利益の追求 ～

MUFG

「資産運用立国」実現への貢献



資産運用ビジネスの健全な発展

お客さまからの信頼の獲得、貯蓄から投資の加速



“お客さまの最善の利益の追求”の実現



「お客さまの最善の利益の追求」定義

高い倫理観と専門性に基づき、大切な資産を「ためる・ふやす・まもる・つなぐ」ため、お客さまのゴール、ライフステージ、ご意向、理解度に合わせ、適切かつわかりやすい商品・サービス・チャネルの提供に努め、お客さま一人ひとりの人生に寄り添い、現在・未来を託せるパートナーとなるべく挑戦し続けること

お客さま本位の業務運営（MUFG FD基本方針）

1. お客様本位の徹底

販売

商品開発・運用

- MUFGは、金融庁のFD原則の趣旨・精神を踏まえ、グループ共通の「MUFG FD基本方針」を策定しています。
- さらに、その考え方を実務に落とし込み、お客さまの最善の利益を具体的に実現するための内部指針として、「MUFG資産運用ビジネスポリシー」を定め、グループ一体で運営しています。
- これらを基に、お客さまへの「5つのお約束」を明確化し、ご説明と実践を通じて、お客さま本位の業務運営を徹底しています。

顧客本位の業務運営の徹底 ～ 実現に向けた枠組み ～

MUFG

プリンシプル 顧客本位の業務運営（FD原則）

全社指針

MUFG FD基本方針

FD原則の趣旨・精神を具現化するべく策定した
“お客さま本位の取組の徹底を図るためのグループ共通の指針”

內部指針

MUFG資産運用ビジネスポリシー

「お客さまの最善の利益の追求」の実現に向けた具体的取組、
グループ各社の本部部署が遵守すべき指針

5つのお約束

「お客さまの最善の利益の追求」の実現に向けた
お客さまへの提案ポリシー

お客様の最善の利益

【ご参考】お客さま本位の業務運営の徹底「5つのお約束」

「5つのお約束」とは

お客様のゴールや想いに寄り添った資産運用のご提案をするために、MUFGが大切にする5つの考え方を明文化したものです

制定・改定の背景

2019年4月 制定
資産運用提案の方針
を分かりやすくお伝えす
ることを目的に制定

2026年4月 改定
お客さまや担当者の声
をふまえ、より分かりや
すい内容へ見直し

5つのお約束の内容

- 1 お客さまのゴールや想いを深く理解します
- 2 適時適切な情報を、丁寧にわかりやすくご説明します
- 3 多様なニーズに応じた質の高い商品・サービスを提供します
- 4 グループ総合力を活かし、多様なニーズにお応えします
- 5 プロとして研鑽に努め、高度なスキル・専門性を高めます



販売

商品開発・運用

1. お客様本位の徹底

- MUFGは、お客さまにとって付加価値のあるアドバイスをご提供し、大切なご資産の保全・形成や満足度の向上に努めています。
- これを実現するためのバリューチェーンを構築し、「規律性」「透明性」「一貫性」のあるアドバイスの提供をめざしています。

MUFGの資産運用におけるバリューチェーン

MUFG

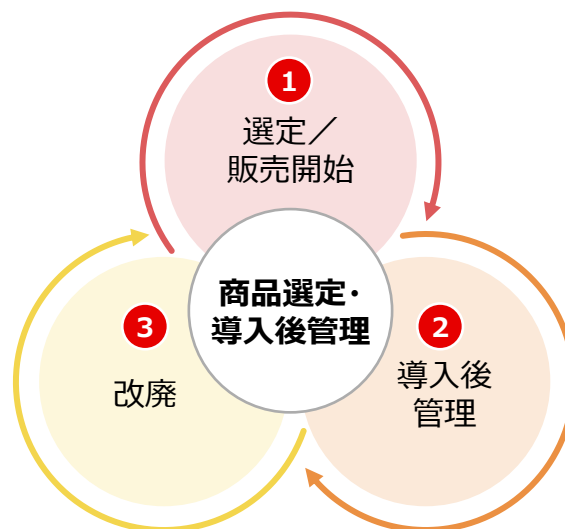
MUFGの公式見解 “ハウスビュー”

- MUFGでは、グループ各社の知見・ビジネス特性を活かし、資産運用における組織としての公式な「投資見解」としてハウスビューを策定・提供しています。国内外の経済情勢や金融政策について専門家が分析し、その見地からのくわしい解説や、分析結果を踏まえた資産配分例、投資戦略を掲載しています。

ハウスビューに
基づく
リスク推計デジタル活用
による
ポートフォリオ
構築定期的な
レビューによる
確認・見直し

お客さまの担当者は市場に対する見方をお客さまと共有し、ポートフォリオの構築や見直しなどのアドバイスをを行っています。アドバイスの起点にハウスビューがあるため、属人的な偏りがなく、一貫性のあるアドバイスをします。

プロダクトガバナンス



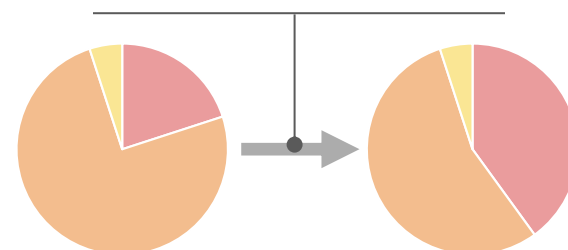
- ① 新商品導入時における適切な商品選定
- ② 商品導入後の適切な管理
- ③ 導入後管理結果を踏まえた商品取扱方針の検討

アドバイス (ポートフォリオ構築)

レビュー・ フォロー

- MUFGが提供するポートフォリオ提案とは、投資の効率性を高めるために、性格の異なる複数の商品を組み合わせる考え方です。MUFGでご提案するポートフォリオは、ハウスビューを参考にしており、お客さまの取り得るリスクや、ゴール毎に好ましいリスクの中で最適なポートフォリオを提供するようアドバイスに努めています。

市場環境の変化等による リスクコントロール



販売

商品開発・運用

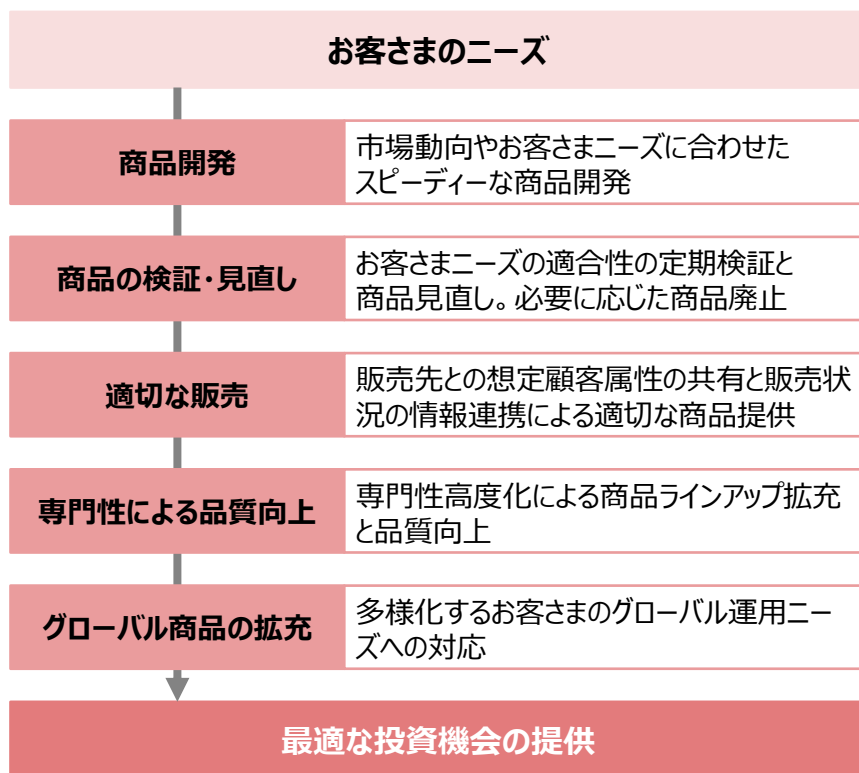
1. お客さま本位の徹底

- お客さま一人ひとりのニーズを起点に、商品を企画・提供し、継続的に見直し・改善しています。あわせて、運用管理や情報提供を適切に行うことで、安心してご利用いただける仕組みを整えています。これらを通じて、よりよい資産運用の機会を継続的にご提供します。

お客さまニーズに基づく一貫した商品開発

信託

- お客さまニーズに基づき、開発・検証・販売・改善の一貫サイクルを高度化することで、最適かつ持続的な資産運用機会の提供に取り組んでいます。



プロダクトガバナンス・ポリシー

MUAM

- お客さまの目線を重視する考え方のもと、大切にしていること、重視していることを「商品性」「運用管理」「開示」の3つの側面からポリシーとして制定し、さらなる品質向上に取り組んでいます。

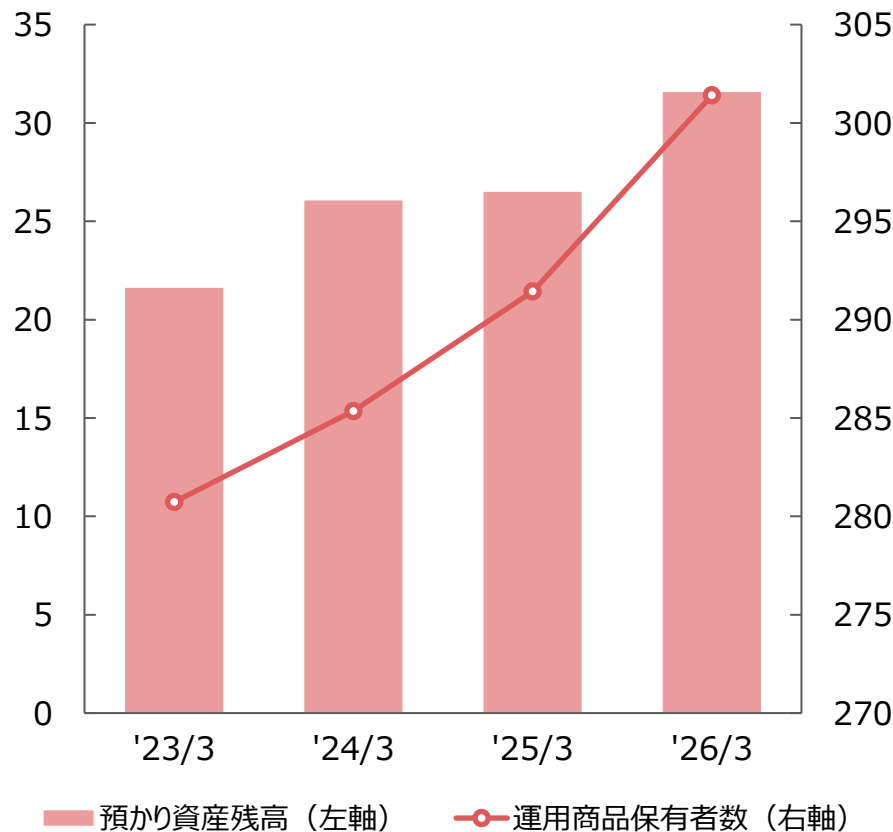
商品性	運用管理	開示
現在および将来、当社の投資信託を保有いただくお客さまのニーズに沿った最適な商品の組成・提供を目指します。	お客さまにご負担いただくコストに見合うリターンを確保できているかモニタリングすることにより、投資信託を通じた提供価値の維持を目指します。	お客さまの投資判断に必要な情報をご理解いただきやすく提供することを目指します。
提供価値（ファンドの目的・特色）の明確化	- 信託報酬（運用管理費用）等控除後の運用成果のモニタリングを徹底 - 運用成果の追求に向けた取組みの徹底 - ファンドの目的・特色が十分提供できていない場合、適時適切に対応	- 正確な情報をわかりやすく提供 - 様々な手段・方法で、タイムリーに情報を提供

販売

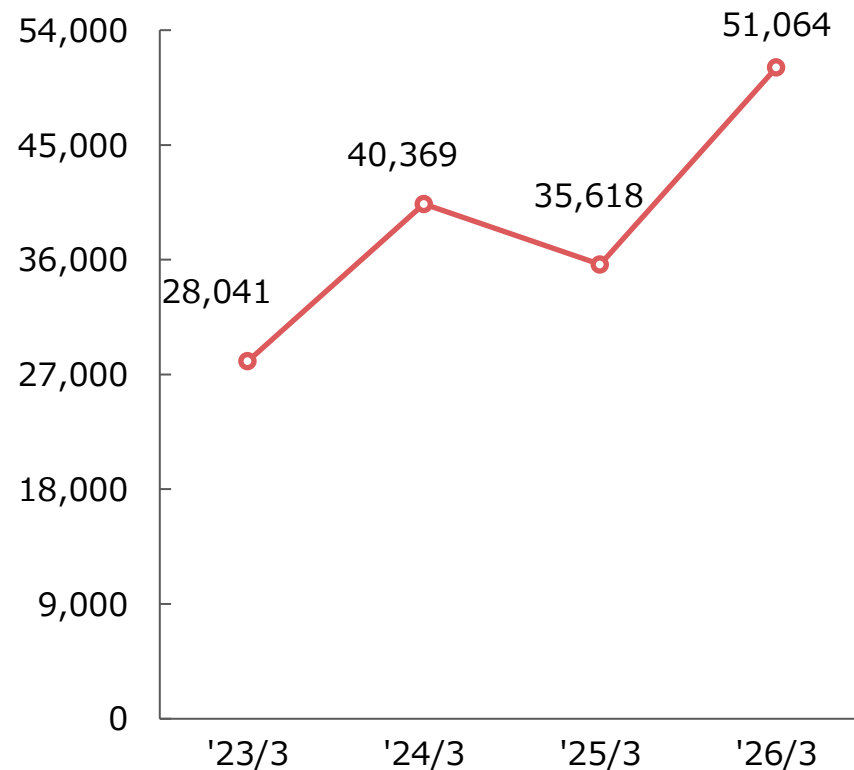
商品開発・運用

1. お客様本位の徹底

- 預かり資産残高は、足元の市況の変化による時価要因の影響もあり、増加いたしました。引き続き、中長期・資産分散型の提案を中心とした取り組みなどにより、お客様本位の業務を徹底してまいります。

預かり資産残高 (兆円)、運用商品保有者数 (万人)*1 **MUFG*2**

【ご参考】日経平均株価終値推移 (円)



*1 個人のお客様の取引実績、管理会計ベース

*2 対象範囲は、三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJ eスマート証券

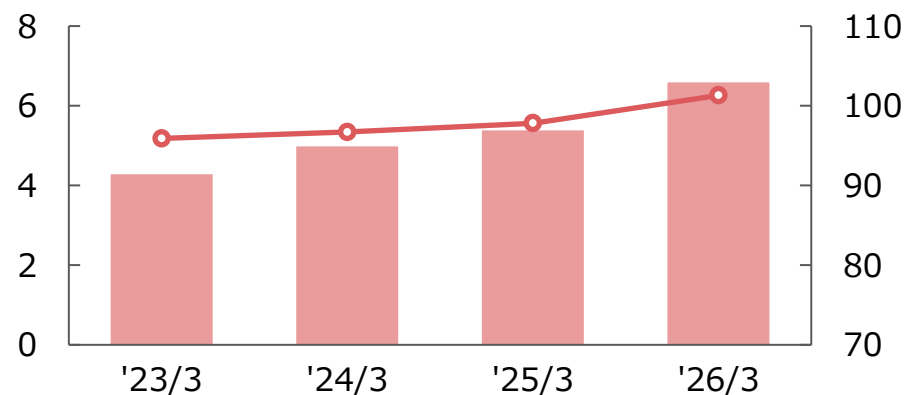
販売

商品開発・運用

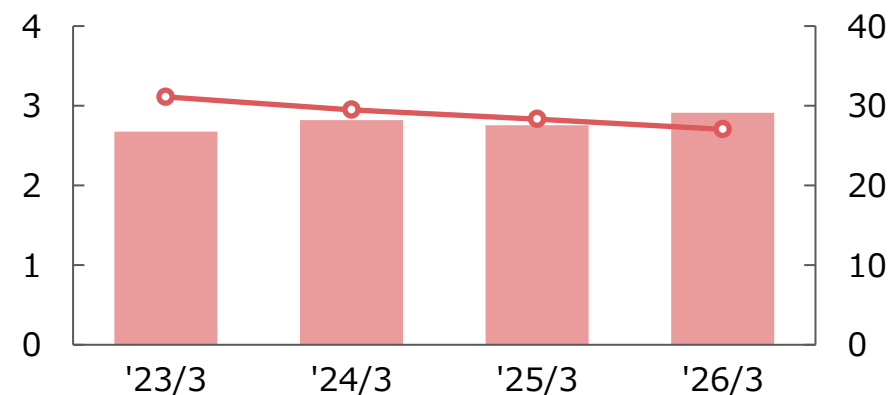
1. お客様本位の徹底

預かり資産残高（兆円）、運用商品保有者数（万人）*1

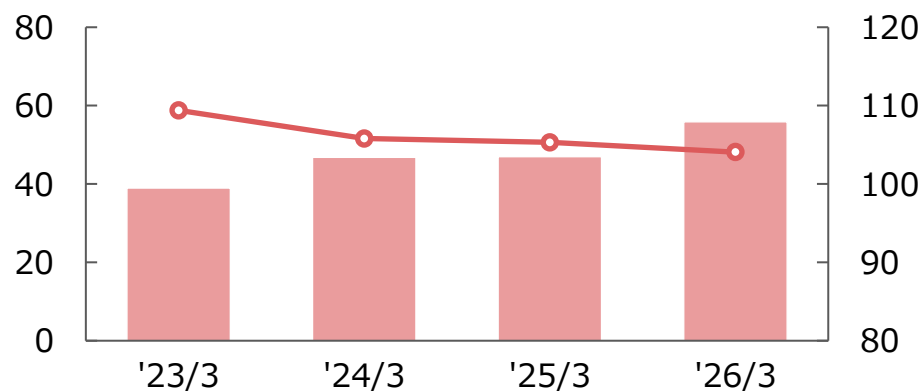
銀行



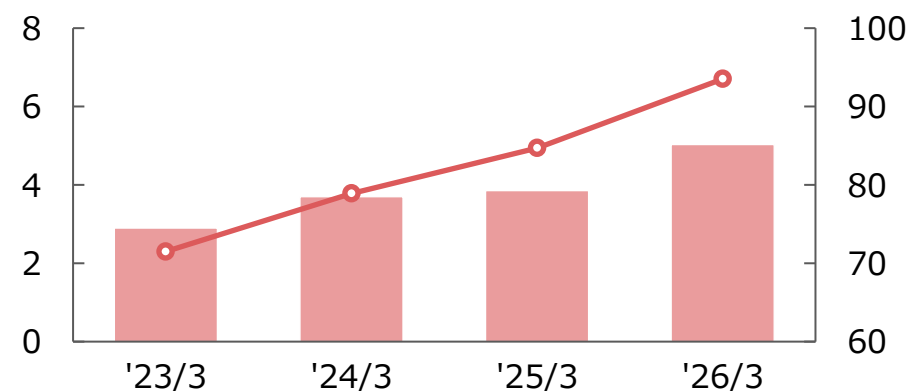
信託



証券



eスマ



■ 預かり資産残高（左軸） ● 運用商品保有者数（右軸）

*1 銀行・信託： 個人のお客様の取引実績、管理会計ベース
証券・eスマ： 個人・法人のお客様の取引実績、管理会計ベース（金融商品仲介口座含む）

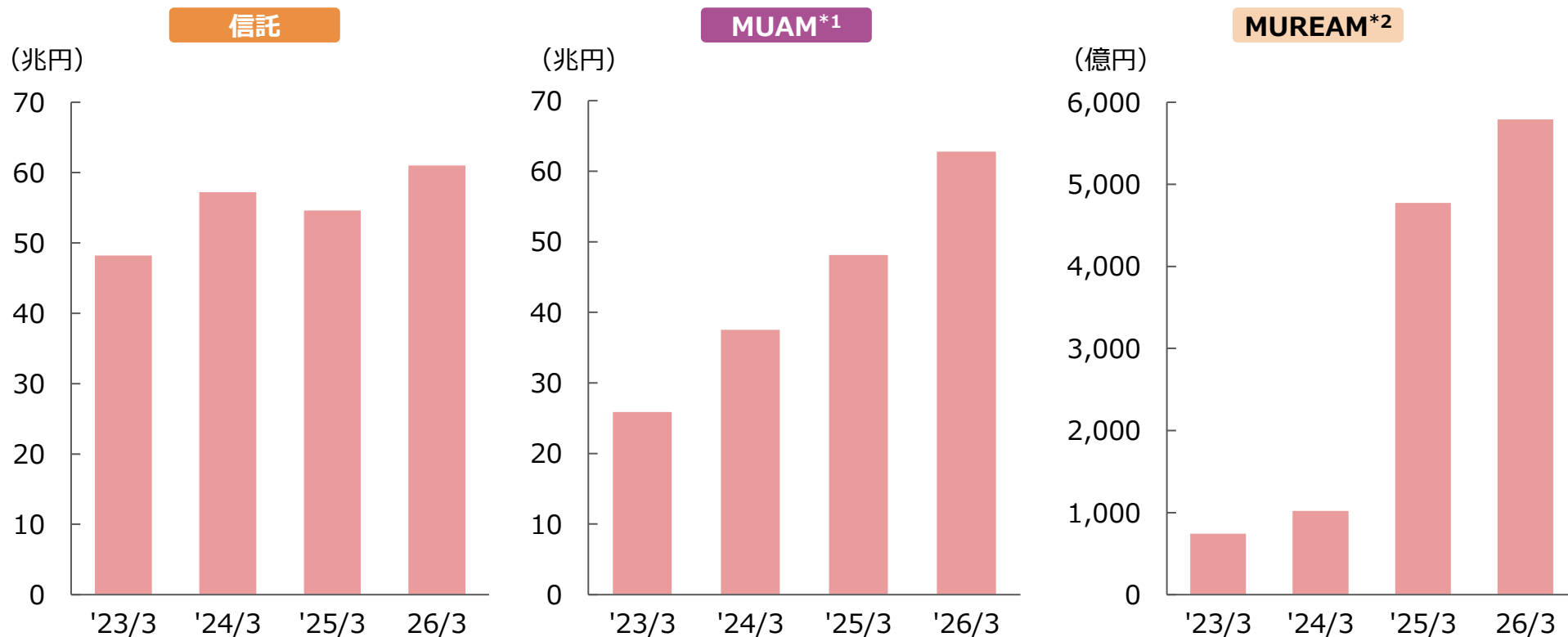
販売

商品開発・運用

1. お客さま本位の徹底

- 信託および三菱UFJ不動産投資顧問（MUREAM）では、年金基金・金融法人・事業法人などのお客さまの中長期的な投資ニーズに応える商品を、三菱UFJアセットマネジメント（MUAM）では、主に個人のお客さまの資産形成に貢献する商品を開発・提供し、お預かりした資産の運用により、お客さまに最良の投資成果をご提供することを目指しています。
- お客さまからお預かりした運用資産は、受託者責任の下、専ら受益者の皆さまの最善の利益の実現のために忠実に運用・管理し、中長期的な資産の成長に努めてまいります。

運用資産残高



*1 投資信託残高、投資顧問契約残高および投資一任契約残高（2023年10月にMUREAMからMUAMへ移管）の合計

*2 不動産運用残高（業務委託分含む）の合計

販売

商品開発・運用

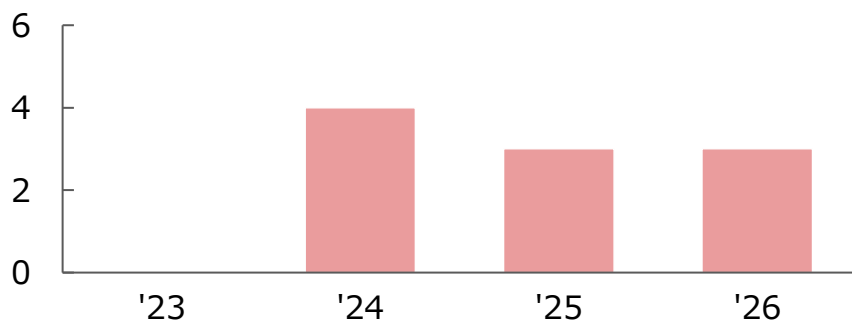
2. お客様のニーズをとらえた商品の開発・提供

(1) 常にお客さま本位で考え、組成会社・販売会社間の情報連携を実施し、お客さまのニーズをとらえた商品を開発・提供してまいります。【原則6】・【補充原則3・4】

- 自社の運用ノウハウを駆使するほか、国内外の幅広い運用機関ネットワークを活用し、お客さまの投資目的やリスク許容度を踏まえ、良質な商品を開発・提供しています。
- また、販売者には想定顧客の情報を提供し、お客さまの最善の利益の実現のため販売活動をサポートしています。

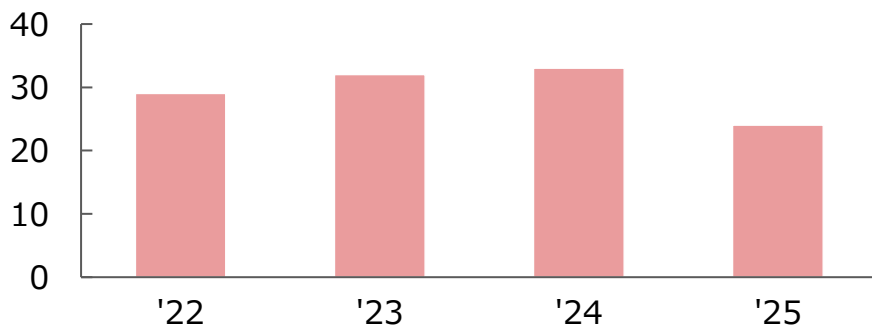
R&I ファンド大賞受賞本数（本）*1

信託



ファンドアワード受賞本数（本）*2

MUAM



【ご参考】

MUAM「三菱UFJ バリューオープン」

- 「[三菱UFJ バリューオープン](#)^{*3}」は、良好なパフォーマンスが評価され、“R&Iファンド大賞 2026”にて直近3年のパフォーマンスを評価する投資信託部門「国内株式バリュー」カテゴリーの最優秀ファンド賞を受賞いたしました。
- 当ファンド（2000年9月設定）は、わが国の株式を実質的な主要投資対象とし、ボトムアップ・アプローチを基本としたアクティブ運用により、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の動きを長期的に上回る運用成果をめざします。
- バリュエーション（株価の割安性を測る尺度）に基づいて抽出した銘柄の中から、運用チームによる企業訪問やアナリストの分析等により、組入銘柄を選定します。
- 真の企業価値と現在の株価とのギャップを捉えることで、市場が織り込んでいない非連続的な変化による値上がり益の獲得をめざします。
- なお、当ファンドはNISA（少額投資非課税制度）における「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ファンドです。



*1 2023年6月公表～2026年6月公表までの数値 *2 ファンドアワード受賞本数は、R&Iファンド大賞（R&I）、LSEG リッパー・ファンド・アワード・ジャパン（LSEG）、個人投資家が選ぶ!Fund of the Year（投信プロガーによる運営委員会）の受賞合計 *3 「三菱UFJ バリューオープン」の[リンク・費用](#)

2. お客様のニーズをとらえた商品の開発・提供

販売

商品開発・運用

- 証券では幅広いお客さまのニーズにお応えするため、さまざまな投資一任サービス（ファンドラップ、SMA）をラインナップしており、製販一体のサービスに加えて、製販分離のサービスの拡充も図っています。
- 製販一体のサービスは、製造部門と販売部門が情報連携を実施すること等を通じて、また、製販分離のサービスについても、販売会社との情報連携を通じて、さらなる商品性等の向上に努めてまいります。

投資一任サービス

製販一体

スマホではじめる。『ミライ』がはじまる。



Mirai Value

あなたに合った資産形成をプログラムサポート



Mirai Value とは

三井住友VISAゴールド・スタンダード証券での資産形成を、 スマホで手軽にはじめられるサービスです。

いずみ資産形成は、はじめてみようと思って
「情報の収集・分析」「投資対象の選定」「投資タイミングの判断」など、
難しい事が多く、なかなか始められなかった。

「Mirai Value (ミライ・バリュー)」では、
あなたのカリキュラム管理によってポートフォリオを最適化するだけ。
初投資金額10万円から、積立金額1万円からではじめることができます。
難しい作業はプログラムが行うため、スマホで手軽に資産形成ができるサービスです。

Mirai Value 資産形成ソリューション

長期の資産形成で、大きなリターンへ

Mirai Value は長期・複利・分散投資で、あなたの長期の資産形成をサポートします。

※元金1万円・複利・毎月1万円積立

1万円

10万円

100万円

1000万円

1億円

10億円

100億円

1000億円

1兆円

※元金10万円・複利・毎月1万円積立

10万円

100万円

1000万円

1億円

10億円

100億円

1000億円

1兆円



当社が組成し、
販売会社に提供する
ファンドラップ

製販分離

ファンドラップ

- SMA

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(1) お客さまの知識・経験・財産の状況およびお取引の目的に照らし、適切な商品をご提案するとともに、タイムリーかつ丁寧なアフターフォローを行ってまいります。【原則6】

- 商品のご提案にあたっては、お客さまの知識・経験・財産の状況や目的に照らして商品を選定しています。特にご高齢のお客さまや投資の知識・経験が十分ではないお客さまへはリスクを抑えた商品をご提案する等、お客さまのライフステージや属性を踏まえ、各種シミュレーションツールを用いて、お客さまの課題解決に資するゴールベースでのご提案を行い、お客さまニーズに沿った商品をご提案してまいります。

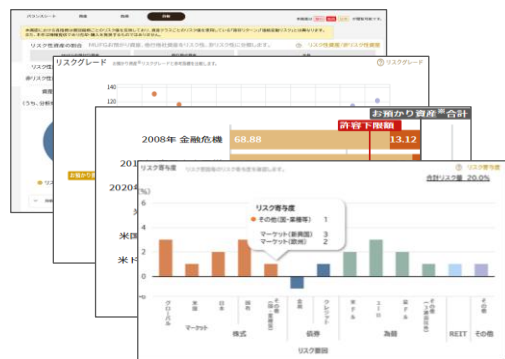
【ご参考】シミュレーションツール

- MUFGでは、様々なポートフォリオ分析ツールを用い、お客さまのニーズやリスク許容度に応じたポートフォリオ提案を行っております。
- MUFGウェルスマネジメントデジタルプラットフォーム（以下WMPF）のゴールプランニングシステムでは、お客さまが保有する運用資産をリスク・リターンの状況も含めて可視化することで、お客さまの現状把握を促し、よりお客さまのご意向や目的に沿ったご提案となるよう努めております。
- その他、シナリオテスト等、4つの切り口でお客さまの資産に潜在する様々なリスクを可視化する「リスク分析機能」をリリースしております。

MUFGゴールプランニングシステム



リスク分析機能



【ご参考】ハウスビュー*1

- MUFGのウェルスマネジメントでは、「Global Macro & Asset allocation Perspectives (GMAP)」をハウスビューとして位置づけ、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、三菱UFJ銀行で活用しています。また、既存のレポートに加え、タイムリーな情報提供の観点から、「GMAP 月次アップデート」「GMAP スポット」「GMAP不定期レポート」を発行。お客さまの投資判断に必要な情報発信を拡充しております。
- 三菱UFJ信託銀行では、年金運用専門部署の知見を集約した信託のハウスビューである「投資環境見直し」を活用し、信託銀行のビジネス特性を活かしたアドバイスを行っています。



*1 「ハウスビュー」とは、資産運用における組織としての公式な「投資見解」を指します

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

【ご参考】MUFG資産運用提案プロセス“PPAR”

- MUFG資産運用における提案プロセスは“PPAR（**P**rofil**ing** **P**lan **A**ction **R**eview）”として体系化しています。WMPFをはじめとした各種システム・テクノロジーを活用し、総資産ベースのゴールベースアプローチで包括的なソリューション提案を実施しております。
- なお、MUFGで利用するグループ共通プラットフォームである「WMPF」および、銀行が提供するお客さま向けの情報発信メディア「OPUS」や包括的な資産管理ツールのWebサービス「Wealth Canvas」では、対面と非対面で専門的なゴールベースアプローチ型プランニングを提供いたします（WMPFとWealth Canvasは2023年度グッドデザイン賞受賞）
- また、2026年3月より、WMPFに独自開発した生成AI機能を導入し、当グループ営業員のご提案準備時間の効率化ならびに提案力の質の向上に努めます。

アドバイスモデル



WMPF・Wealth Canvas



【ご参考】総合アドバイザリー・プラットフォーム（MAP）

- 26年度後半開業予定のデジタルバンクの中核機能には、総合アドバイザリー・プラットフォーム「MAP AI（**M**oney **A**dvisory **P**latform **AI**）」の実装を予定しています。
- ウェルスナビ株式会社と共同で開発を進めており、MUFGグループ約6,000万人の顧客データやAI技術を活用し、お客さま一人ひとりの状況やライフステージ、ライフイベントに応じた一人別の最適提案を実現します。
- お金の状況を可視化し、状況把握だけに留まらず、それに応じた気づきやアドバイスなどのサポートを通じて、お客さまに寄り添った革新的・シームレスな新しい顧客体験の提供を目指してまいります。

MAP：一人別に商品ご案内



商品・サービス

資産運用

生命保険

年金

住宅ローン etc

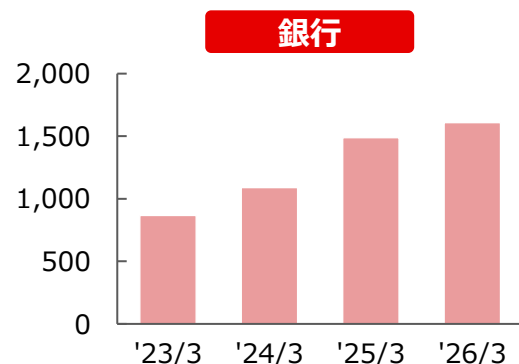
販売

商品開発・運用

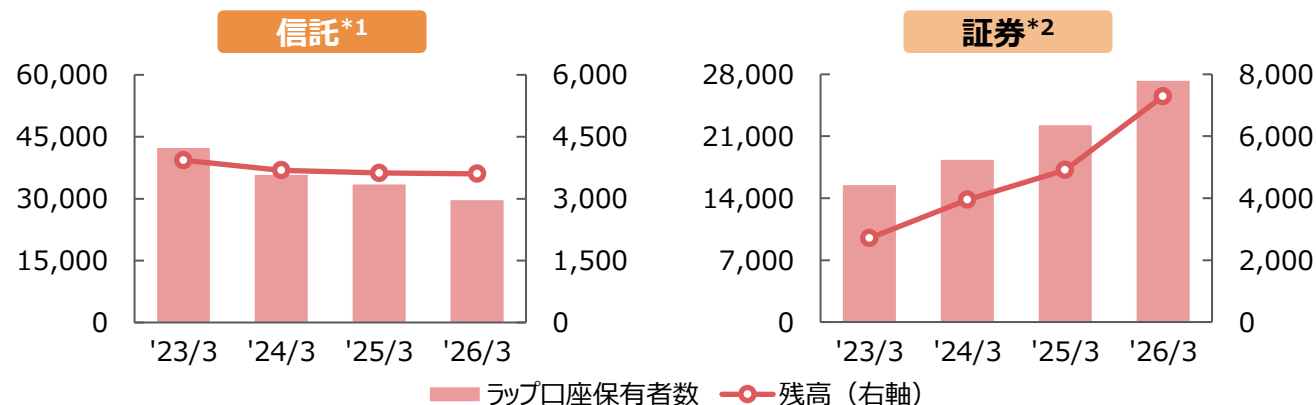
3. お客様本位の情報提供およびコンサルティングの実践

- 安定的な運用成果の実現を目指して、お客様の運用スタンスに応じた効率的な資産配分を意識し、コンサルティングを通じたポートフォリオ提案を行っております。
- 時間分散・長期保有の観点では投信つみたて（NISA含む）をご提案しております。

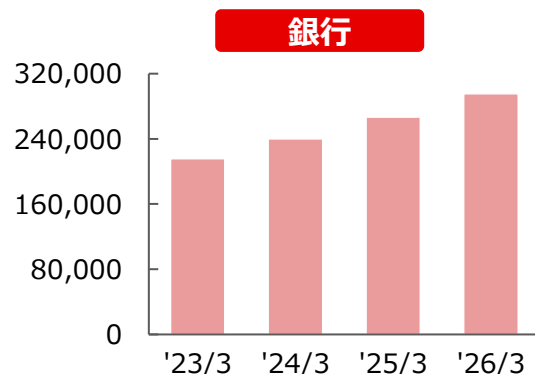
投信つみたて振替額（億円）



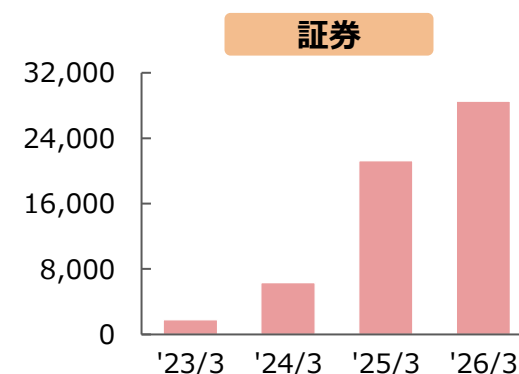
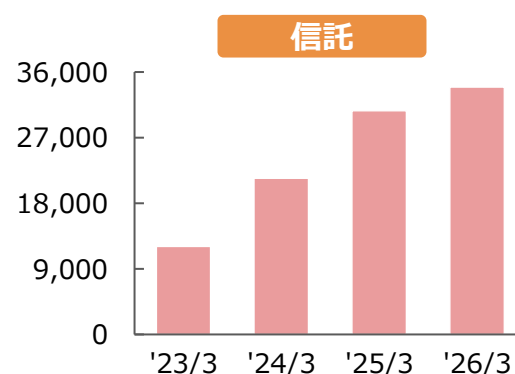
ラップ口座保有者数（人）・残高（億円）*1



投信つみたて（NISA含む）保有者数（人）



投信つみたて保有者数（人）*3



*1 資産運用口座（プライベートアカウント等）とMUFGファンドラップの合計（含む銀行）

*2 個人口座のみ、対象はGRAN GOAL・Mirai Value・GRAN SMART・GRAN SMART Premium（GRAN SMART・GRAN SMART Premiumは2026年3月末基準より追加）

*3 買付が行われた口座数

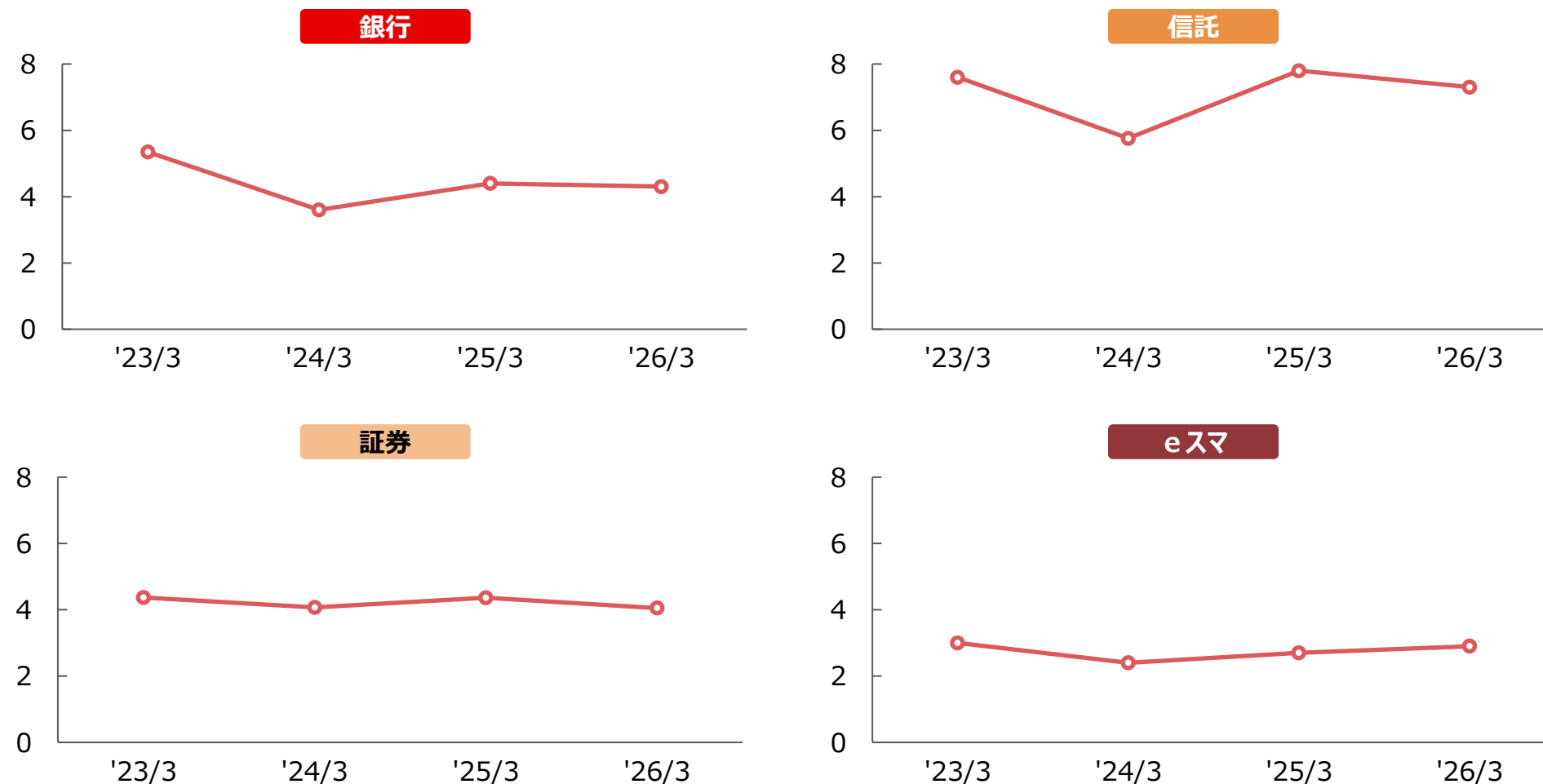
販売

商品開発・運用

3. お客様本位の情報提供およびコンサルティングの実践

– 平均保有期間は、中長期保有に資するご提案に努めた結果、長期化傾向となっております。

投資信託の平均保有期間（年）*1



*1 投信平均保有残高（ファンドラップ合算）を解約・償還額の累計（ファンドラップ合算）で除したもの（それぞれ過去1年間）。なお、証券は、2015年6月以降のデータで算出

3. お客様本位の情報提供およびコンサルティングの実践

販売

商品開発・運用

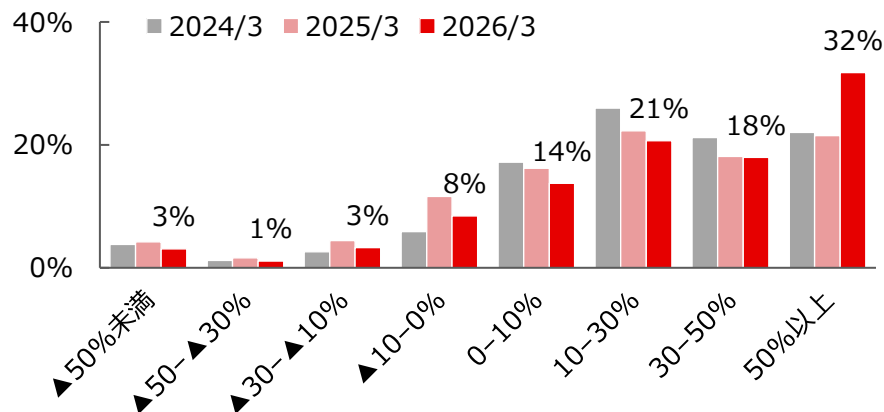
【ご参考】合算トータルリターンの公表

証券

- 証券では、お客様の投資方針やリスク許容度に応じて幅広い商品を組み合わせる運用いただくポートフォリオ提案を重視しており、投資信託・ファンドラップに加えて株式・債券も含めた合算の運用損益状況でも評価しております。
- 合算の運用損益は安定的に推移しており、分散投資の効果を確認できております。
- なお、投資信託と同様に、過去の売却や償還による実現損益を勘案した結果も公表いたします。

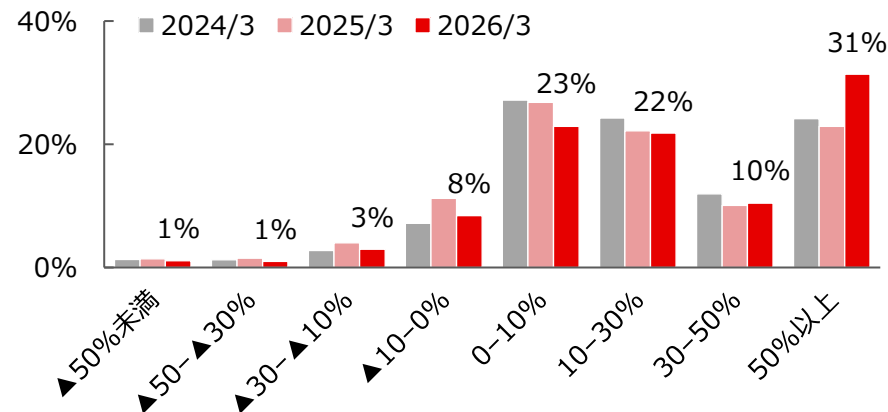
保有資産運用損益別顧客比率*1

証券

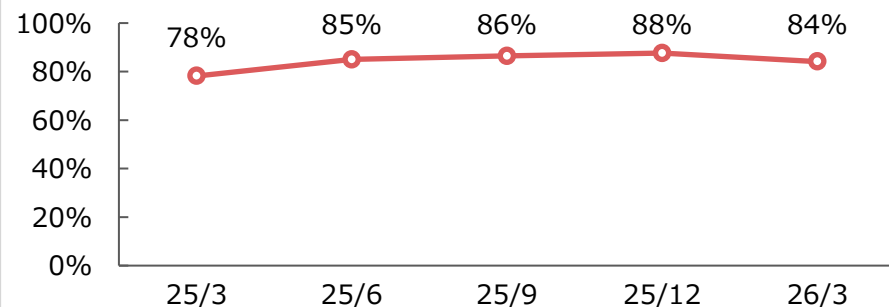


実現損益を含む保有資産運用損益別顧客比率*2

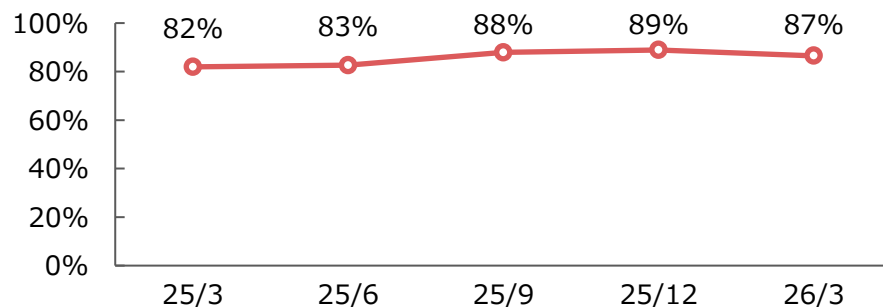
証券



2025年度の運用損益プラス顧客比率の状況（実現損益を含まず）



2025年度の運用損益プラス顧客比率の状況（実現損益を含む）



*1 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「時価総額」。現在保有中の株式、債券、投資信託、ファンドラップが対象

*2 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。現在保有中の株式、債券、投資信託と、2014年12月以降に売却または償還となった株式、債券、投資信託の実現損益が対象

3. お客様本位の情報提供およびコンサルティングの実践

(2) お客様の理解度に応じて、商品やリスクの内容、手数料および市場動向等の情報を、きめ細かく提供してまいります。【原則5】

- 商品のご提案にあたっては、より分かりやすい表現で商品の特色・リスク・手数料ならびに市場動向等のご説明を行い、重要な情報は文字の大きさ、色等で特に目立つように表示する等の取組みを通じて、必要な情報を十分にご提供してまいります。なお、簡潔な情報提供および多様な商品の比較を容易にするため、重要情報シート（個別商品編）を順次導入し、分かりやすく情報をご提供してまいります。また、お客さまに分かりやすい情報をご提供するためにタブレット端末等を活用し、シミュレーションや図表等を用いて利益（リターン）、損失その他のリスク、取引条件を分かりやすくご説明するよう取り組んでおります。
- その他、お客さまが商品をご選択いただきやすいようご説明資料や、商品ご提案に際して、タブレット端末等を用いたポートフォリオ・運用シミュレーションのご提示等を通じて、お客さまと対話をしながら、より良いご提案につなげていく取組を行っております。

【ご参考】重要情報シート（個別商品編）

投信

ラップ®

保險

[illegible][illegible][illegible]

【ご参考】保険における取組み

外貨建て保険リスク説明資料（銀行・信託*1）

[illegible]

ポイント

外貨建て保険が持つ
為替リスクや中途解約
リスクの説明だけでなく、
保険以外の取扱い
商品もご提示し、生命
保険の特徴を比較説
明いたします

*1 証券は預金等の取り扱いがないため、別資料を用いて説明を実施

3. お客様本位の情報提供およびコンサルティングの実践

販売

商品開発・運用

(3) お客様の投資判断に資するよう、手数料等の透明性向上を図ります。【原則4】

－ 手数料等がどのようなサービスの対価であるかについて、お客様に分かりやすい提供に努めてまいります。

手数料開示の考え方

銀行

- 金融商品の勧誘・販売時は契約締結前交付書面、目論見書、販売用資料等に基づき、重要な確認事項をまとめた「重要情報シート」等を用いて、お客様がご理解されたかの確認をいたします。
- 重要情報シートでは、手数料をはじめとした重要事項を分かりやすくご提示しており、リスクや運用実績など、他の投資商品との比較を含め、丁寧にご説明するように取り組みを進めております。

信託

- 重要情報シートを用いて、手数料をはじめとした重要事項を分かりやすくご提示いたします。手数料のレンジ記載（投信）など、他の投資商品との比較を含め、丁寧にご説明するように取り組みを進めてまいります。また、組成にかかるコスト開示のない商品においては、類似の商品との比較をご説明する等の取り組みを行い、お客様が商品内容をご理解できるように努めます。

証券

- 手数料等、重要事項は目論見書等の法的書面に加え、重要情報シートによる商品説明を実施し、お客様の投資判断・類似商品比較に資する情報の明示に努めております。
- アセットクラス・投資手法、それぞれの定性・定量的な特徴を示す比較説明資料を策定し、一般的な手数料水準、手数料・費用項目を横並びで提示しており、お客様の横断的な商品選定をサポートしております。

【ご参考】証券の取組み（投資一任サービス）

証券

- 重要情報シートにてラップサービスのコスト内訳開示方法を高度化しております。

ファンドラップ・SMA	開始時期
GRAN GOAL Mirai Value GRAN SMart GRAN SMart Premium	2025年12月

【ご参考】信託の取組（MUFGファンドラップ）

信託

- 2024年1月より、パンフレットやホームページにてMUFGファンドラップの「主なご提供サービス」を開示しております。

■MUFGファンドラップの主なご提供サービス

項目	内容
コンサルティング	- お客様の投資方針・運用経験・運用期間・リスクに対するお考え・資産状況等、お伺いした内容をもとに、弊社がお客様に最適と考える運用コース・スタイルを「運用計画書」にてご提案。 - 継続的な運用状況のご説明やコンサルティング、「投資環境の変化」や「お客様のライフプラン」等にに合わせて、お客様の投資方針を再度ご一緒に見直し、必要に応じて、運用コース・スタイルの変更をご提案。
資産運用	- 中長期的な投資環境の調査・分析に基づき、運用コース・スタイルごとの運用計画策定・投資対象ファンドの選定。 - 運用計画に定める資産配分比率からの乖離を修正し、適正な比率を維持。
契約管理	- 投資一任契約の締結（法定帳票交付を含む）、変更・終了の管理。 - お客様ごとの契約状況、残高、保有銘柄、口数、投資一任運用に係る報酬の計算・管理（長期保有割引を含む）。 - プロフィットロックポイント・ロスカットポイント到達有無の管理。定時定額払戻、資産承継特約、代理出金特約の管理。
運用報告情報開示	- お客様ごとの運用報告書の作成・交付（月次・四半期・終了）。 - 運用報告セミナーの開催、運用報告動画の作成（年4回）。報酬控除後の運用実績、最新の期待リターン、推定リスクのホームページ公開。各種運用レポートの作成。

3. お客様本位の情報提供およびコンサルティングの実践

販売

商品開発・運用

(4) お客様本位の取組みに適合した業績評価体系を整備してまいります。【原則7】

- 投資期間や投資経験の違いおよび市場動向等によるお客様の多様なニーズにお応えするため、幅広い商品を取り揃えてまいります。
- 商品提供会社から販売会社へ支払われる手数料や系列関係にとらわれることなく、お客様の立場で資産形成に資する商品を選定し、お客様にふさわしい商品をご提案してまいります。

業績評価体系

銀行	お客様の利益・ニーズに資する総合的な営業活動を評価するために、特定の運用商品の販売に偏らない業績評価体系を継続してまいります。また、他行・他社との競争が激化している中、円預金と運用・保障性商品の預り資産残高を合算評価とする「総預かり残高」とし、お客様の最善の利益を追求し、MUFGの総預かり残高拡大に向けた体制を構築しております。
信託	お客様の利益・ニーズに資する総合的な営業活動を評価するために、特定の運用商品の販売に偏らない業績評価体系を継続しております。また、顧客ロイヤルティを評価する業績評価体系を導入するとともに、より長期的な視野に立ったうえで、お客様の最善の利益を追求する体制を構築してまいります。
証券	お客様の最善の利益を追求するための活動が、担当者の評価に繋がるような業績評価体系としております。ご信頼の証としてのお預り資産の拡大、お客様のニーズへの対応力（プロフェッショナルとしての専門性発揮）に加え、お客様満足度も評価し、お客様に寄り添った持続的な成長を目指します。

【ご参考】業績評価体系のポイント

- MUFG各社では、「お客様の中長期的なお預かり資産の拡大」をめざすべく、お客様の資産運用残高の純増を中心に評価する体系を導入しており、お客様の最善の利益を追求する体制となっております。

各社の資産運用残高に関する評価項目（例）

	銀行	信託	証券
項目名	個人総預かり残高	投信・ラップ残高純増	ストック資産純増額
対象商品	円預金、投資信託、生命保険、外貨預金、株式、債券、ファンドラップ、投資助言サービス等	投資信託、ファンドラップ	投資信託、生命保険、投資一任サービス、投資助言サービス、ストック性資産
評価方法	期中12か月（2026/4月～2027/3月）の月末残の平均 ※ 月末残（3月末＋期中の純増減）	純増額（増加取引額（販売*1等）－減少取引額（売却等））の積上げを評価	純増額（増加取引額（販売*1等）－減少取引額（売却等））の積上げを評価

*1 更につみたて投資促進を目的とした評価体系あり

3. お客さま本位の情報提供およびコンサルティングの実践

販売

商品開発・運用

(5) お客さまの資産形成をサポートする様々な投資教育の機会を提供してまいります。【原則6】

- 「MUFG資産形成研究所」では、家計の安定的な資産形成の促進という社会課題解決に向けて、人生100年時代をより豊かに過ごしていただくための資産形成・資産運用等に関する調査研究・情報提供を中立的な立場で行っています。
- 2025年度は企業勤務者のファイナンシャル・ウェルビーイングや金融リテラシーに関する調査を実施して、調査結果をお客さまに広く活用していただくために、Webサイトでの調査研究レポート公表、インタビュー、IRフェアでの講演等をはじめとした様々な機会

【ご参考】Webサイトでのレポート掲載による情報提供

- ファイナンシャル・ウェルビーイング（FWB）を、「現在および将来にわたって、経済的な満足度が継続し、自律的に人生における選択が可能な状態」と定義。働く人のお金についての不安を解消し、自律的な人生をおくるためのヒントや支援となるような情報を発信いたしました。
- 「FWBの基本特性と退職給付制度との関係性について」では、企業が採用している退職給付制度によるFWBの違いについて考察しました。

[上記を含むWebサイト掲載のレポートはこちらをご覧ください⇒](#) ■



【ご参考】インタビューやIRフェアでの講演

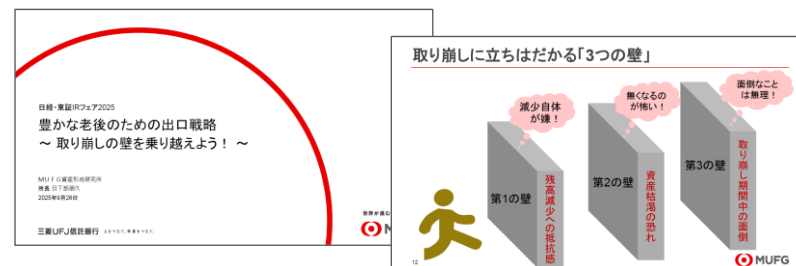
日本経済新聞社「100年の資産形成」サイト

- 確定拠出年金制度の2026年改正のポイントや、老後に向けた資産形成手段の1つとしてのDCとのつきあい方などについて当研究所長がご紹介しました。



日経・東証IRフェア2025

- 当研究所長が講演の1コマに登壇して、豊かな老後のための出口戦略について講演を行いました。会場・Web・アーカイブを通じて多くの方にご視聴いただきました。



4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

販売

商品開発・運用

(1) お客様の多様なニーズにお応えするため、組成会社・販売会社間の情報連携を実施し、幅広い商品を取り揃えてまいります。【原則6】・【補充原則3・4】

- 投資期間や投資経験の違いおよび市場動向等によるお客様の多様なニーズにお応えするため、幅広い商品を取り揃えてまいります。
- 商品提供会社から販売会社へ支払われる手数料や系列関係にとらわれることなく、お客様の立場で資産形成に資する商品を選定し、お客様にふさわしい商品をご提案してまいります。

投資信託ラインアップ（2026年3月末）

カテゴリ	銀行 ^{*1}		信託 ^{*2}		証券 ^{*3}		eスマ ^{*4}	
	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率
国内債券	11	2%	10	3%	10	2%	54	3%
国内株式	56	11%	43	11%	60	11%	305	17%
海外債券	86	16%	96	24%	155	28%	313	17%
先進国	56	11%	67	17%	104	19%		
ハイイールド	7	1%	9	2%	23	4%		
エマージング	23	4%	20	5%	28	5%		
海外株式	238	45%	143	37%	215	39%	645	35%
先進国	199	38%	124	32%	190	35%		
エマージング	39	7%	19	5%	25	5%		
REIT	40	8%	23	6%	27	5%	137	7%
バランス型	86	16%	68	17%	57	10%	334	18%
その他	10	2%	9	2%	26	5%	53	3%
合計	527	100%	392	100%	550	100%	1,841	100%

*1 窓販投信（インターネットバンキング専用ファンド含む）、金融商品仲介口座での取扱投信の合算。追加型投信のみ（外国籍投信、単位型投信は含まず）。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント

*2 窓販投信（インターネットバンキング専用ファンド含む）。追加型国内投信のみ（外国籍投信、単位型・マネーブルファンドは含まず）。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント

*3 追加型投信のみ（外国籍投信を含む、単位型投信・マネーブルファンド含まず）。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて1ファンドとしてカウント

*4 追加型投信のみ（外国籍投信、単位型投信含まず）。通貨選択型ファンドは各コースをまとめて各々1ファンドとしてカウント

4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

販売

商品開発・運用

- 生命保険は、お客さまのニーズにお応えできるよう、ラインアップの充実に努めてまいります。
- 足元は人生100年時代に対応する介護・認知症・年金ニーズにそなえる商品等を拡充しております。

生命保険ラインアップ（2026年3月末）

商品種類		銀行		信託		証券	
		取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率	取扱商品数	取扱商品比率
一時払	円建	16	52%	14	61%	8	50%
	投資型年金						
	定額年金	2	7%	4	17%	1	6%
	終身	13	42%	10	44%	7	44%
	介護・医療	1	3%				
	外貨建	15	48%	9	39%	8	50%
	投資型年金						
	定額年金	1	3%	3	13%	2	13%
	終身	14	45%	6	26%	6	37%
	養老						
合計		31	100%	23	100%	16	100%
平準払	終身保険	1	13%	1	20%	1	100%
	定期保険						
	医療・がん保険	4	49%	2	40%		
	学資保険						
	年金・養老保険	2	25%	1	20%		
	介護保険	1	13%	1	20%		
	合計	8	100%	5	100%	1	100%

4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

販売

商品開発・運用

- 多様な商品をお客さまがご選択いただけるよう、的確な情報提供に努めております。
- 銀行・信託・証券ともに、株式系ファンドやバランス型ファンドが上位を占めていることに加えて、信託・証券においては、前年度に引続き、ファンドラップも販売上位にランクインしております。

投資信託・ファンドラップ^{*1}販売額上位10銘柄、販売額割合（2025年度）

No	銀行				信託				証券			
	ファンド名	区分 ^{*2}	毎月 分配	販売 割合	ファンド名	区分 ^{*2}	毎月 分配	販売 割合	ファンド名	区分 ^{*2}	毎月 分配	販売 割合
1	eMAXIS 日経225インデックス	ベーシック		9%	MUFG ファンドラップ ^o	ベーシック		12%	GRAN GOAL	ベーシック		12%
2	eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カンントリー) (愛称: オルカン)	ベーシック		8%	三菱UFJ資産配分最適化バランスR3	ベーシック		9%	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファン ド Dコース (毎月決算・予想分配金 提示型・為替ヘッジなし)	アドバンスト	○	8%
3	eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)	ベーシック		8%	三菱UFJ純金ファンド(愛称: ファインゴー ルド)	アドバンスト		7%	GRAN SMARt/GRAN SMARt Premium	ベーシック		6%
4	MUFGウェルス・インサイト・ファンド (標準型)	ベーシック		7%	eMAXIS Slim 国内株式 (日経平均)	ベーシック		6%	インベスコ 世界厳選株式オープン<為 替ヘッジなし> (毎月決算型) (愛 称: 世界のベスト)	アドバンスト	○	6%
5	eMAXIS Slim 国内株式 (日経平均)	ベーシック		6%	インベスコ世界厳選株式オープン<為替 ヘッジなし> (毎月決算型) (愛称: 世 界のベスト)	アドバンスト	○	5%	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ファン ド Bコース (為替ヘッジなし)	アドバンスト		4%
6	三菱UFJ インデックス225オープン	ベーシック		4%	三菱UFJ資産配分最適化バランスR4	ベーシック		5%	ピクテ・ゴールド(為替ヘッジなし)	アドバンスト		4%
7	インベスコ 世界厳選株式オープン <為替ヘッジなし> (毎月決算型) (愛称: 世界のベスト)	アドバンスト	○	3%	つみたて米国株式 (S&P500)	ベーシック		3%	グローバル・ダイナミックチェンジ	アドバンスト		4%
8	フィデリティ・グロース・オポチュニティ・ ファンド Dコース (毎月決算・予想分配 金提示型・為替ヘッジなし)	アドバンスト	○	3%	eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カ ントリー) (愛称: オルカン)	ベーシック		3%	モルガン・スタンレー 米国株式インサイト 戦略ファンド (為替ヘッジなし)	アドバンスト		4%
9	MUFGウェルス・インサイト・ファンド (積極型)	ベーシック		3%	eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)	ベーシック		3%	ダイヤセレクト日本株オープン	アドバンスト		3%
10	三菱UFJ純金ファンド (愛称: ファインゴールド)	アドバンスト		3%	インデックスファンド225	ベーシック		3%	ダルトン・ジャパン・パートナー戦略ファンド	アドバンスト		2%

^{*1} 銀行：窓販投信（インターネットバンキング専用ファンド含む）、ファンドラップ、金融商品仲介での取扱投信の合算 信託：窓販投信（インターネットバンキング専用ファンド含む）、ファンドラップの合算

証券：公募投信（ETF、REIT、短期金融型投信を除く）、ラップサービスの合算 ^{*2} 「ベーシック」商品は、投資環境の変化に応じ資産配分を調整するタイプのバランス型ファンド、為替変動リスクを抑え高格付け債券で運用するファンド、インデックス運用の株式ファンドのことで、これから資産運用を始められるお客さまやポートフォリオに組入れる基礎的な商品をご希望されるお客さま向けの商品。

一方、「アドバンスト」商品は特定の国や地域等に投資するアクティブ運用の商品で、独自のポートフォリオを組んで運用したいお客さまにもご満足できる幅広い投資対象となっているもの

4. 多様なニーズにお応えする商品ラインアップの整備

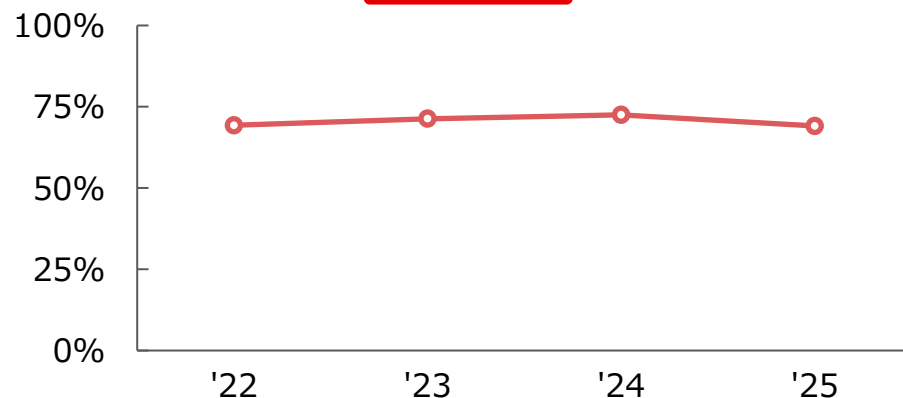
販売

商品開発・運用

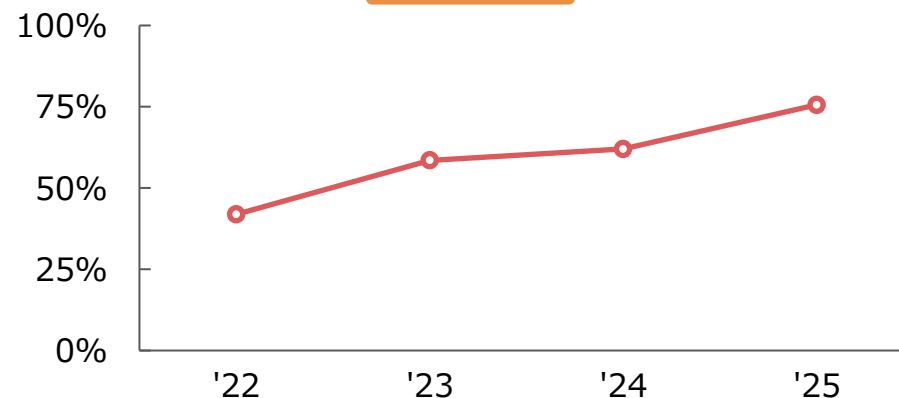
(2) 系列関係にとらわれることのない、商品選定および販売手続き等を整備してまいります。【原則3】

系列運用会社商品販売額比率

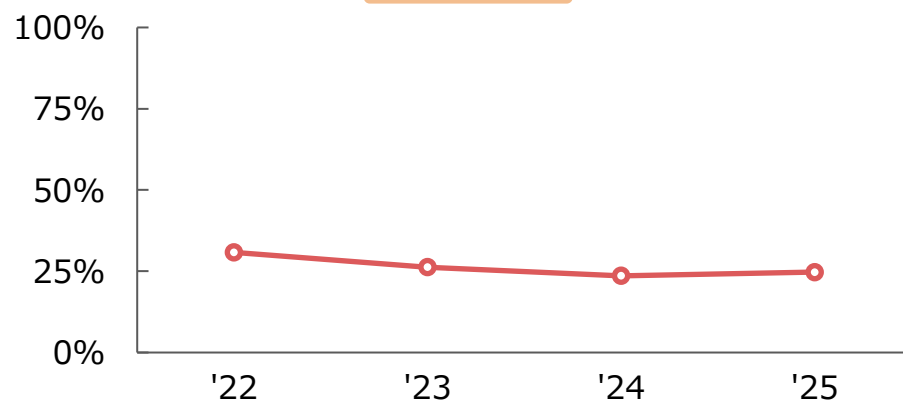
銀行



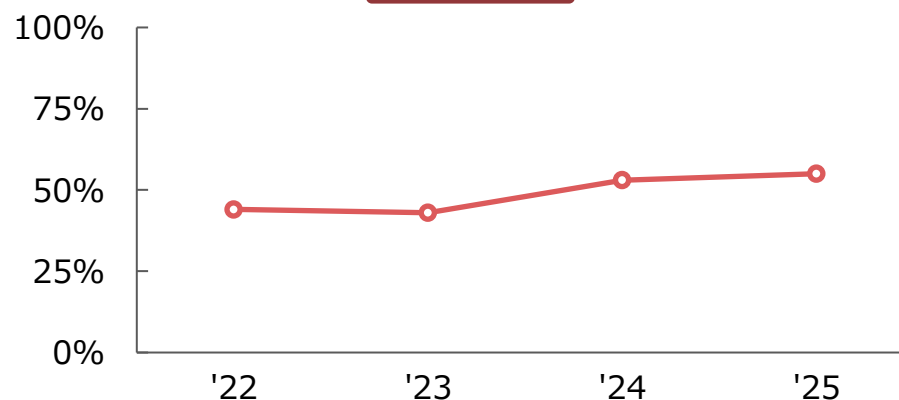
信託



証券



eスマ



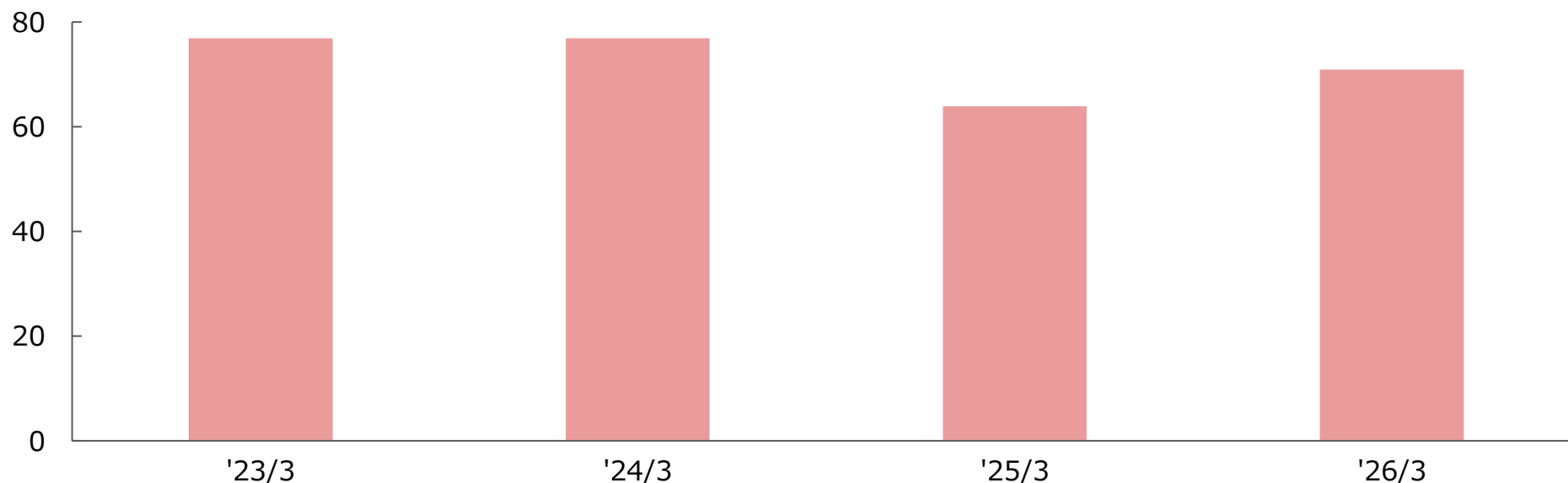
5. お客様の投資成果向上に向けた運用の高度化

(1) 既存の運用手法の改善や新たな投資機会の追求に努めるとともに、運用・管理体制の高度化を図ってまいります。【原則6】

- 運用のプロフェッショナルとして、徹底した調査・分析と適切な運用判断により付加価値を創造するとともに、プロダクトガバナンスの高度化にも努めています。また、最良の投資成果をお客さまに提供するとともに、運用実績のモニタリングを通じた運用品質管理を徹底し、お客さまの最善の利益を追求してまいります。
- 運用人材の育成・強化による強固な運用体制を構築することを通じて、運用力のさらなる向上に努めます。加えて、グループ内外の運用力を活用するとともに、海外の運用機関等も活用した運用ノウハウを蓄積し、多様化するお客さまのニーズにお応えしてまいります。

Fundmarkレーティング4以上のファンド本数（本）*1

MUAM



*1 Fundmarkレーティングは、野村総合研究所（NRI）が公表している、国内の追加型投資信託（以下、ファンド）の過去の運用実績に基づいた評価（レーティング）、評価期間は3年、運用方針や運用実態に沿って、ファンドの分類（Fundmark分類）を行い、同一分類内においてファンドのパフォーマンスを相対的に評価し、5段階の評価（レーティング）を発表している（評価方法等の詳細は、巻末ディスクレマー参照）

5. お客様の投資成果向上に向けた運用の高度化

(2) 運用業務における独立性・透明性の確保を目的として、利益相反管理の徹底等運用機関としてのガバナンス態勢の強化に加え、スチュワードシップ活動の実効性をさらに高めてまいります。【原則3】

- MUFGグループ内に受託財産運用機能と法人営業機能を有することを踏まえ、運用業務における独立性・透明性を確保し、運用機関としての適切なガバナンス態勢を構築しています。これまでの情報遮断態勢（チャイニーズ・ウォール）等による徹底した利益相反管理に加え、運用機関としてのスチュワードシップ活動の実効性を更に高めていきます。

運用業務における独立性・透明性確保に向けた主な取り組み

信託

運用機関・運営管理機関としてのガバナンス強化・利益相反管理の強化

- ・ 2017年3月に「スチュワードシップ委員会」（取締役会傘下の組織、過半を社外第三者で構成）を設置し、受託財産運用における議決権行使やエンゲージメント活動および投資行動が投資家の利益最大化を確保するために十分かつ正当であることを検証しています。
- ・ 法人向け営業部署からの影響が受託財産部門における運用部署に対して及ぶリスクを遮断するため、法人顧客と直接的な接点を持つ営業部署に過去5年以内に在籍していた者の運用部署への人事異動を禁止しています。
- ・ 議決権行使および投資判断への影響力行使や非公開情報等を遮断するため、MUFGグループベースで遵守事項（運用部署と運用業務に直接関係のないその他の部署との直接的な接触を原則禁止）を規定上明確化しています。
- ・ 議決権行使等の一連のプロセスについて受託財産部門におけるモニタリングに加え、受託財産部門外からのモニタリングにより、他部門からの影響力遮断および情報遮断態勢を構築しています。
- ・ 運営管理機関としての中立性を確保するため「運用商品ユニバース組成」および「顧客への提示商品選定」のプロセスにおいて、営業部門から分離した体制を構築しています。あわせて、複数の外部機関を活用した評価体制を構築しています。

議決権行使結果の公表の充実

- ・ 運用機関としてのガバナンス強化を通じたスチュワードシップ活動に係る透明性の向上のため、当社が運用する国内株式について、議決権行使ガイドラインに基づき指図を行った全銘柄に係る議案毎の賛否、および、その判断理由を開示しています。
- ・ また、第三者がデータを利用しやすいよう、エクセルで議決権行使結果を開示しています。

パッシブ運用におけるエンゲージメント活動の取組方針の公表

- ・ パッシブ運用について一定の基準（低ROE、時価総額等）を設け実施しているエンゲージメント活動の取組方針を公表しています。

運用機関によるスチュワードシップ活動に係る自己評価の充実

- ・ 議決権行使およびエンゲージメント活動について方針と結果の振り返りに対する社外第三者の検証を踏まえたそれぞれの自己評価を公表しています。

5. お客様の投資成果向上に向けた運用の高度化

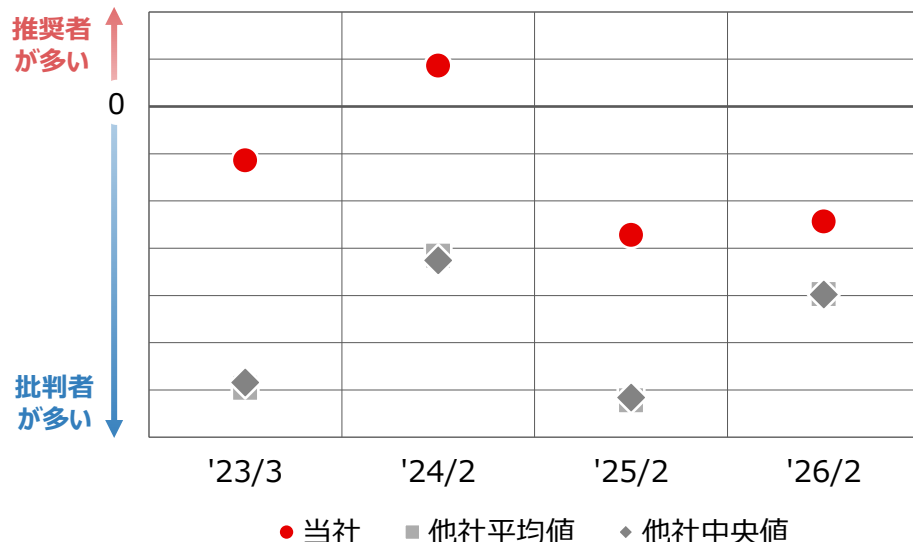
販売

商品開発・運用

- 運用業務における独立性・透明性の確保や、スチュワードシップ活動の実効性向上の取り組みに加え、お客さま本位の業務運営の実践状況を確認するため、「個人投資家アンケート」を継続的に実施しています。商品・サービスや情報提供に対するお客さまの評価を真摯に受け止め、投資成果向上に向けた運用の高度化と改善につなげることで、お客さまの最善の利益の追求に努めてまいります。

NPS ～ 商品に関する顧客推奨度 ～（MUAMと他社との比較）*1

MUAM



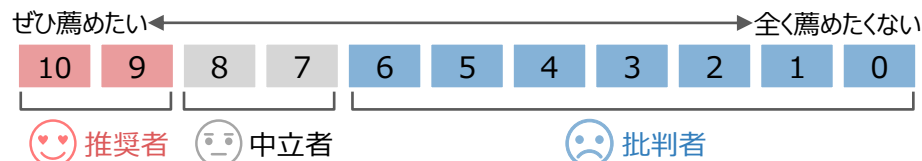
- NPS（Net Promoter Score）とは、下記の質問から顧客ロイヤリティを測る調査方法です。質問文：「0-10点で表すとして、〇〇（評価対象）を友人や同僚に薦める可能性はどのくらいありますか？」
- この質問において、10-9点と評価した割合（推奨者）から6-0点と評価した割合（批判者）を引いた値がNPSとなります。
- 本調査では当社を含む運用会社各社の投資信託をお持ちのお客さまに対して、



〇〇（運用会社名）の商品について、あなたは友人や知人にどの程度薦めますか。ぜひ薦めたい：10点、全く薦めたくない：0点として、11段階から選択してください。

…と質問し、各社のNPSを調査しました。

NPSの測定手法 イメージ



$$\text{推奨者の割合 (\%)} - \text{批判者の割合 (\%)} = \text{NPS}$$

例①：〔推奨者の割合：25%〕－〔批判者の割合：15%〕＝ NPS：+10

例②：〔推奨者の割合：15%〕－〔批判者の割合：20%〕＝ NPS：－5

- 当社を除く公募株式投信（除くETF）の残高上位8社（2025年12月末基準）の平均値を「他社平均値」、中央値を「他社中央値」として記載しています。
- NPS®は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、NICE Systems, Inc.の登録商標又はサービスマークです。
- 上記は過去の実績・状況であり、将来の運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

*1 調査概要／対象者：追加型株式投信（除くETF）残高上位9社（2025年12月末基準）のファンドを保有する、対象運用会社の投信を3年以内に購入した全国20-79歳の男女を対象としたインターネット調査（回答数：各年度2,511名）

販売

商品開発・運用

6. 資産運用を支える資産管理総合サービスの品質向上

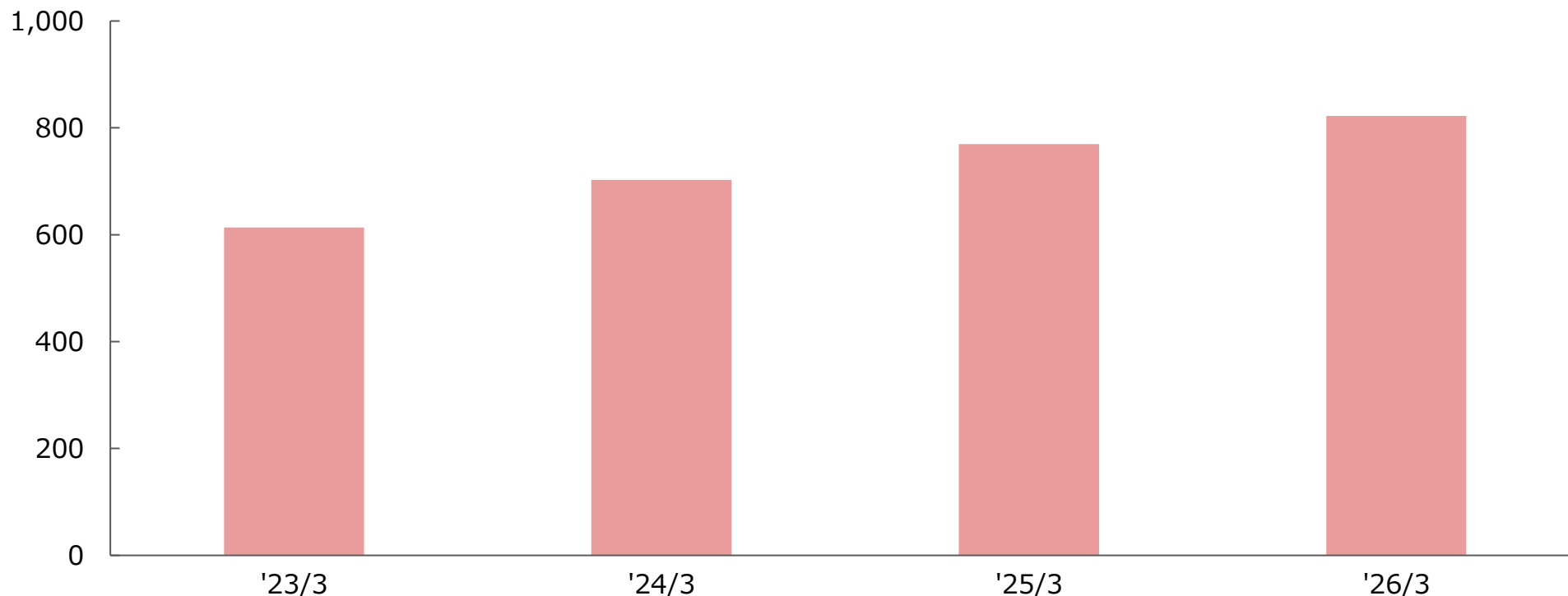
- (1) 資産管理業務における新分野の開拓と新技術の開発に積極的に取り組み、最高品質の資産管理総合サービスを提供してまいります。【原則2】
- (2) 資産管理に関する情報を幅広く、タイムリーに提供してまいります。【原則6】

- お客さまのグローバルかつ多様な投資ニーズに応えられるよう、新商品・新サービスへの取り組みを進めています。
- 先端技術を駆使した高い事務品質・生産性に加え、様々な環境変化等にも対応した安定したサービス提供に努めてまいります。

資産管理残高（兆円）*1

信託

MTBJ



*1 年金信託、投資信託等の信託財産残高に加え、カストディ等事務委任を受けている財産の残高を含む

販売

商品開発・運用

7. グループ総合力を活用した金融サービスの提供

(1) グループ各社の商品・サービス、ノウハウおよびリソースを結集し、お客さまの資産・負債を総合的にとらえた金融サービスをご提供することで、多様化するお客さまのニーズにお応えしてまいります。【原則2】

- 運用商品のご提供にとどまらず、次世代への資産承継も見据えながら、お客さまの資産・負債を総合的にとらえた金融サービスをご提供してまいります。

【ご参考】MUFGグループ総力をあげた、資産承継サポート

- 円滑な資産承継のために、お客さまの多様なニーズに対し、トータルにお応えいたします。

MUFGのサポート体制

承継に対するお客さまのお考え

経営戦略

資本戦略

ライフイベント

運用方針

お客さまをとりまく環境

市場・相場動向

税制等の諸制度

お客さまの資産マネジメントに対する多様なニーズ

グループ総力を挙げたソリューション提供

- 納税資金対策
- 分割方法対策
- 相続財産対策
- 事業承継対策

三菱UFJ銀行

MUFGグループ各社

提携外部専門家

The collage includes several key documents:

- Asset Note**: A brochure titled "資産承継のご案内" (Asset Inheritance Guide) with the MUFG logo.
- 相続資金の課題** (Inheritance Funding Issues): A document discussing challenges like "1 納税資金が心配" (Worried about tax funds) and "2 円滑な相続を実現したい" (Want to achieve smooth inheritance).
- 資本政策** (Capital Policy): A document titled "お父さまからのご遺言" (Your father's will) discussing corporate policy.
- 経営承継** (Business Succession): A document titled "お父さまからのご遺言" (Your father's will) discussing business succession.
- 解決策** (Solutions): A document titled "お父さまからのご遺言" (Your father's will) discussing solutions for inheritance issues.
- 上場企業のオーナー経営者の承継** (Succession for Public Company Owner-Operators): A document discussing succession for public company owner-operators.
- 同僚経営の承継** (Succession for Peer Management): A document discussing succession for peer management.

7. グループ総合力を活用した金融サービスの提供

- MUFGはグループ会社の強みを掛け合わせることで、お客さま一人ひとりの資産形成の支援を加速してまいります。
- また、お客さまに中長期にわたり寄り添うサービスを提供し、日本における個人の健全な資産形成の発展への貢献を行ってまいります。

【ご参考】ウェルスナビとの協働

- ウェルスナビは、「働く世代に豊かさを」というミッションを掲げ、働く世代の豊かな老後のために、「長期・積立・分散」の資産運用を全自動化したサービス、ロボアドバイザー「Wealth Navi」を提供しております。
- 三菱UFJ銀行は、ウェルスナビと協働し、ウェルスナビのスピーディーな商品企画および開発力を発展させ、お客さまの健全な資産形成の発展への貢献を行ってまいります。
- 具体的には、ロボアドバイザーサービスの普及加速、生涯にわたりお客さまのお金の悩みを解決する総合アドバイザー・プラットフォーム（MAP）の開発・提供を目指しております。

ロボアドバイザーサービス



— 全自動の資産運用 —
面倒なことおまかせ!
くわしくはこちら ▶

NISAも対応

※ 画面はイメージです

WealthNavi for 三菱UFJ銀行

【ご参考】eスマート証券との協働

- eスマート証券は、「すべてのひとに資産形成を。」をミッションに、MUFGグループの安心・信頼と、ネット証券ならではの利便性に加え、国内株式取引手数料の無料化^{*1}等を通じて、初心者の方でも手軽に始められる資産形成サービスを提供しております。
- 三菱UFJ銀行は、eスマート証券と協働し、銀行口座・アプリ・クレジットカードを起点に、eスマート証券の ネット証券機能を組み合わせることで、お客さまの資産形成ニーズに応じたサービスを、スマートフォン中心に使いやすく、おトクにご提供いたします。
- 具体的には、銀行口座とeスマート証券口座の連携によるスムーズな入出金、アプリでの証券口座情報の確認、三菱UFJカードを活用した投信積立等を通じて、日常のお取引から資産形成までをシームレスにサポートいたします。

^{*1} Smart Order Routing（SOR）注文を選択の場合。SOR注文とは、複数の取引市場から最も有利な条件の市場を自動選択して発注する注文方式

8. 快適かつ安心・安全にお取引いただける態勢の整備

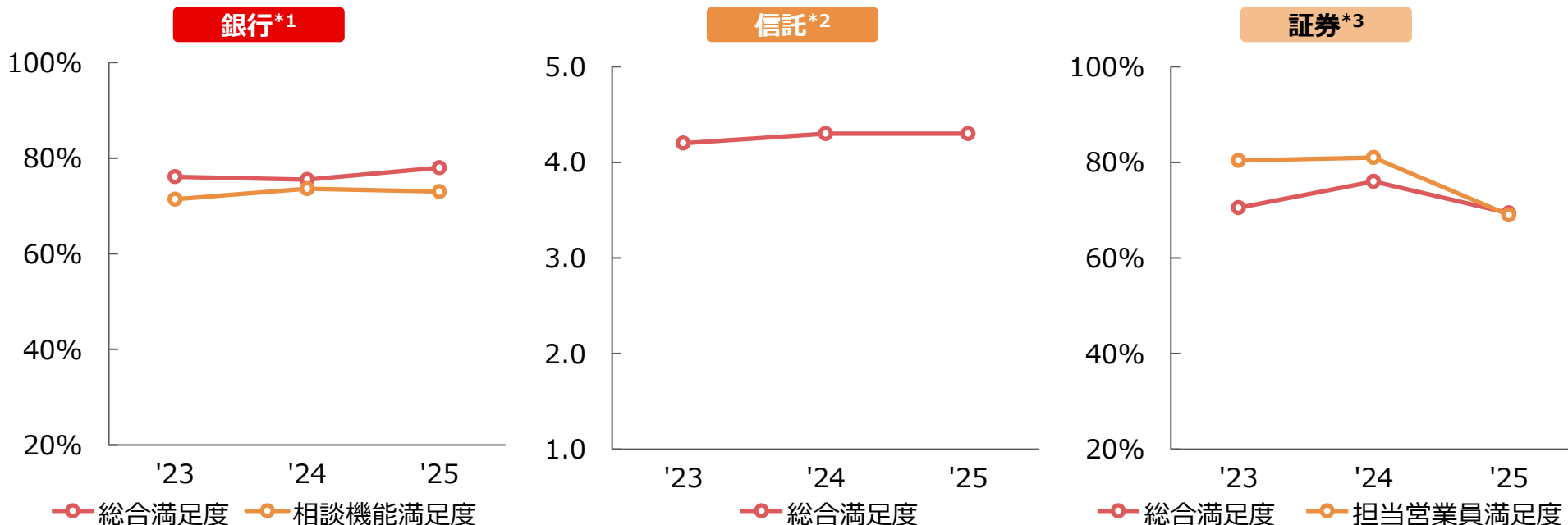
販売

商品開発・運用

(1) 店頭・コールセンター・インターネット等の多様なチャネル整備とともに、安心・安全にお取引いただける態勢を構築してまいります。【原則6】

- お客さまの声を起点としたサービス向上を目的に、定期的に満足度調査を実施しております。お客さまからの声をサービスのさらなる改善に反映させてまいります。

満足度調査



*1 調査概要／対象者：無作為に抽出した個人のお客さま（郵送方式送付数：約10,000名／回答数：約2,500名）

総合満足度： 当行との様々な取引を総合的に見て「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合

相談機能満足度： 資産運用、ライフプラン、ローンの相談・取引について「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合

*2 調査概要／対象者：直近でお取引をいただいたお客さまから抽出した個人のお客さま（郵送方式 送付数：18,742名／回答数：8,570名）

満足度： 当社との様々な取引から、お客さまが担当者を総合的に判断した満足度（「満足している」-「不満である」の5段階）の平均値

*3 調査概要／対象者：男女30歳以上、投資性金融資産残高1,000万円以上の個人のお客さまを対象としたインターネット調査（回答数412件）

総合満足度： 当社との様々な取引を総合的に見て「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合

担当営業員満足度： 担当営業員の対応について「満足」「どちらかといえば満足」と答えたお客さまの割合

9. プロフェッショナリズムの発揮

(1) お客さまと末永い信頼関係を築くため、プロフェッショナル人材の育成および専門性のさらなる向上に継続的に取り組んでまいります。【原則2】

- 高度化かつ多様化するお客さまのニーズに対応し、お客さまと末永い信頼関係を築くため、高い専門性と人間性をもつ人材の育成に、グループで継続的に取り組んでまいります。

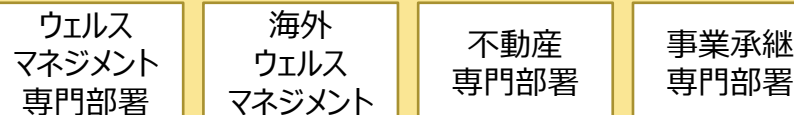
【ご参考】人材育成への取組み

- WM^{*1}領域のプロフェッショナルとして活躍する人材の育成に向け、グループ横断で専門知識を学ぶ機会を提供するWMジョブローテーションを実施しております。
- 高度な実践力、知識、人間性を有し、お客さまの多様なニーズに対応できる担当者の育成に向け、グループ各社でWM人材制度を構築してまいります。

WMジョブローテーションプログラム

お客さまの多様なニーズに高度なソリューションを提供できる専門人材

Wealth Management Job Rotation

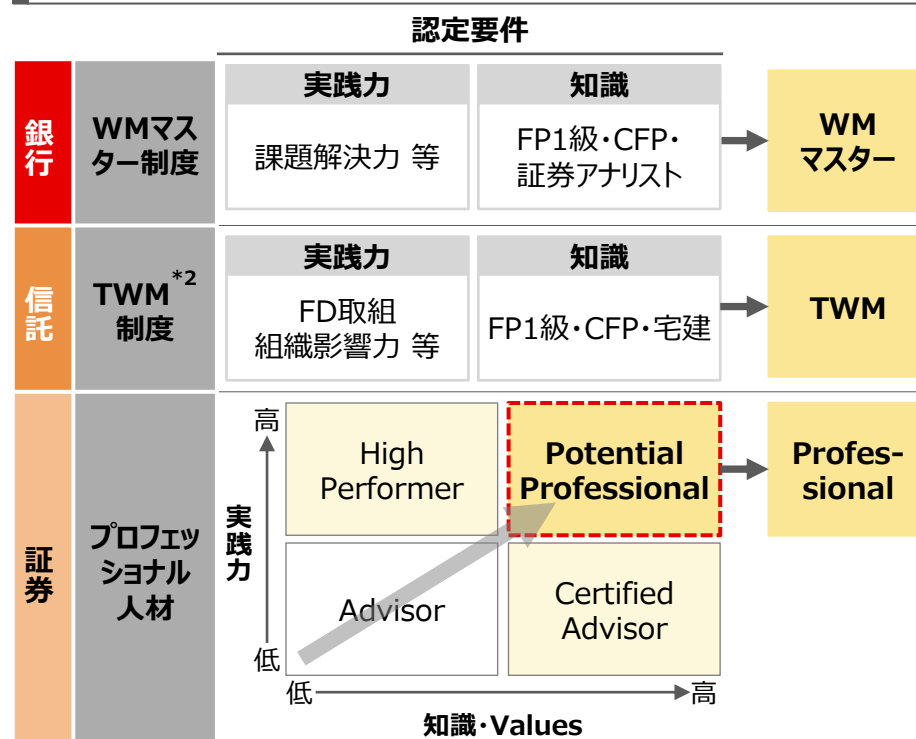


銀行

信託

証券

各社WM人材制度



*1 WM=ウェルスマネジメント *2 TWM=Trust Wealth Manager

**製販全体として
お客さまの最善の利益を
実現するための取組み
（組成会社・販売会社における
情報連携）**

補充原則3・4への対応

販売

商品開発・運用

MUFG FD基本方針

- 2.(1) 常にお客さま本位で考え、組成会社・販売会社間の情報連携を実施し、お客さまのニーズをとらえた商品を開発・提供してまいります。【原則6】・【補充原則3・4】
- 4.(1) お客さまの多様なニーズにお応えするため、組成会社・販売会社間の情報連携を実施し、幅広い商品を取り揃えてまいります。【原則6】・【補充原則3・4】

- 信託では、組成部署と販売部署が参加する会議体を設置し、想定する顧客属性を踏まえ情報も連携しながら議論を重ね、お客さまの最善の利益を実現するための商品開発や商品ラインアップの整備に努めています。
- MUAMでは、組成会社として各商品の購入を想定しているお客さまの属性を特定し、販売会社へ連携するとともに、考え方をホームページで公表しています。また、提供する商品の価値の維持・向上にも継続的に取り組んでいます。
- 銀行では、お客さまのニーズに合った商品やサービスを提供するために、商品性の検証^{*1}や想定されるお客さまの特定、ならびに既存商品の販売状況について定期的に確認を行っております。

プロダクトガバナンス^{*2}の取組み

信託

- 組成部署と販売部署が参加する会議体を設置し、お客さまニーズ等を踏まえたうえで商品開発や継続可否について議論し、商品提供、ラインアップの整備をしています。

新商品会議（導入時プロセス）	
目的	・ 新商品・新規業務の取組み方針につき審議・決定（随時開催）
参加者	・ 組成部署、販売部署、リスク管理・コンプライアンス部署など
内容	・ 商品性やリスクリターン特性のほか、想定顧客やニーズ、販売見込、報酬水準、採算性などにつき共有、関係各部から意見収集を行い、採否を決定

プロダクト再評価会議（導入後モニタリングプロセス）	
目的	・ 提供する商品について、お客さま目線に基づいて、検証、商品の継続可否や運用仕様等の商品性変更を審議・決定（半期毎に開催）
参加者	・ 組成部署、販売部署、リスク管理・コンプライアンス部署など
内容	・ 再評価基準に抵触したプロダクトにつき、パフォーマンス、販売状況、顧客動向等を踏まえプロダクト戦略上の必要性や商品性・販売戦略の方針につき審議し、プロダクトの戦略方針を決定

^{*1} 商品リスクの種類と大きさや費用とパフォーマンス、商品ランク等の検証

^{*2} お客さまへ良質な商品（プロダクト）・サービスを提供するために、商品の組成・運用において適切な運営・モニタリング・品質管理を行うことを指します

投資信託の組成会社としての取組み

MUAM

- 最適な投資信託をお客さまへ提供するため、組成会社として、各商品の購入を想定しているお客さまを特定しています。商品理解の難易度など商品性の観点と、投資経験や投資知識の観点から検討し、お客さまへの販売時に参考となるよう販売会社へ連携するとともに、その考え方をHPで公表しています。
- また、投資信託の提供価値の維持・向上にも継続的に取り組んでいます。運用や商品開発の担当部署では、ファンド運営に加え、その品質管理・改善に日常的に取り組むとともに、監督部署によるモニタリングを通じて、お客さまの信頼に応える商品提供を心掛けています。

HP掲載の「考え方」はこちらをご覧ください

当社が考える、各商品の購入を想定するお客さまについて

商品を提供する三つのアセットマネジメントでは、商品理解の難易度などに基づいて分類した商品リスクランク（詳細は「注」に記述）に照応して、各商品の購入を想定するお客さまを、投資経験や投資知識の観点から4つに別けてご案内しております。

具体的には、「A、投資経験がない」「B、投資経験がないが投資知識が十分にあり購入される方」「C、投資経験がある方、または投資知識がある方」「D、投資経験および投資知識が十分にあり購入される方」の4つになります。

※ 時間分数とあわせて投資などによる購入を想定しています。

下記の図にて、各商品リスクランクのどのついている箇所に応じてはまるお客さまが、当社がその商品の購入を想定しているお客さまになります。

なお、当社では、主に適当適度（対価割合と費用コストが異なるもの）などの商品理解の難易度が概率的に高いと考えられる商品などを、商品リスクランク「3」としています。

補充原則3・4への対応

販売

商品開発・運用

MUFG FD基本方針

- 2.(1) 常にお客さま本位で考え、組成会社・販売会社間の情報連携を実施し、お客さまのニーズをとらえた商品を開発・提供してまいります。【原則6】・【補充原則3・4】
- 4.(1) お客さまの多様なニーズにお応えするため、組成会社・販売会社間の情報連携を実施し、幅広い商品を取り揃えてまいります。【原則6】・【補充原則3・4】

- 証券では、お客さまの最善の利益を実現させる商品ラインアップの提供に向けた決裁プロセスを構築しております。
- また、投資一任業者としてファンドラップを組成しており、販売会社と定期的な情報連携を実施し、サービスの向上に努めていきます。

プロダクトガバナンスの取組み

証券

- お客さまの最善の利益を実現すべく、リスク管理部署による新商品検討に加え、以下の決裁プロセスを構築しています。
- 商品の新規導入、モニタリング、改廃と、各商品のライフサイクルを意識した協議を行い、お客さまのニーズに応える商品提供に努めています。

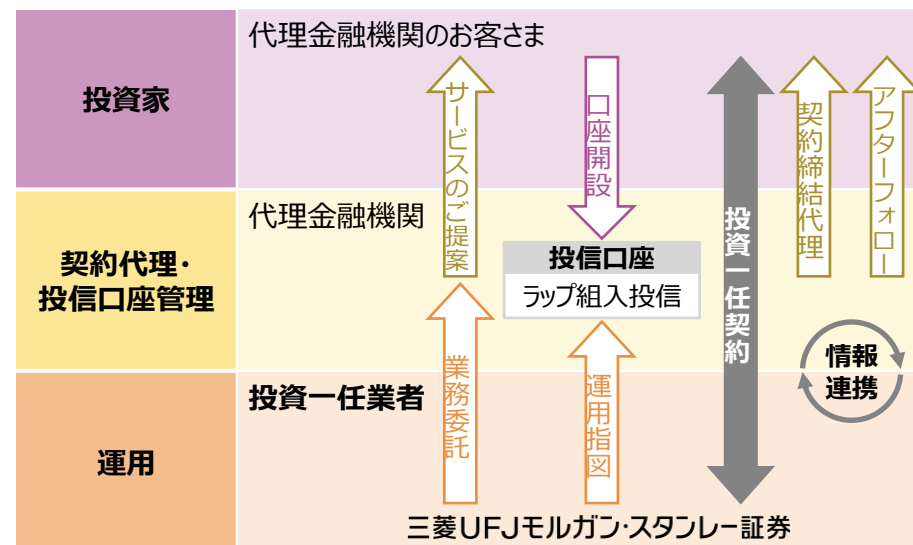
プロダクトガバナンス会議（商品の新規導入、モニタリング、改廃）

目的	お客さまの最善の利益に適う商品・サービス等の採用、見直し、取扱停止等に係る審議
参加者	組成・販売部署、リスク管理・コンプライアンス部署等
内容	新規導入： お客さまの最善の利益を実現する商品ラインアップ提供に向け、商品性、リスクの種類と大きさ、販売後のモニタリング体制等を踏まえ、当社が販売する商品としての妥当性を検証のうえ審議等を行う。 導入後管理・改廃： 相場変動時の対応状況、商品ごとのリスクランク、販売実績、コスト・リスク・リターンの分析等、販売を継続することの妥当性を検証し、必要に応じて改廃の審議等を行う。

ファンドラップの組成会社としての取組み

証券

- 証券では投資一任業者として、自社が直接販売を行わないファンドラップを組成しています（P16ご参照）。
- 販売会社と情報連携を実施し、サービスの向上に努めていきます。



補充原則 5 への対応

販売

商品開発・運用

MUFG FD基本方針 序文

- 本方針の下、グループ各社がお客さま本位の姿勢を共有し、その取組状況を定期的に公表するとともに、MUFGもその取組みをモニタリングし、本方針を定期的に見直します。また、MUFGグループは、豊かな生活へ向けた社会の変化をリードすべく、よりお客さま本位の業務運営の実現を目指します。
- お客さまがより良い金融商品を選択できるよう、運用体制やプロダクトガバナンス体制等について分かりやすい情報提供に努めてまいります。

分かりやすい情報提供

信託

- 信託では、運用体制等について、ホームページや重要情報シートで情報提供しています。また、商品提供後は、定期的に運用報告資料を提供しています。

弊社HPはこちらをご覧ください



MUAM

- MUAMでは、HPを通じて運用体制や運用責任者、投資哲学について情報提供しています。
- また、プロダクトガバナンス体制に加え、商品提供後の品質管理について定期的にプロダクトガバナンス・レポートとして提供しています

運用に係る情報は
こちらをご覧ください

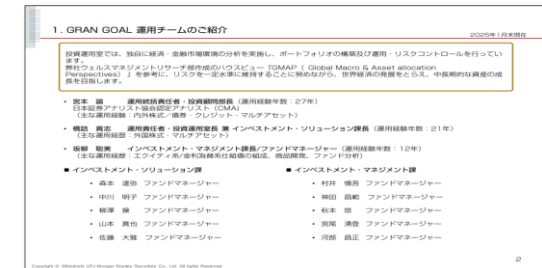


プロダクトガバナンス・レポートは
こちらをご覧ください



証券

- 証券では、運用体制等について、今後は「重要情報シート」への掲載を念頭に情報提供に努めてまいります。
- 商品提供後も定期的にレポートを作成し、お客さまへの分かりやすい情報提供に努めています。



銀行

- 銀行では、商品性に関する情報について、販売用資料等を活用し、分かりやすい情報提供に努めています。

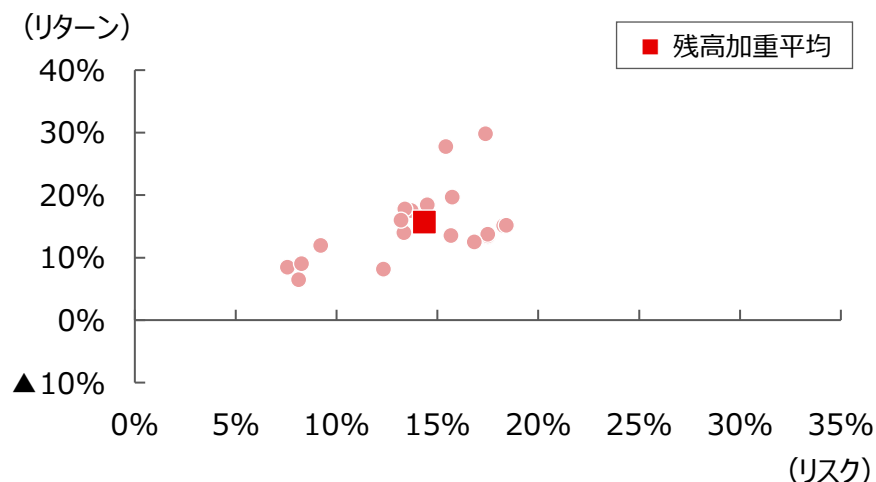
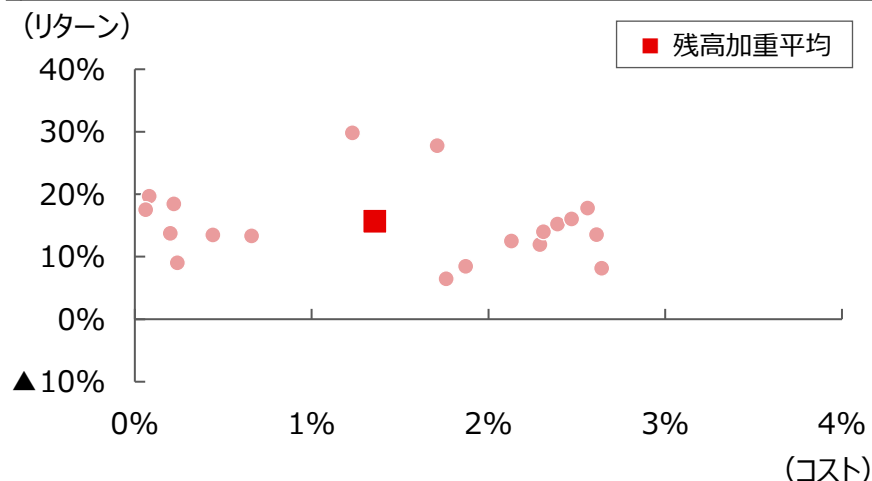
共通KPI

投資信託および外貨建保険の販売会社における比較可能な共通KPIについて
(金融庁HP: <https://www.fsa.go.jp/policy/kokyakuhoni/kokyakuhoni.html>)

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト／リスク・リターン*2,3（2026年3月）

銀行



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)	0.08%	15.73%	19.68%
2	eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー)	0.06%	13.70%	17.53%
3	三菱UFJ インデックス225オープン	0.66%	17.48%	13.35%
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	2.39%	18.28%	15.15%
5	インベスコ 世界厳選株式オープン (為替ヘッジなし) (毎月決算型) (愛称：世界のベスト)	2.56%	13.38%	17.80%
6	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.61%	15.67%	13.58%
7	三菱UFJ/マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド (為替ヘッジなし) (毎月決算型) (愛称：世界のいしずえ)	1.76%	8.12%	6.47%
8	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし)	2.64%	12.31%	8.16%
9	ダイヤセレクト日本株オープン	1.71%	15.41%	27.80%
10	ピクテ・ゴールド (為替ヘッジなし)	1.23%	17.37%	29.83%
11	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド (毎月決算型) B (為替ヘッジなし)	2.29%	9.20%	11.95%
12	フィデリティ・世界割安成長株投信Bコース (為替ヘッジなし) (愛称：テンバガー・ハンター)	2.31%	13.33%	14.02%
13	ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド	1.87%	7.55%	8.48%
14	つみたて先進国株式	0.22%	14.49%	18.48%
15	つみたて8資産均等バランス	0.24%	8.26%	9.07%
16	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)	2.39%	18.40%	15.22%
17	eMAXIS 日経225インデックス	0.44%	17.48%	13.49%
18	つみたて日本株式 (日経平均)	0.20%	17.49%	13.76%
19	フィデリティ・USリート・ファンドB (為替ヘッジなし)	2.13%	16.82%	12.54%
20	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド (毎月分配型)	2.47%	13.19%	16.04%
	残高加重平均 (■)	1.36%	14.37%	15.63%

*1 2024年3月、2025年3月または2026年3月時点で、設定期間5年を越えるファンドのみに限った投資信託の預かり残高上位20銘柄

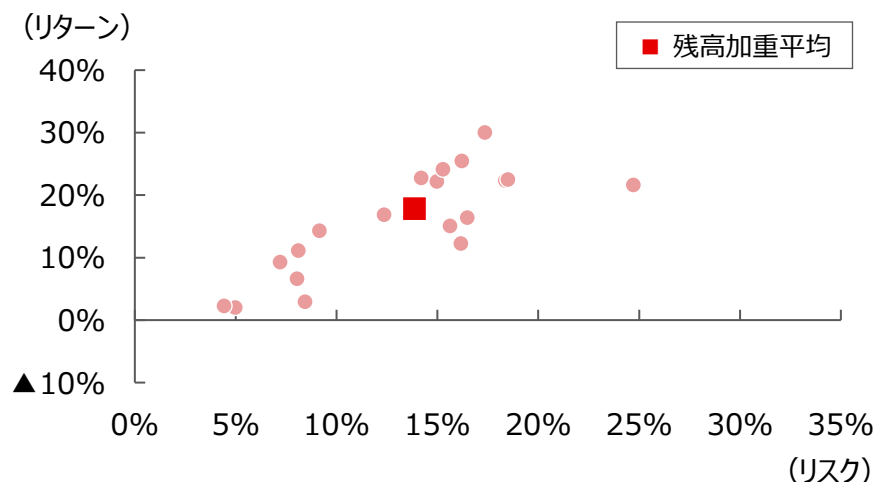
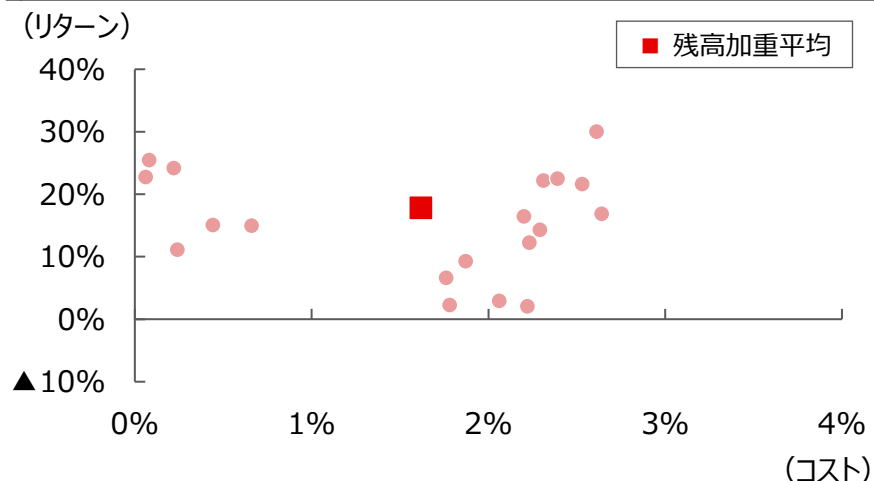
*2 コスト：販売手数料の1/5 + 信託報酬、リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）、リターン：過去5年のトータルリターン（年率換算）

*3 2024年3月基準より、窓販投信・金融商品仲介・紹介型仲介の預かり残高の合算にて銘柄抽出

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト／リスク・リターン*2,3（2025年3月）

銀行



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	eMAXIS Slim 米国株式 (S&P500)	0.08%	16.20%	25.47%
2	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 毎月決算型 (為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	2.39%	18.36%	22.39%
3	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.61%	17.35%	30.04%
4	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし)	2.64%	12.34%	16.87%
5	三菱UFJインデックス225オープン	0.66%	15.63%	14.98%
6	三菱UFJ/マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド (為替ヘッジなし) (毎月決算型) (愛称：世界のいしずえ)	1.76%	8.03%	6.65%
7	eMAXIS Slim 全世界株式 (オール・カントリー)	0.06%	14.19%	22.77%
8	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース (為替ヘッジなし) (愛称：テンバガー・ハンター)	2.31%	14.96%	22.23%
9	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド (毎月決算型) B (為替ヘッジなし)	2.29%	9.14%	14.34%
10	ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド	1.87%	7.19%	9.31%
11	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース (為替ヘッジなし)	2.39%	18.49%	22.52%
12	フィデリティ・USリート・ファンド B (為替ヘッジなし)	2.20%	16.47%	16.45%
13	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド (愛称：クアトロ)	2.22%	4.97%	2.06%
14	つみたて先進国株式	0.22%	15.26%	24.18%
15	つみたて8資産均等バランス	0.24%	8.10%	11.13%
16	eMAXIS 日経225インデックス	0.44%	15.62%	15.11%
17	サイバーセキュリティ株式オープン (為替ヘッジなし)	2.53%	24.71%	21.67%
18	スマート・クオリティ・オープン (安定型) (愛称：スマラップ)	1.78%	4.41%	2.30%
19	新光 US-REITオープン (愛称：ゼウス)	2.23%	16.15%	12.28%
20	JPMベスト・インカム (毎月決算型)	2.06%	8.43%	2.95%
	残高加重平均 (■)	1.62%	13.88%	17.77%

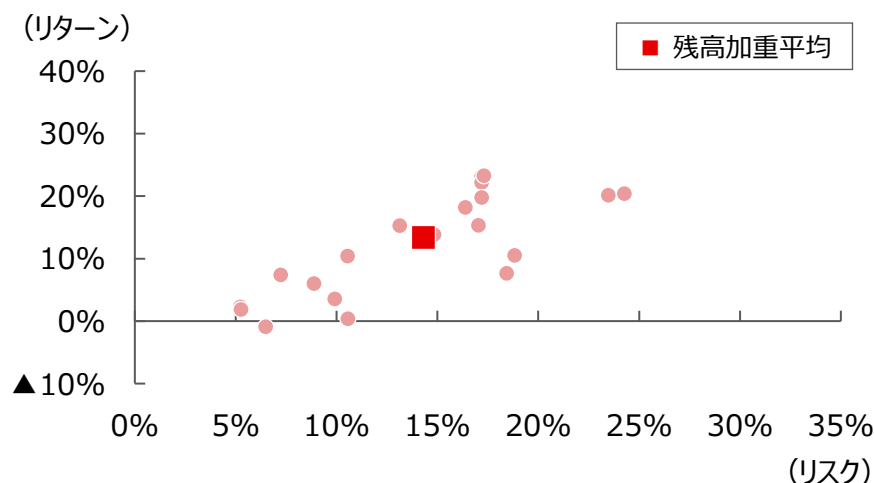
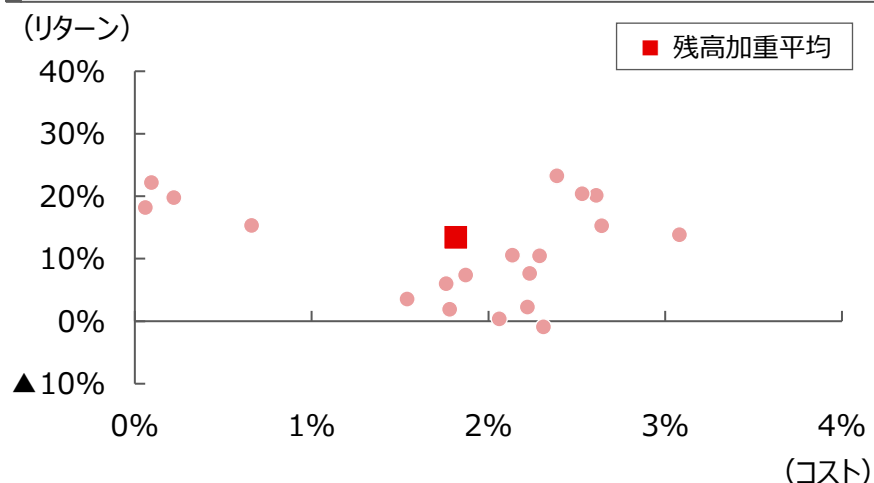
*1 2024年3月、2025年3月または2026年3月時点で、設定期間5年を越えるファンドのみに限った投資信託の預かり残高上位20銘柄

*2 コスト：販売手数料の1/5 + 信託報酬、リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）、リターン：過去5年のトータルリターン（年率換算）

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト／リスク・リターン*2,3（2024年3月）

銀行



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 毎月決算型（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型	2.39%	17.18%	23.15%
2	三菱UFJインデックス225オープン	0.66%	17.03%	15.35%
3	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン （為替ヘッジなし）	2.64%	13.12%	15.28%
4	eMAXIS Slim米国株式（S&P500）	0.09%	17.19%	22.19%
5	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.61%	23.46%	20.16%
6	三菱UFJ／マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド （為替ヘッジなし）（毎月決算型）（愛称：世界のいしずえ）	1.76%	8.87%	6.03%
7	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（毎月決算型） B（為替ヘッジなし）	2.29%	10.54%	10.46%
8	ピムコ ハイ・インカム毎月分配型ファンド	1.87%	7.23%	7.40%
9	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド（愛称：クアトロ）	2.22%	5.23%	2.31%
10	JPMベスト・インカム（毎月決算型）	2.06%	10.55%	0.38%
11	スマート・クオリティ・オープン（安定型）（愛称：スマラップ）	1.78%	5.25%	1.91%
12	新光 US-REITオープン（愛称：ゼウス）	2.23%	18.42%	7.66%
13	eMAXIS Slim全世界株式（オール・カントリー）	0.06%	16.38%	18.23%
14	フィデリティ・USリート・ファンド B（為替ヘッジなし）	2.13%	18.82%	10.56%
15	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 Bコース （為替ヘッジなし）	2.39%	17.29%	23.28%
16	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.53%	24.26%	20.42%
17	UBSオーストラリア債券オープン（毎月分配型）	1.54%	9.90%	3.57%
18	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト－PIMCOインカム・ファンド 円－毎月分配クラス	2.31%	6.47%	▲0.90%
19	つみたて先進国株式	0.22%	17.18%	19.81%
20	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド（愛称：健次）	3.08%	14.82%	13.85%
	残高加重平均（■）	1.82%	14.32%	13.35%

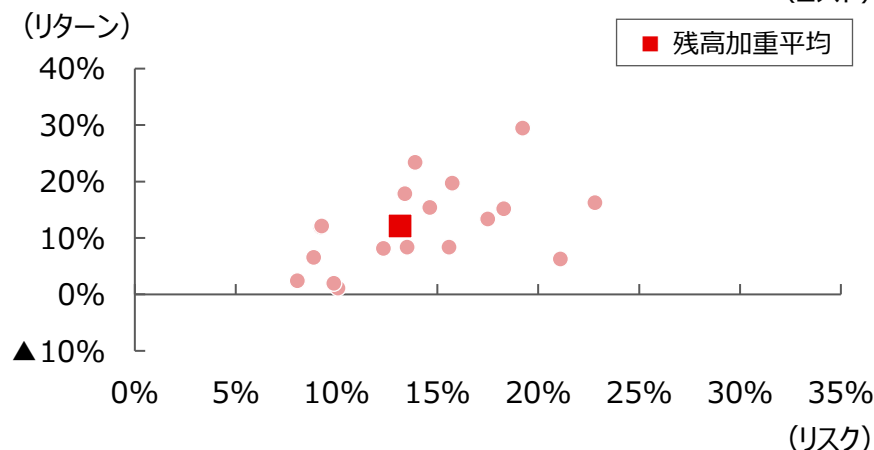
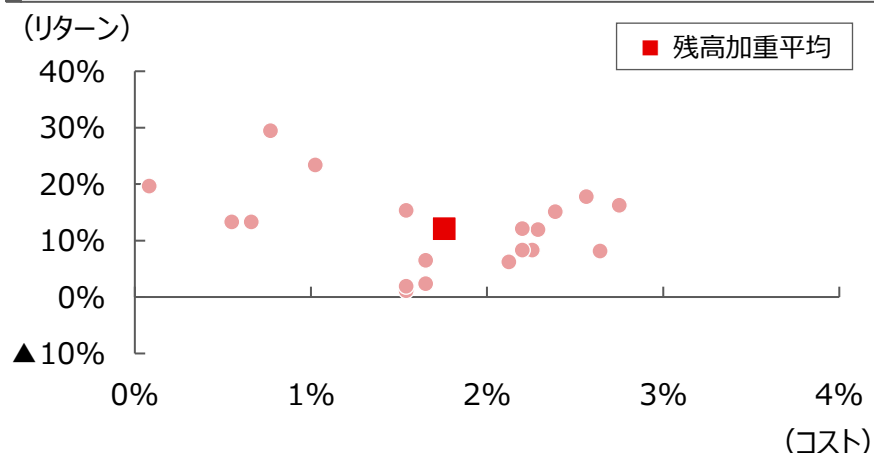
*1 2024年3月、2025年3月または2026年3月時点で、設定期間5年を越えるファンドのみに限った投資信託の預かり残高上位20銘柄

*2 コスト：販売手数料の1/5＋信託報酬、リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）、リターン：過去5年のトータルリターン（年率換算）

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト／リスク・リターン*2,3（2026年3月）

信託



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）B（為替ヘッジなし）	2.29%	9.20%	11.95%
2	三菱UFJグローバル・ボンド・オープン（毎月決算型）（愛称：花こよみ）	1.65%	8.05%	2.40%
3	三菱UFJ純金ファンド（愛称：ファインゴールド）	0.77%	19.22%	29.47%
4	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（資産成長型）D（為替ヘッジなし）	2.20%	9.26%	12.12%
5	インベスコ世界厳選株式オープン（為替ヘッジなし）（毎月決算型）（愛称：世界のベスト）	2.56%	13.38%	17.80%
6	netWIN GSテクノロジー株式ファンド B（ヘッジなし）	2.75%	22.80%	16.26%
7	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信 D（ヘッジなし・予想分配）	2.39%	18.28%	15.15%
8	豪ドル毎月分配型ファンド	1.65%	8.85%	6.53%
9	日経平均高配当利回り株ファンド	1.02%	13.88%	23.41%
10	優良日本株ファンド（愛称：ちから株）	1.54%	14.62%	15.37%
11	三菱UFJ インデックス225オープン	0.55%	17.48%	13.35%
12	インデックスファンド225（三菱UFJアセットマネジメント）	0.66%	17.48%	13.36%
13	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	15.56%	8.34%
14	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）	0.08%	15.73%	19.68%
15	ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	2.12%	21.09%	6.27%
16	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64%	12.31%	8.16%
17	三菱UFJグローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）（愛称：花こよみ）	1.65%	8.04%	2.40%
18	ノムラ日米REITファンド（毎月分配型）	2.20%	13.49%	8.36%
19	ニッセイ J-REITファンド（毎月決算型）	1.54%	10.06%	1.11%
20	三菱UFJ リートオープン（3か月決算型）	1.54%	9.85%	1.93%
	残高加重平均（■）	1.76%	13.16%	12.08%
①	【ご参考】MUFGファンドラップ（リスク分散コース成長型ヘッジファンドなし）	1.13%	6.32%	5.62%
②	【ご参考】MUFGファンドラップ（下方リスク抑制コース）	0.83%	4.28%	▲0.76%

*1 2024年3月、2025年3月または2026年3月時点で、設定期間5年を越えるファンドのみに限った投資信託の預かり残高上位20銘柄

*2 コスト：販売手数料の1/5 + 信託報酬、リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）、リターン：過去5年のトータルリターン（年率換算）

3 三菱UFJ信託銀行で取扱っている投資一任運用商品（MUFGファンドラップ）を掲載。MUFGファンドラップの公表数値は「下方リスク抑制コース」と、「リスク分散コース*」は契約者数が最も多い「成長型ヘッジファンドなし」とする*「金融庁比較可能な共通KPI」算出定義による算出が不可能であるため、以下算出定義に基づき算出

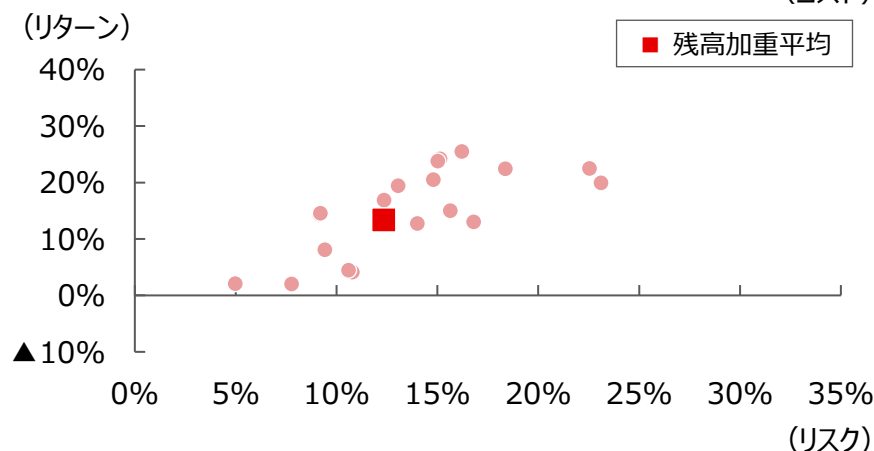
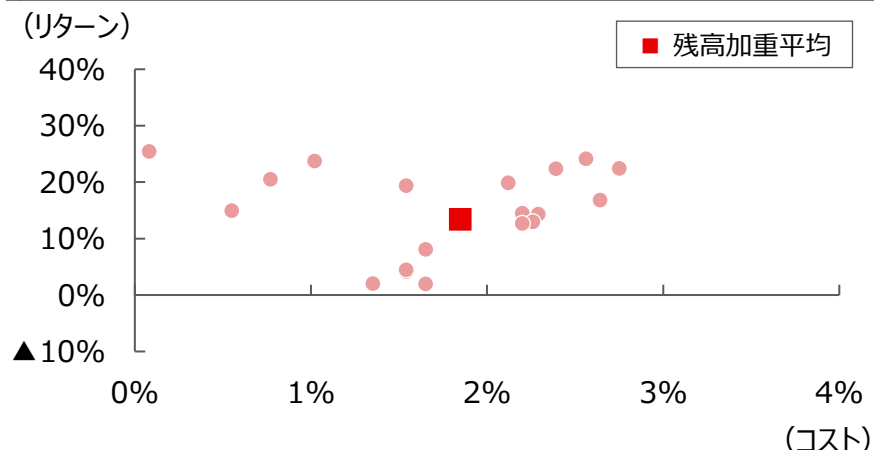
①リスク、リターン：モデルポートフォリオの数値を使用（実際の運用実績とは異なる）。信託報酬および以下②コストを控除

②コスト：投資一任報酬。固定報酬の最も高い料率とし、3年目以降は所定の報酬率の70%の料率を適用する長期保有割引制度を反映

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト／リスク・リターン*2,3（2025年3月）

信託



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）B（為替ヘッジなし）	2.29%	9.14%	14.34%
2	三菱UFJグローバル・ボンド・オープン（毎月決算型）（愛称：花こよみ）	1.65%	7.77%	1.99%
3	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（資産成長型）D（為替ヘッジなし）	2.20%	9.19%	14.51%
4	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 毎月決算型（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型	2.39%	18.36%	22.39%
5	豪ドル毎月分配型ファンド	1.65%	9.42%	8.10%
6	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	2.75%	22.53%	22.45%
7	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	16.79%	13.01%
8	インベスコ世界厳選株式オープン（為替ヘッジなし）（毎月決算型）	2.56%	15.12%	24.15%
9	モルガン・スタンレーグローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64%	12.34%	16.87%
10	三菱UFJ純金ファンド（愛称：ファインゴールド）	0.77%	14.79%	20.51%
11	優良日本株ファンド（愛称：ちから株）	1.54%	13.04%	19.41%
12	ベイリー・ギフォード インバクト投資ファンド	2.12%	23.10%	19.93%
13	日経平均高配当利回り株ファンド	1.02%	15.01%	23.78%
14	三菱UFJ インデックス225オープン	0.55%	15.63%	14.98%
15	ニッセイJ-REITファンド（毎月決算型）	1.54%	10.77%	4.12%
16	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）	1.65%	7.77%	1.99%
17	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド（愛称：クアトロ）	1.35%	4.97%	2.06%
18	ノムラ日米REITファンド（毎月分配型）	2.20%	13.99%	12.70%
19	三菱UFJ リートオープン（3ヵ月決算型）	1.54%	10.59%	4.46%
20	eMAXIS Slim 米国株式（S&P500）	0.08%	16.20%	25.47%
	残高加重平均（■）	1.85%	12.35%	13.34%
①	【ご参考】MUFGファンドラップ（リスク分散コース成長型ヘッジファンドなし）	1.18%	6.13%	6.45%
②	【ご参考】MUFGファンドラップ（下方リスク抑制コース）	0.98%	3.81%	▲0.79%

*1 2024年3月、2025年3月または2026年3月時点で、設定期間5年を越えるファンドのみに限った投資信託の預かり残高上位20銘柄

*2 コスト：販売手数料の1/5 + 信託報酬、リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）、リターン：過去5年のトータルリターン（年率換算）

3 三菱UFJ信託銀行で取扱っている投資一任運用商品（MUFGファンドラップ）を掲載。MUFGファンドラップの公表数値は「下方リスク抑制コース」と、「リスク分散コース*」は契約者数が最も多い「成長型ヘッジファンドなし」とする*「金融庁比較可能な共通KPI」算出定義による算出が不可能であるため、以下算出定義に基づき算出

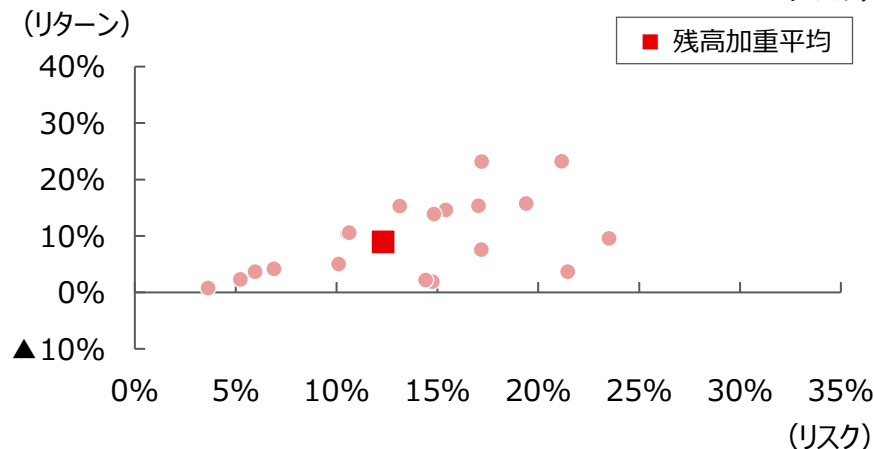
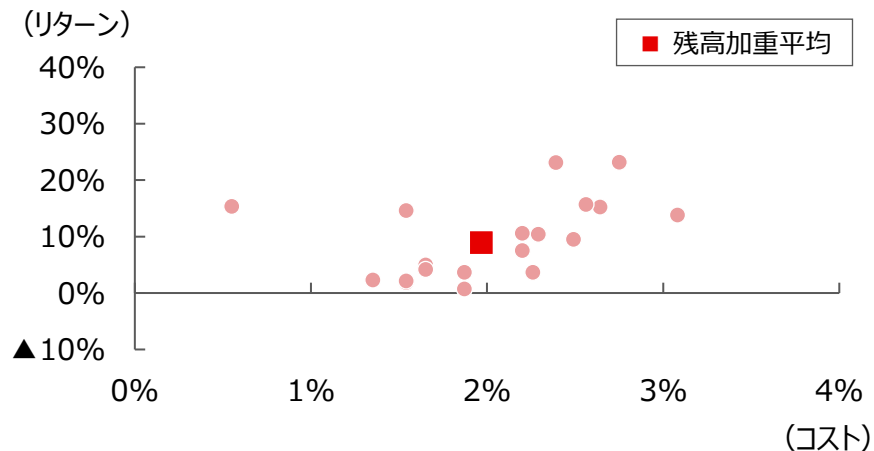
①リスク、リターン：モデルポートフォリオの数値を使用（実際の運用実績とは異なる）。信託報酬および以下②コストを控除

②コスト：投資一任報酬。固定報酬の最も高い料率とし、3年目以降は所定の報酬率の70%の料率を適用する長期保有割引制度を反映

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト／リスク・リターン*2,3（2024年3月）

信託



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	三菱UFJグローバル・ボンド・オープン（毎月決算型）（愛称：花こよみ）	1.65%	6.89%	4.18%
2	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）B（為替ヘッジなし）	2.29%	10.54%	10.46%
3	豪ドル毎月分配型ファンド	1.65%	10.09%	5.00%
4	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	21.46%	3.68%
5	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 毎月決算型（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型	2.39%	17.18%	23.15%
6	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	2.75%	21.15%	23.19%
7	ニッセイ-REITファンド（毎月決算型）	1.54%	14.74%	1.88%
8	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（資産成長型）D（為替ヘッジなし）	2.20%	10.62%	10.58%
9	優良日本株ファンド（愛称：ちから株）	1.54%	15.41%	14.62%
10	三菱UFJ インデックス225オープン	0.55%	17.03%	15.35%
11	モルガン・スタンレーグローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64%	13.12%	15.28%
12	三菱UFJ リートオープン（3ヵ月決算型）	1.54%	14.41%	2.16%
13	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド（愛称：クアトロ）	1.35%	5.23%	2.31%
14	三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）	1.65%	6.89%	4.18%
15	三菱UFJ バランス・イノベーション（株式重視型）	1.87%	5.96%	3.68%
16	ノムラ日米REITファンド（毎月分配型）	2.20%	17.17%	7.56%
17	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）	2.49%	23.50%	9.54%
18	三菱UFJ バランス・イノベーション（株式抑制型）	1.87%	3.63%	0.77%
19	インベスコ世界厳選株式オープン（為替ヘッジなし）（毎月決算型）（愛称：世界のベスト）	2.56%	19.39%	15.71%
20	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド（愛称：健次）	3.08%	14.82%	13.85%
	残高加重平均（■）	1.97%	12.33%	8.87%
①	【ご参考】MUFGファンドラップ（リスク分散コース成長型ヘッジファンドなし）	1.21%	6.86%	5.33%
②	【ご参考】MUFGファンドラップ（下方リスク抑制コース）	1.11%	3.73%	▲0.44%

*1 2024年3月、2025年3月または2026年3月時点で、設定期間5年を越えるファンドのみに限った投資信託の預かり残高上位20銘柄

*2 コスト：販売手数料の1/5 + 信託報酬、リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）、リターン：過去5年のトータルリターン（年率換算）

3 三菱UFJ信託銀行で取扱っている投資一任運用商品（MUFGファンドラップ）を掲載。MUFGファンドラップの公表数値は「下方リスク抑制コース」と、「リスク分散コース*」は契約者数が最も多い「成長型ヘッジファンドなし」とする*「金融庁比較可能な共通KPI」算出定義による算出が不可能であるため、以下算出定義に基づき算出

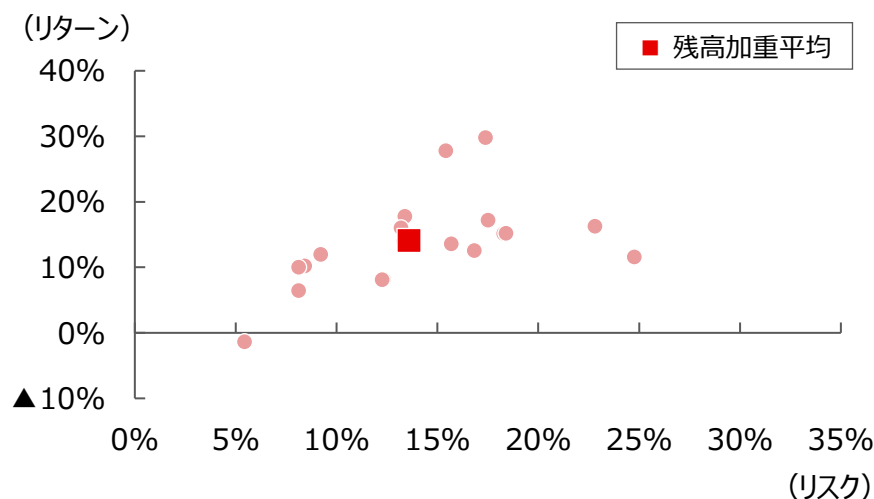
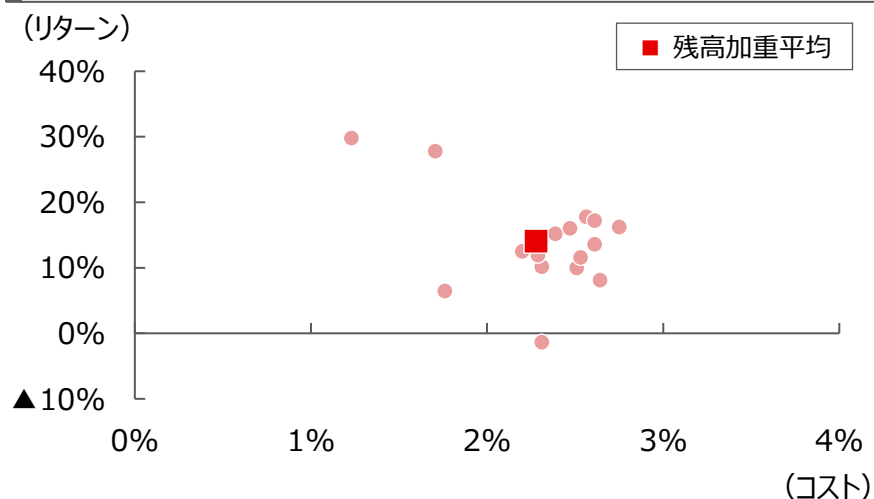
①リスク、リターン：モデルポートフォリオの数値を使用（実際の運用実績とは異なる）。信託報酬および以下②コストを控除

②コスト：投資一任報酬。固定報酬の最も高い料率とし、3年目以降は所定の報酬率の70%の料率を適用する長期保有割引制度を反映

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト／リスク・リターン*2（2026年3月）

証券



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型	2.39%	18.28%	15.15%
2	三菱UFJ / マッコーリーグローバル・インフラ債券ファンド＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	1.76%	8.12%	6.47%
3	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.61%	15.67%	13.58%
4	インベスコ世界厳選株式オープン為替ヘッジなし（毎月決算型）（愛称：世界のベスト）	2.56%	13.38%	17.80%
5	ダイヤセレクト日本株オープン	1.71%	15.41%	27.80%
6	モルガン・スタンレーグローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）	2.64%	12.31%	8.16%
7	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジなし）	1.23%	17.37%	29.83%
8	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース（為替ヘッジなし）（愛称：テンバガー・ハンター）	2.31%	13.33%	14.02%
9	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）	2.39%	18.40%	15.22%
10	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（毎月決算型）B（為替ヘッジなし）	2.29%	9.20%	11.95%
11	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47%	13.19%	16.04%
12	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.20%	16.82%	12.54%
13	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型	2.64%	12.26%	8.13%
14	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	2.75%	22.80%	16.26%
15	イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	2.61%	17.50%	17.21%
16	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド＜為替ヘッジなし＞（年2回決算型）	2.51%	8.11%	10.01%
17	MUAMグローバル・ケイマン・トラストーPIMCO インカム・ファンド円ー毎月分配クラス	2.31%	5.43%	▲1.37%
18	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.53%	24.75%	11.60%
19	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）	2.51%	8.11%	10.02%
20	ピクテ・ゴールド（為替ヘッジあり）	1.23%	18.45%	15.86%
	残高加重平均（■）	2.26%	14.36%	14.55%

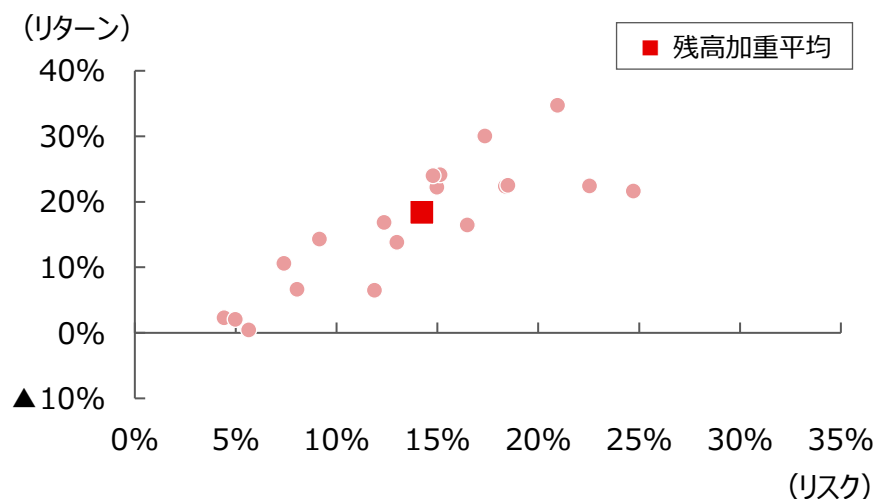
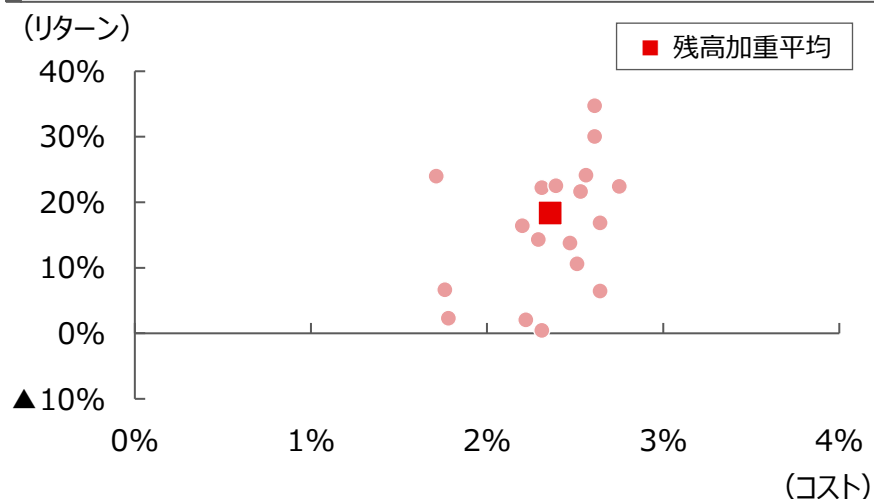
*1 2024年3月、2025年3月または2026年3月時点で、設定期間5年を越えるファンドのみに限った投資信託の預かり残高上位20銘柄

*2 コスト：販売手数料の1/5 + 信託報酬、リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）、リターン：過去5年のトータルリターン（年率換算）

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト／リスク・リターン*2（2025年3月）

証券



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 毎月決算型（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型	2.39%	18.36%	22.39%
2	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.61%	17.35%	30.04%
3	三菱UFJ／マッコーリー・グローバル・インフラ債券ファンド （為替ヘッジなし）（毎月決算型）	1.76%	8.03%	6.65%
4	モルガン・スタンレー・グローバル・プレミアム株式オープン （為替ヘッジなし）	2.64%	12.34%	16.87%
5	フィデリティ・世界割安成長株投信 Bコース（為替ヘッジなし） （愛称：テンバガー・ハンター）	2.31%	14.96%	22.23%
6	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース （為替ヘッジなし）	2.39%	18.49%	22.52%
7	フィデリティ・USリート・ファンド B（為替ヘッジなし）	2.20%	16.47%	16.45%
8	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（毎月決算型） B（為替ヘッジなし）	2.29%	9.14%	14.34%
9	イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	2.61%	20.95%	34.74%
10	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	2.75%	22.53%	22.45%
11	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト－PIMCOインカム・ファンド 円－毎月分配クラス	2.31%	5.64%	0.45%
12	インベスコ 世界厳選株式オープン（為替ヘッジなし） （毎月決算型）（愛称：世界のベスト）	2.56%	15.12%	24.15%
13	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47%	12.99%	13.82%
14	ダイヤセレクト日本株オープン	1.71%	14.78%	24.01%
15	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.53%	24.71%	21.67%
16	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド（為替ヘッジなし） （年2回決算型）	2.51%	7.39%	10.62%
17	モルガン・スタンレー・グローバル・プレミアム株式オープン （為替ヘッジあり）	2.64%	11.87%	6.49%
18	スマート・クオリティ・オープン（安定型）（愛称：スマラップ）	1.78%	4.41%	2.30%
19	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド（愛称：クアトロ）	2.22%	4.97%	2.06%
20	ピムコ・インカム・ストラテジー・ファンド（為替ヘッジなし） （毎月決算型）	2.51%	7.39%	10.62%
	残高加重平均（■）	2.36%	14.25%	18.33%

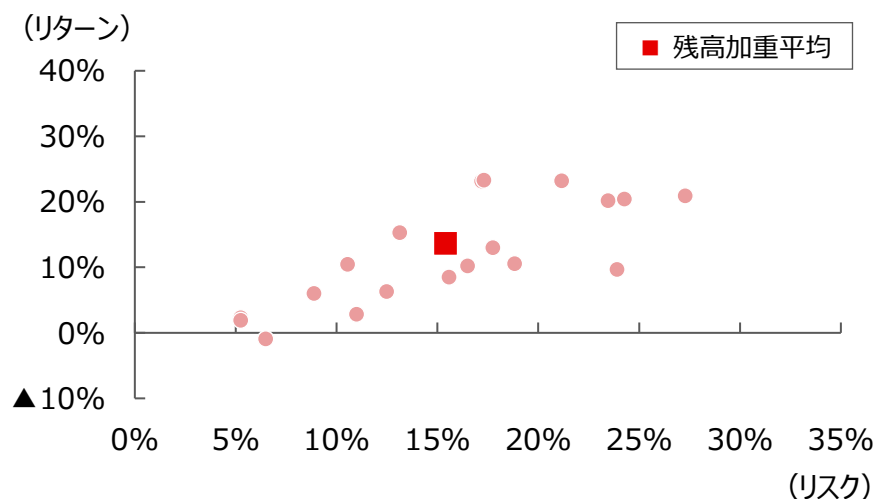
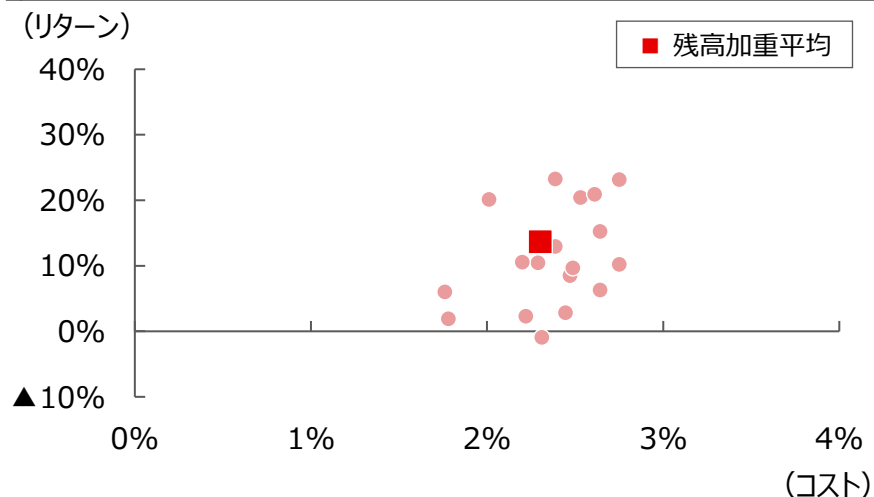
*1 2024年3月、2025年3月または2026年3月時点で、設定期間5年を越えるファンドのみに限った投資信託の預かり残高上位20銘柄

*2 コスト：販売手数料の1/5＋信託報酬、リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）、リターン：過去5年のトータルリターン（年率換算）

共通KPI

【共通KPI】投資信託預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト／リスク・リターン*2（2024年3月）

証券



	銘柄名	コスト	リスク	リターン
1	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース 毎月決算型（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型	2.39%	17.18%	23.15%
2	イーストスプリング・インド消費関連ファンド	2.61%	23.46%	20.16%
3	三菱UFJ／マッコーリー グローバル・インフラ債券ファンド （為替ヘッジなし）（毎月決算型）	1.76%	8.87%	6.03%
4	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン （為替ヘッジなし）	2.64%	13.12%	15.28%
5	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース （為替ヘッジなし）	2.39%	17.29%	23.28%
6	フィデリティ・USハイ・イールド・ファンド（毎月決算型） B（為替ヘッジなし）	2.29%	10.54%	10.46%
7	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト－PIMCOインカム・ファンド 円－毎月分配クラス	2.31%	6.47%	▲0.90%
8	フィデリティ・USリート・ファンド B（為替ヘッジなし）	2.20%	18.82%	10.56%
9	ピクテ・グローバル・インカム株式ファンド（毎月分配型）	2.47%	15.57%	8.52%
10	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）	2.75%	21.15%	23.19%
11	サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）	2.53%	24.26%	20.42%
12	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン （為替ヘッジあり）	2.64%	12.47%	6.33%
13	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド（愛称：クアトロ）	2.22%	5.23%	2.31%
14	イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド	2.61%	27.27%	20.91%
15	スマート・クオリティ・オープン（安定型）（愛称：スマラップ）	1.78%	5.25%	1.91%
16	ピクテ・バイオ医薬品ファンド（毎月決算型） 為替ヘッジなしコース	2.75%	16.48%	10.21%
17	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース 毎月決算型（為替ヘッジあり） 予想分配金提示型	2.39%	17.74%	12.98%
18	フランクリン・テンブルトン・オーストラリア高配当株ファンド （毎月分配型）	2.49%	23.90%	9.70%
19	グローバルCoCo債ファンド 円ヘッジコース	2.45%	10.98%	2.84%
20	MUAMグローバル・ケイマン・トラスト－PIMCOインカム・ファンド 円－年1回分配クラス	2.31%	6.48%	▲0.92%
	残高加重平均（■）	2.37%	15.42%	13.63%

*1 2024年3月、2025年3月または2026年3月時点で、設定期間5年を越えるファンドのみに限った投資信託の預かり残高上位20銘柄

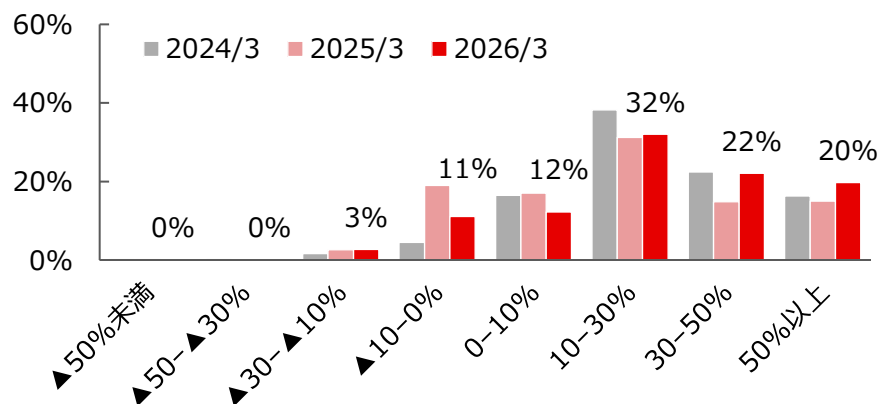
*2 コスト：販売手数料の1/5＋信託報酬、リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）、リターン：過去5年のトータルリターン（年率換算）

共通KPI

- 投資信託・ファンドラップをご購入いただいたお客さまの運用損益状況をお示しております。
- なお、MUFGでは、よりお客さまの実感に近い内容でお伝えすることを目的に、金融庁公表の定義に加え、過去の全部売却や償還により実現した損益を勘案した結果を合わせて公表しています。

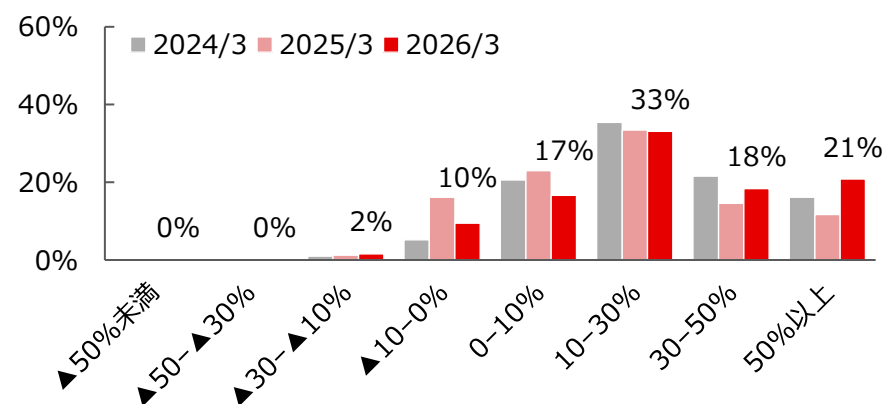
【共通KPI】投資信託運用損益別顧客比率

銀行*1

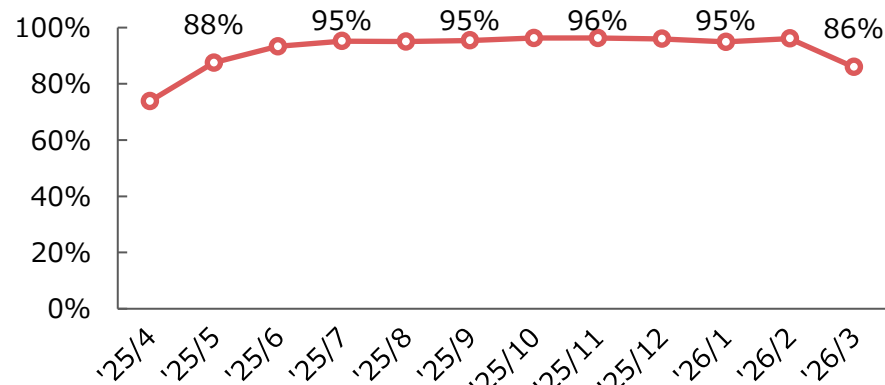


実現損益を含む投資信託運用損益別顧客比率

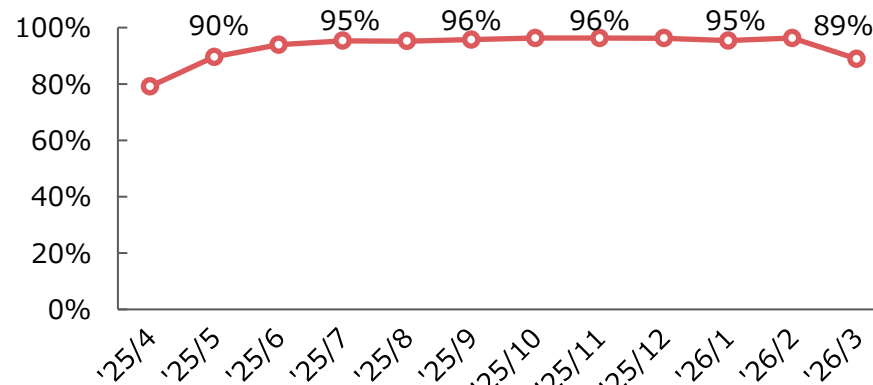
銀行*2



2025年度の運用損益プラス顧客比率の状況（実現損益を含まず）



2025年度の運用損益プラス顧客比率の状況（実現損益を含む）



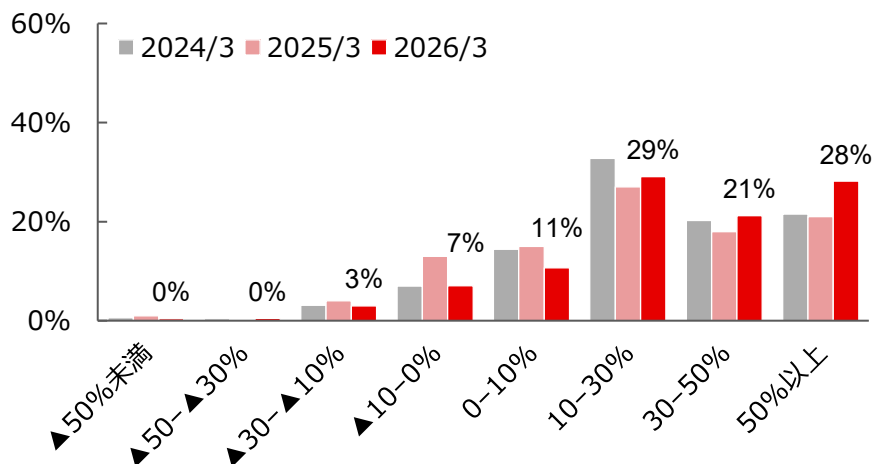
*1 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「時価総額」。現在保有中の投資信託が対象

*2 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。窓販投信は2014年12月以降、金融商品仲介は2017年1月以降に売却または償還となった実現損益が対象

共通KPI

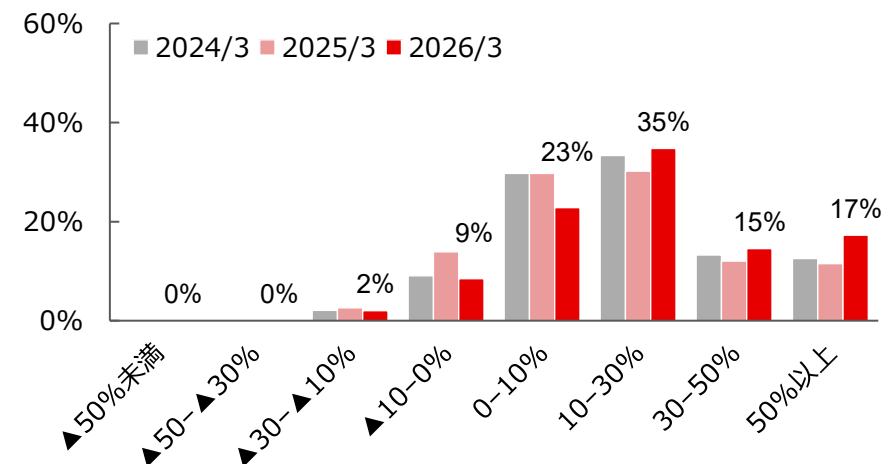
【共通KPI】投資信託運用損益別顧客比率

信託*1

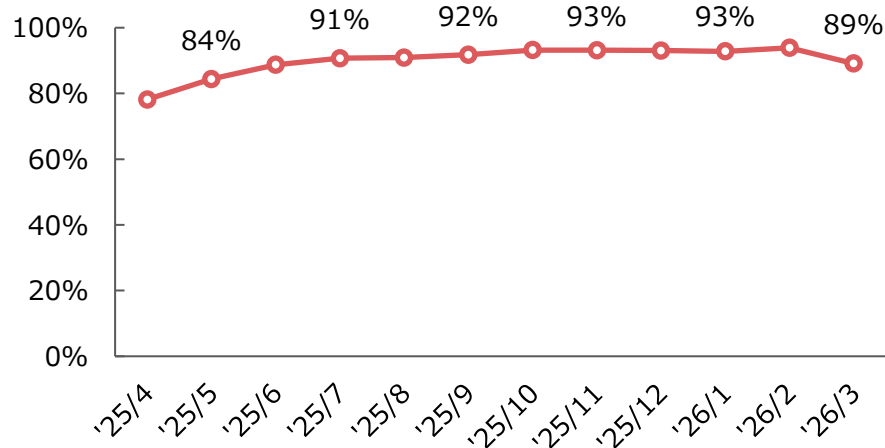


実現損益を含む投資信託運用損益別顧客比率

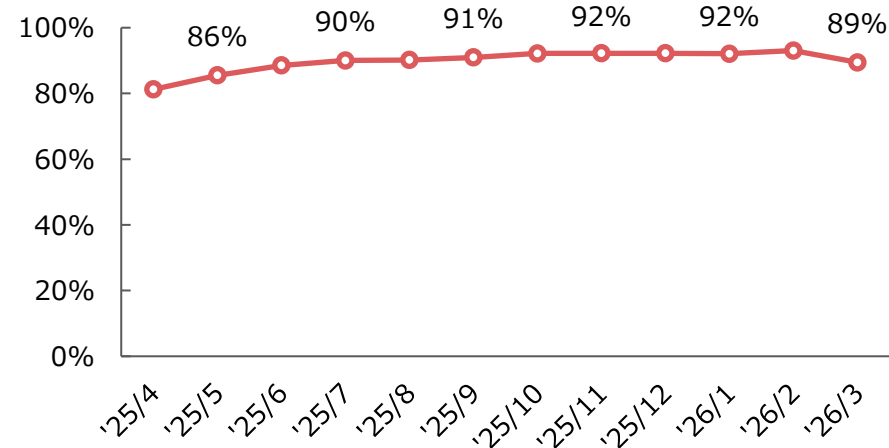
信託*2



2025年度の運用損益プラス顧客比率の状況（実現損益を含まず）



2025年度の運用損益プラス顧客比率の状況（実現損益を含む）



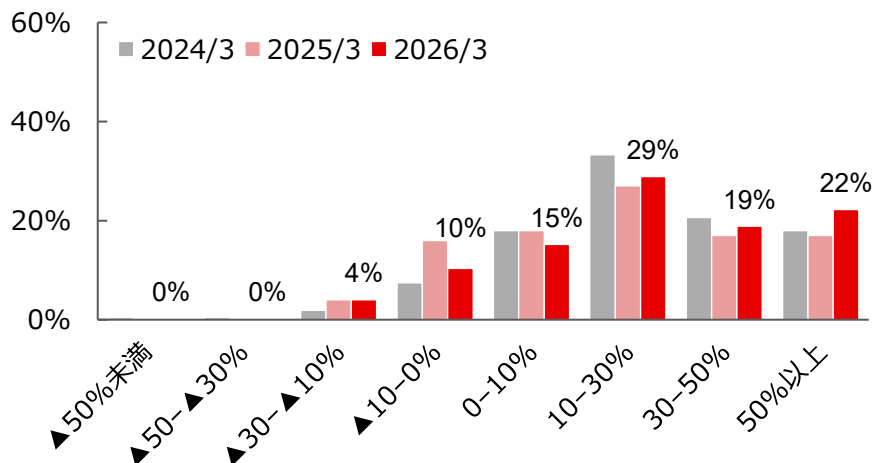
*1 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「時価総額」。現在保有中の投資信託が対象

*2 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。2006年6月以降に、売却または償還となった投資信託の実現損益が対象

共通KPI

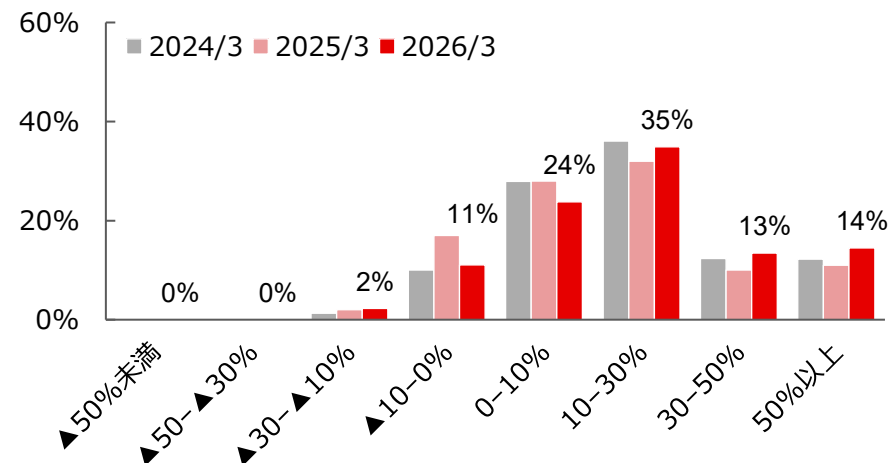
【共通KPI】投資信託運用損益別顧客比率

証券*1

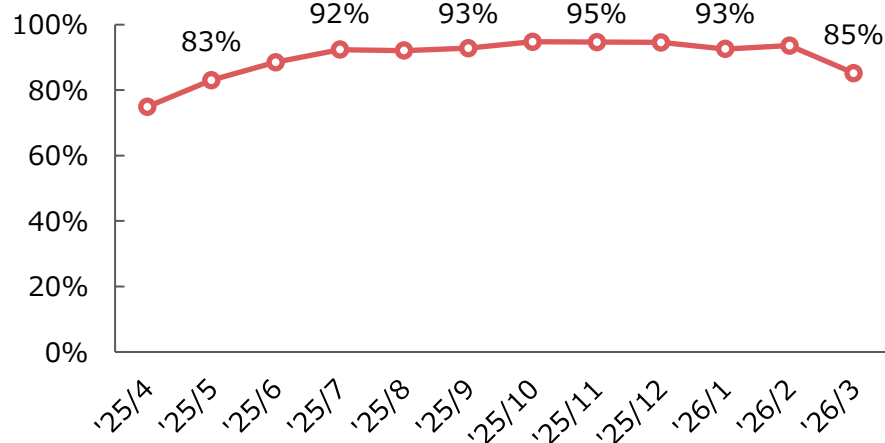


実現損益を含む投資信託運用損益別顧客比率

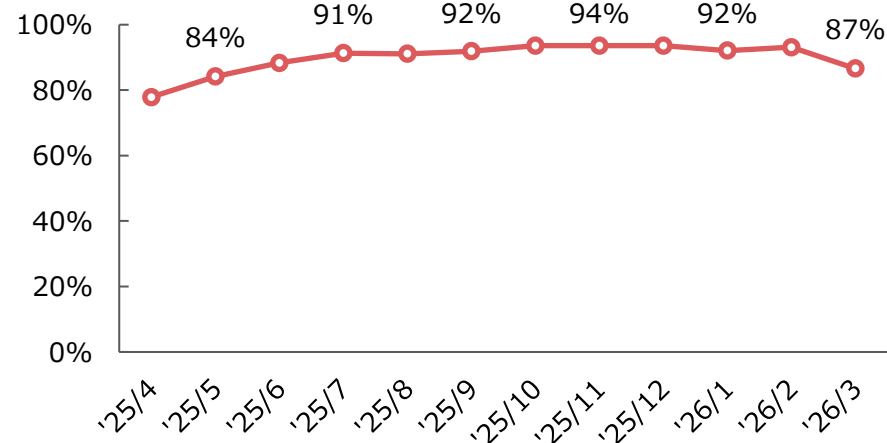
証券*2



2025年度の運用損益プラス顧客比率の状況（実現損益を含まず）



2025年度の運用損益プラス顧客比率の状況（実現損益を含む）

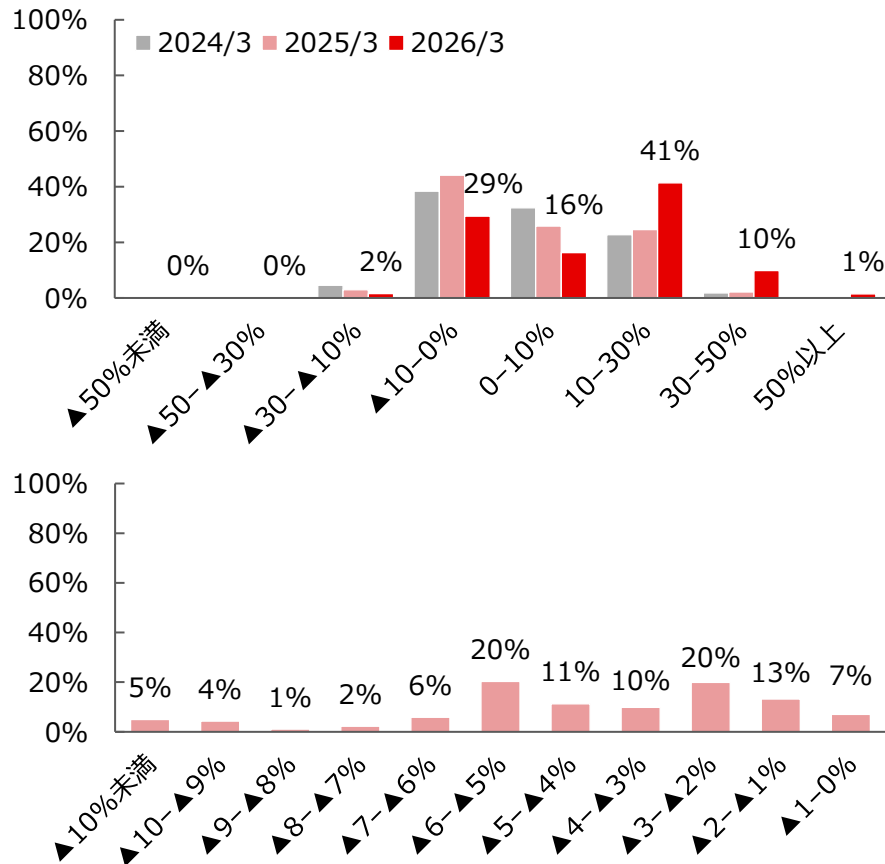


*1 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「時価総額」。現在保有中の投資信託が対象

*2 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「累積買付額」。2014年12月以降に、売却または償還となった投資信託の実現損益が対象

共通KPI

【共通KPI】ファンドラップ運用損益別顧客比率*1 信託



*1 ① MUFGファンドラップトータルリターン

【計算式】(1) 月次収益率 = $(1+r_1)(1+r_2)\dots(1+r_n) - 1$ ※ r_1-r_n : 各日次収益率

(2) 上記(1)を運用期間の月数分乗算

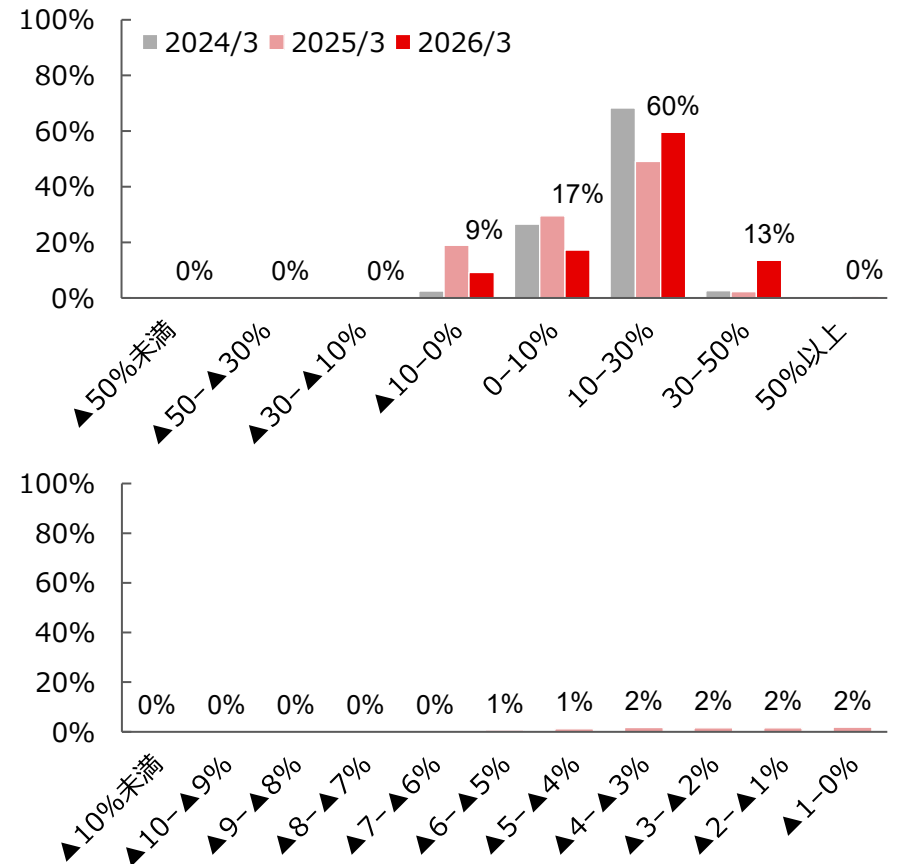
期間の収益率 $(1+R_1)(1+R_2)\dots(1+R_N) - 1$ ※ R_1-R_N : 各月次収益率

② 資産運用口座トータルリターン

【計算式】基準日時価評価金額÷投資元本 ※投資元本: 一部出金、追加増額を考慮

*2 運用損益別顧客比率計算上の分母は、「基準日時価評価金額」。分子は、「基準日時価評価金額+累計払戻金額-累計払込金額」

【共通KPI】ラップサービス運用損益別顧客比率*2 証券



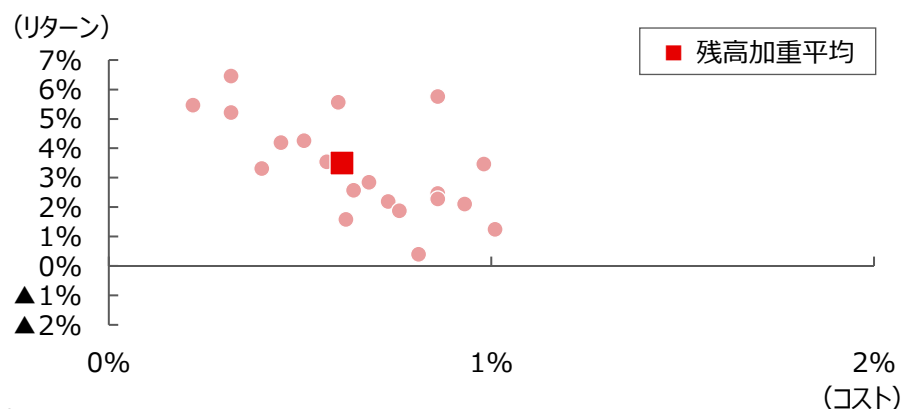
共通KPI（外貨建保険）

- 外貨建一時払保険の残高上位20銘柄のコストに対するリターン、運用損益別顧客比率をお示ししております。

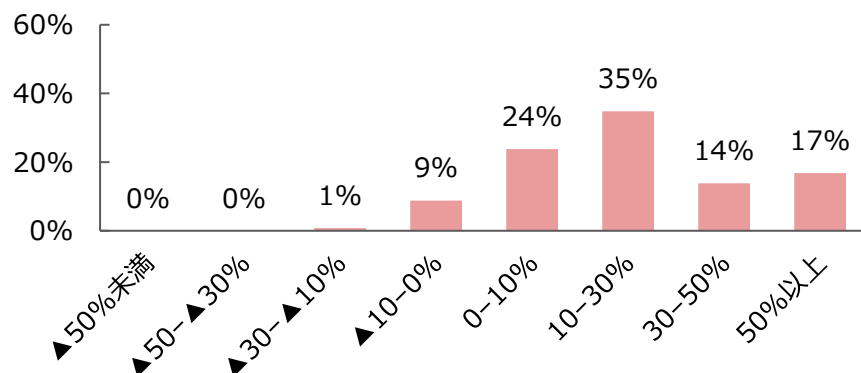
なお、保険は投資信託とは異なり保障機能を有するものの、上記の指標には同機能が反映されていないため、上記の指標のみをもって投資信託と単純に比較することは必ずしも適切ではないことに留意が必要です。また、外貨建保険の銘柄別コスト・リターンについては、投資信託の預り残高上位20銘柄のコスト・リターンと、定義とするコストの概念が異なることから、投資信託とコスト同士で比較することは適切でないことに留意が必要です。

【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト・リターン*2（2026年3月）

銀行



【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率*3



	銘柄名	コスト	リターン
1	新・フォーライフカレンシーNext	0.57%	3.54%
2	未来につなげる終身保険	0.86%	2.46%
3	ハイ・ファイブNext<米ドル建>	0.32%	5.21%
4	新・フォーライフカレンシー	0.45%	4.19%
5	ディアマイファミリー	0.51%	4.25%
6	生涯プレミアムワールド4	0.73%	2.19%
7	My年金Best外貨	0.32%	6.45%
8	ディアマイファミリーII	1.01%	1.24%
9	フォーライフカレンシーNeo	0.40%	3.31%
10	贈るよろこび	0.68%	2.84%
11	生涯プレミアムワールド3	0.62%	1.58%
12	外貨建・エブリバディプラス	0.60%	5.56%
13	プレミアプレゼント	0.86%	2.28%
14	未来を楽しむ終身保険	0.98%	3.46%
15	豪ドルターゲットプラス2	0.81%	0.39%
16	ロングドリームGOLD	0.64%	2.57%
17	豪ドルターゲットプラス3	0.93%	2.10%
18	生涯プレミアム	0.22%	5.46%
19	米ドルターゲットプラス2	0.76%	1.87%
20	ロングドリームGOLD3	0.86%	5.76%
	残高加重平均 (■)	0.61%	3.49%

*1 2026年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預かり残高（最大）上位20銘柄

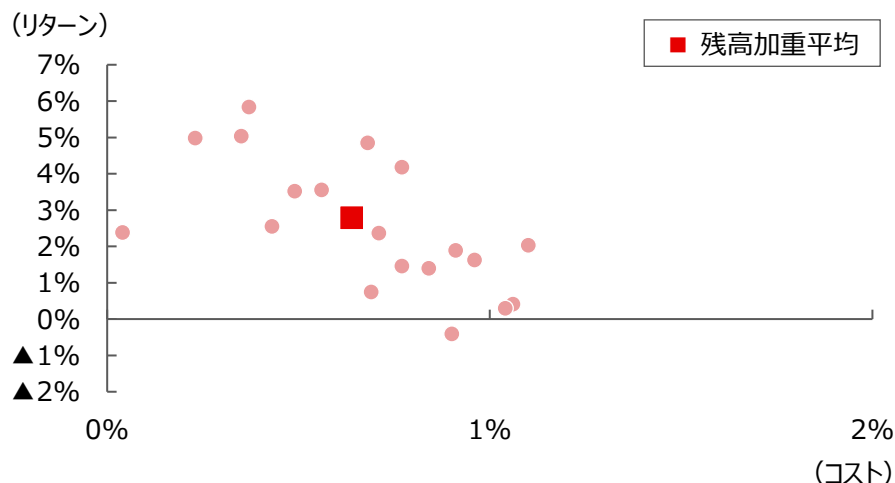
*2 コスト：（「新契約手数料率」＋「継続手数料率」×支払回数（基準日時点での実支払回数））を経過月数を用いて年率換算 ※個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な場合は、各販売会社が定めた手数料率を使用 リターン：基準日時点の解約返戻金額÷基準日までの既支払金額の増加率を年率換算

*3 2026年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

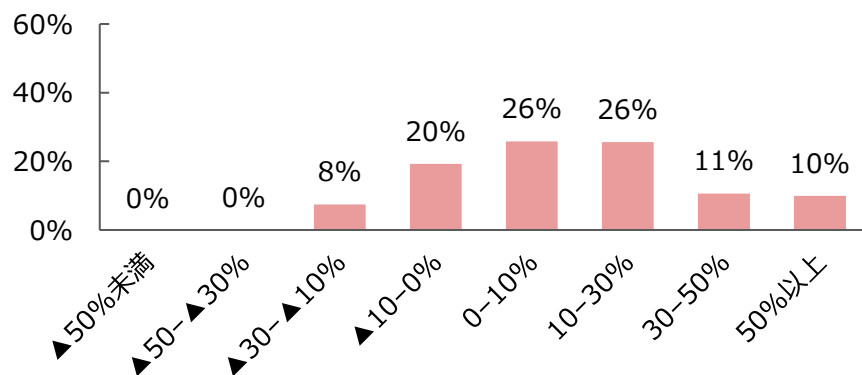
共通KPI（外貨建保険）

【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト・リターン*2（2025年3月）

銀行



【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率*3



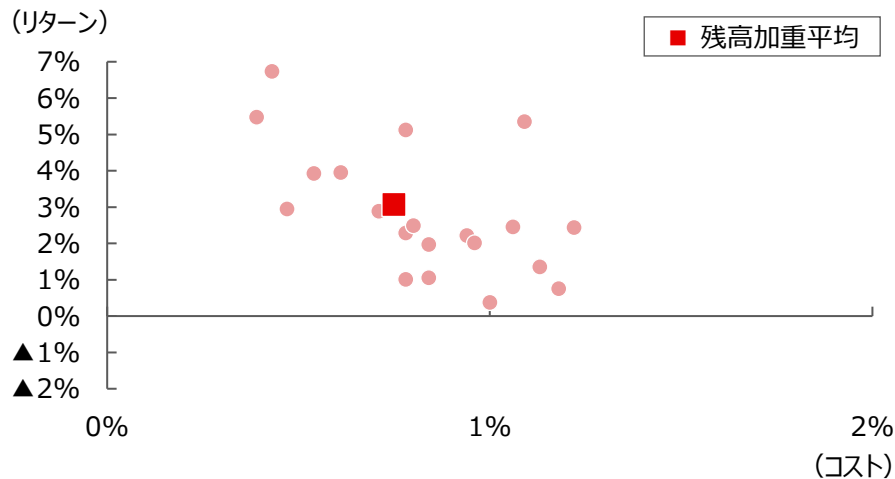
銘柄名	コスト	リターン
1 新・フォーライフカレンシーNext	0.63%	2.69%
2 未来につなげる終身保険	0.96%	1.62%
3 ハイ・ファイブNext<米ドル建>	0.35%	5.03%
4 新・フォーライフカレンシー	0.49%	3.52%
5 ディアマイファミリー	0.56%	3.55%
6 生涯プレミアムワールド4	0.77%	1.46%
7 My年金Best外貨	0.37%	5.83%
8 フォーライフカレンシーNeo	0.43%	2.55%
9 ディアマイファミリーII	1.06%	0.41%
10 贈るよろこび	0.04%	2.38%
11 外貨建・エブリバディプラス	0.68%	4.85%
12 生涯プレミアムワールド3	0.69%	0.74%
13 豪ドルターゲットプラス2	0.90%	▲0.41%
14 未来を楽しむ終身保険	1.10%	2.03%
15 プレミアプレゼント	0.91%	1.89%
16 生涯プレミアムワールド5	0.77%	4.18%
17 ロングドリームGOLD	0.71%	2.36%
18 豪ドルターゲットプラス3	1.04%	0.29%
19 米ドルターゲットプラス2	0.84%	1.39%
20 生涯プレミアム	0.23%	4.98%
残高加重平均 (■)	0.64%	2.78%

*1 2025年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預かり残高（最大）上位20銘柄 *2 コスト：（「新契約手数料率」＋「継続手数料率」×支払回数（基準日時点での実支払回数）を経過月数を用いて年率換算 ※個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な場合は、各販売会社が定めた手数料率を使用
リターン：基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算 *3 2025年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

共通KPI（外貨建保険）

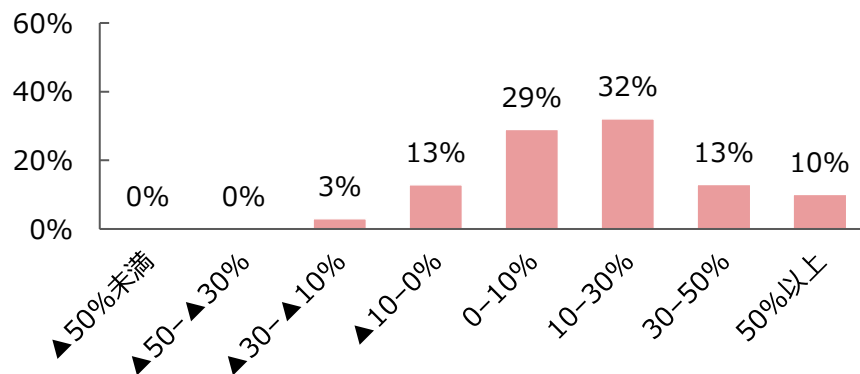
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト・リターン*2（2024年3月）

銀行



	銘柄名	コスト	リターン
1	新・フォーライフカレンシーNext	0.71%	2.88%
2	未来につなげる終身保険	1.06%	2.45%
3	ハイ・ファイブNext<米ドル建>	0.39%	5.47%
4	新・フォーライフカレンシー	0.54%	3.92%
5	ディアマイファミリー	0.61%	3.95%
6	生涯プレミアムワールド4	0.84%	1.97%
7	フォーライフカレンシーNeo	0.47%	2.94%
8	My年金Best外貨	0.43%	6.73%
9	生涯プレミアムワールド3	0.78%	1.01%
10	豪ドルターゲットプラス2	1.00%	0.37%
11	ディアマイファミリーII	1.13%	1.35%
12	豪ドルターゲットプラス	0.84%	1.05%
13	外貨建・エブリバディプラス	1.09%	5.35%
14	贈るよろこび	0.78%	2.28%
15	未来を楽しむ終身保険	1.22%	2.43%
16	豪ドルターゲットプラス3	1.18%	0.75%
17	米ドルターゲットプラス2	0.94%	2.21%
18	ロングドリームGOLD	0.80%	2.49%
19	プライムターゲット（外貨）	0.96%	2.01%
20	米ドルターゲットプラス	0.78%	5.12%
	残高加重平均（■）	0.75%	3.06%

【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率*3

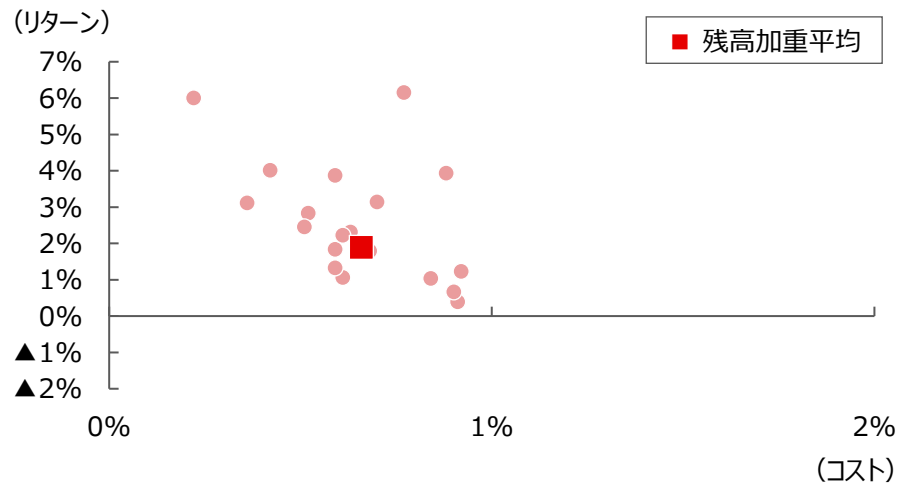


*1 2024年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預かり残高（最大）上位20銘柄 *2 コスト：（「新契約手数料率」＋「継続手数料率」）×支払回数（基準日時点での実支払回数）を経過月数を用いて年率換算 ※個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な場合は、各販売会社が定めた手数料率を使用
リターン：基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算 *3 2024年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

共通KPI（外貨建保険）

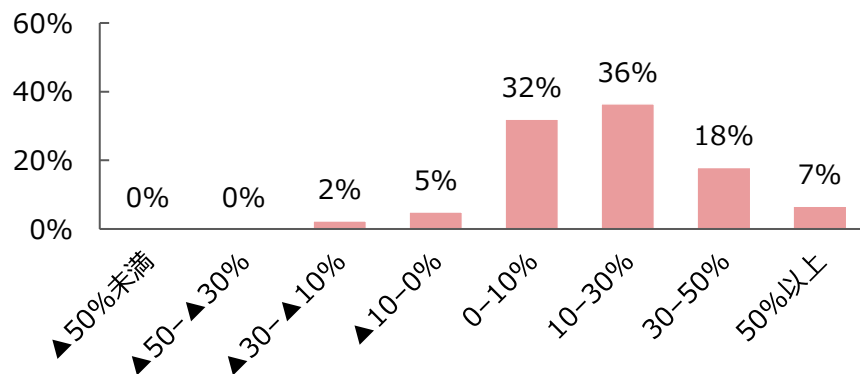
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄*¹ 3箇年のコスト・リターン*²（2026年3月）

信託



	銘柄名	コスト	リターン
1	生涯プレミアム・ワールド3	0.59%	1.83%
2	ロングドリームGOLD	0.61%	1.06%
3	生涯プレミアム・ワールド4	0.68%	1.79%
4	ファイブストーリーズプラス	0.91%	0.39%
5	生涯プレミアム・ワールド5	0.91%	0.39%
6	フォーライフセレクト	0.52%	2.83%
7	プレミアプレゼント	0.70%	3.14%
8	外貨建・エブリバディプラス	0.51%	2.45%
9	プレミアカレンシー・プラス2	0.63%	2.31%
10	ディアマイファミリーII	0.92%	1.23%
11	やさしさ、つなぐ	0.59%	3.87%
12	ディアマイファミリー	0.42%	4.01%
13	プレミアカレンシー・プラス	0.59%	1.32%
14	生涯プレミアム・ワールド2	0.36%	3.11%
15	ロングドリームGOLD2	0.77%	6.15%
16	生涯プレミアム	0.22%	6.00%
17	プレミアベスト	0.61%	2.22%
18	ロングドリームGOLD3	0.88%	3.93%
19	プレミアカレンシー3	0.90%	0.66%
20	プレミアジャンプ3・年金（外貨建）	0.84%	1.03%
	残高加重平均（■）	0.66%	1.88%

【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率*³

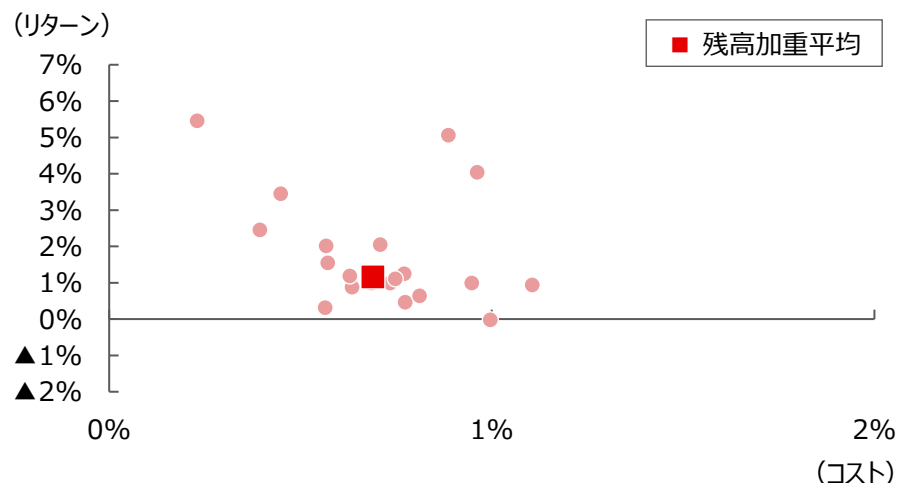


*¹ 2026年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預かり残高（最大）上位20銘柄 *² コスト：（「新契約手数料率」＋「継続手数料率」×支払回数（基準日時点での実支払回数）を経過月数を用いて年率換算 ※個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な場合は、各販売会社が定めた手数料率を使用
リターン：基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算 *³ 2026年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

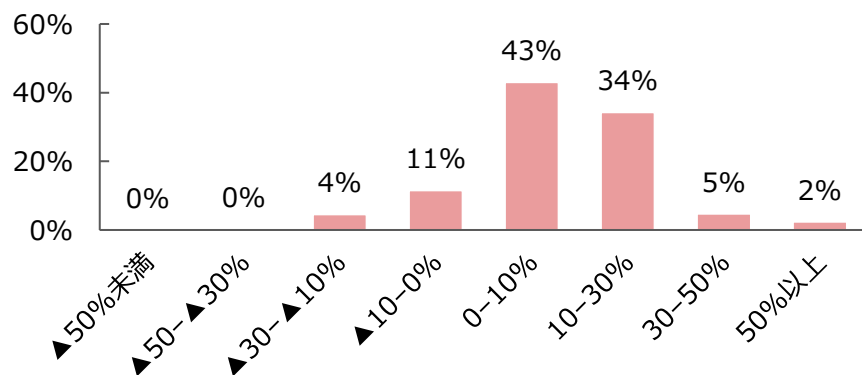
共通KPI（外貨建保険）

【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト・リターン*2（2025年3月）

信託



【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率*3



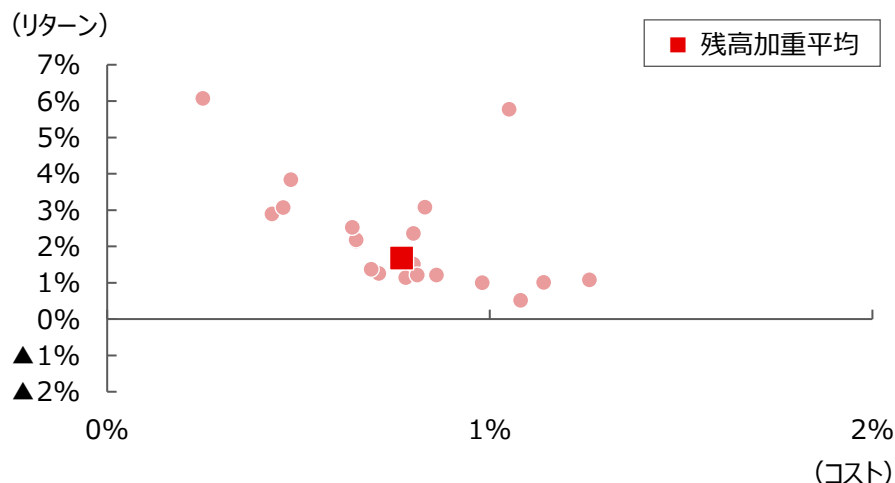
銘柄名	コスト	リターン
1 生涯プレミアム・ワールド3	0.63%	0.88%
2 ロングドリームGOLD	0.69%	0.99%
3 生涯プレミアム・ワールド4	0.73%	0.99%
4 プレミアプレゼント	0.77%	0.46%
5 プレミアカレンシー・プラス2	0.71%	2.05%
6 外貨建・エブリバディプラス	0.57%	2.01%
7 ディアマイファミリーII	1.00%	▲0.02%
8 フォーライフセレクト	0.57%	1.55%
9 やさしさ、つなぐ	0.56%	0.31%
10 プレミアジャンプ・年金（外貨建）	0.77%	1.24%
11 ディアマイファミリー	0.45%	3.45%
12 プレミアカレンシー・プラス	0.63%	1.18%
13 ラップドリーム	1.11%	0.94%
14 生涯プレミアム・ワールド2	0.39%	2.45%
15 ロングドリームGOLD2	0.89%	5.05%
16 生涯プレミアム	0.23%	5.45%
17 プレミアベスト	0.81%	0.63%
18 プレミアジャンプ3・年金（外貨建）	0.95%	0.99%
19 プレミアジャンプ	0.75%	1.11%
20 ロングドリームGOLD3	0.96%	4.04%
残高加重平均（■）	0.69%	1.15%

*1 2025年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のものに限った外貨建一時払保険の預かり残高（最大）上位20銘柄 *2 コスト：（「新契約手数料率」＋「継続手数料率」×支払回数（基準日時点での実支払回数）を経過月数を用いて年率換算 ※個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な場合は、各販売会社が定めた手数料率を使用
リターン：基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算 *3 2025年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

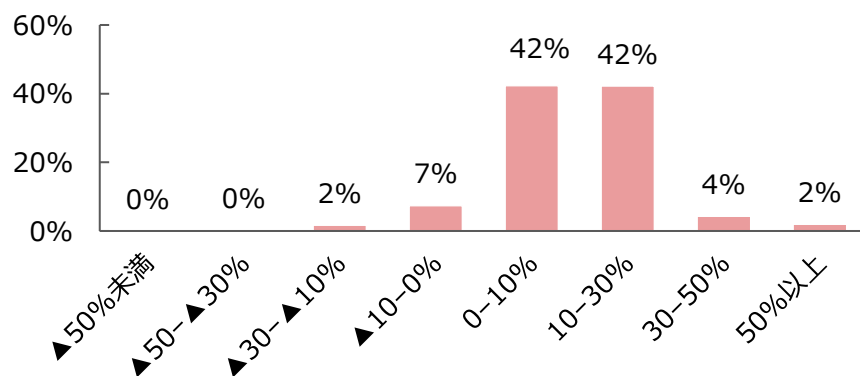
共通KPI（外貨建保険）

【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト・リターン*2（2024年3月）

信託



【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率*3



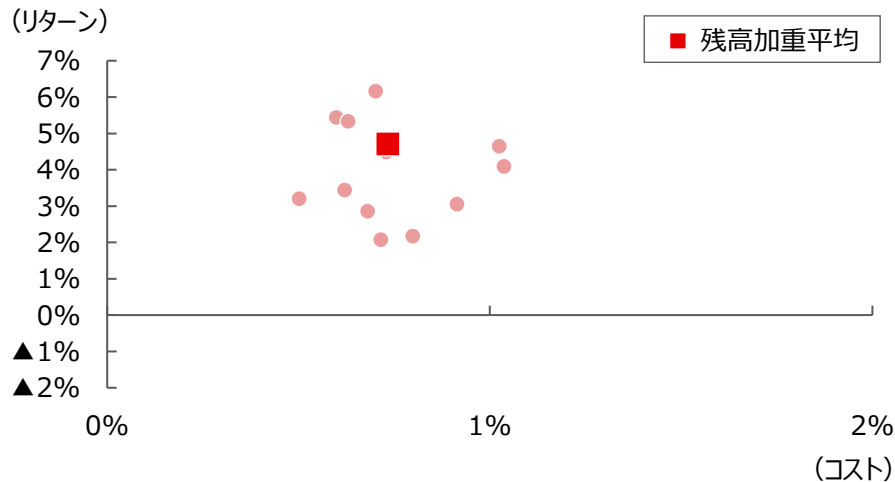
	銘柄名	コスト	リターン
1	生涯プレミアム・ワールド3	0.71%	1.25%
2	ロングドリームGOLD	0.78%	1.14%
3	生涯プレミアム・ワールド4	0.80%	1.51%
4	フォーライフセレクト	0.65%	2.14%
5	プレミアカレンシー・プラス2	0.80%	2.35%
6	外貨建・エブリバディプラス	0.65%	2.18%
7	プレミアプレゼント	0.83%	3.08%
8	プレミアジャンプ	0.81%	1.21%
9	ディアマイファミリーII	1.08%	0.51%
10	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	0.86%	1.21%
11	プレミアカレンシー・プラス	0.69%	1.37%
12	ディアマイファミリー	0.48%	3.83%
13	ラップドリーム	1.26%	1.08%
14	やさしさ、つながり	0.64%	2.52%
15	生涯プレミアム・ワールド2	0.43%	2.89%
16	ロングドリームGOLD2	1.05%	5.77%
17	生涯プレミアム	0.25%	6.07%
18	プレミアベスト	0.98%	1.00%
19	プレミアジャンプ3・年金（外貨建）	1.14%	1.01%
20	わくわくターゲット	0.46%	3.07%
	残高加重平均（■）	0.77%	1.67%

*1 2024年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預かり残高（最大）上位20銘柄 *2 コスト：（「新契約手数料率」＋「継続手数料率」×支払回数（基準日時点での実支払回数）を経過月数を用いて年率換算 ※個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な場合は、各販売会社が定めた手数料率を使用
リターン：基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算 *3 2024年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

共通KPI（外貨建保険）

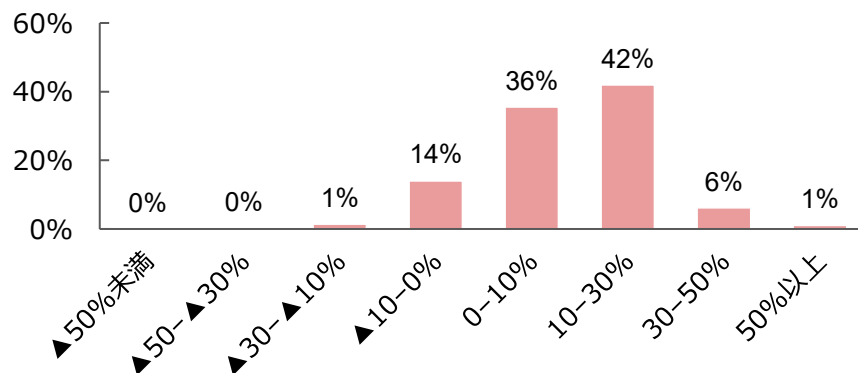
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト・リターン*2（2026年3月）

証券



	銘柄名	コスト	リターン
1	エムソリューション終身保険型	0.80%	2.17%
2	プレシャスギフト	0.50%	3.20%
3	やさしさ、つなぐ	0.68%	2.86%
4	プレミアプレゼント	0.73%	4.49%
5	エムソリューション年金型	0.91%	3.05%
6	しあわせ、ずっと	0.70%	6.16%
7	エムステップ	0.79%	8.45%
8	ビー ウィズ ユー プラス	1.04%	4.09%
9	ロングドリームGOLD	0.60%	5.44%
10	プレミアプレゼント2	1.02%	4.65%
11	しあわせ、ずっと2	0.82%	8.13%
12	プレミアベスト	0.62%	3.43%
13	プライムターゲット2（外貨）	0.71%	2.07%
14	プレミアカレンシー・プラス2	0.63%	5.33%
15	プライムターゲット2・年金（外貨）	0.73%	4.70%
	残高加重平均（■）	0.73%	2.86%

【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率*3

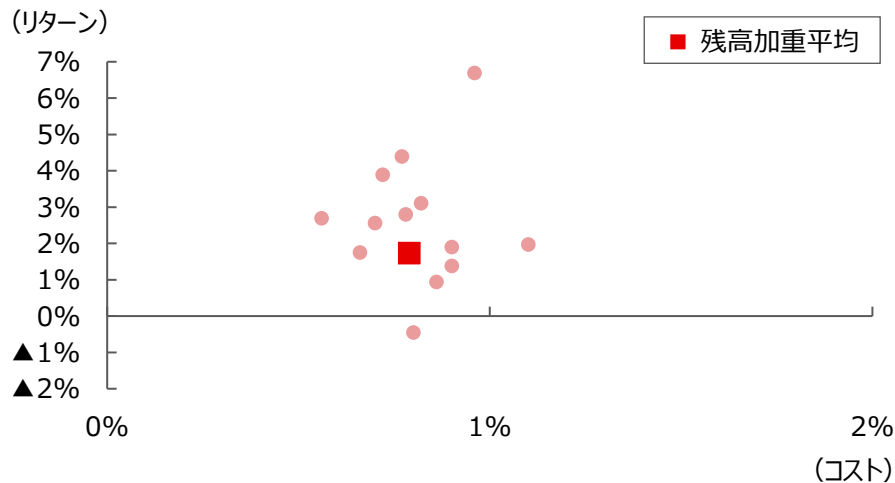


*1 2026年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預かり残高（最大）上位20銘柄 *2 コスト：（「新契約手数料率」＋「継続手数料率」×支払回数（基準日時点での実支払回数）を経過月数を用いて年率換算 ※個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な場合は、各販売会社が定めた手数料率を使用
リターン：基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算 *3 2026年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

共通KPI（外貨建保険）

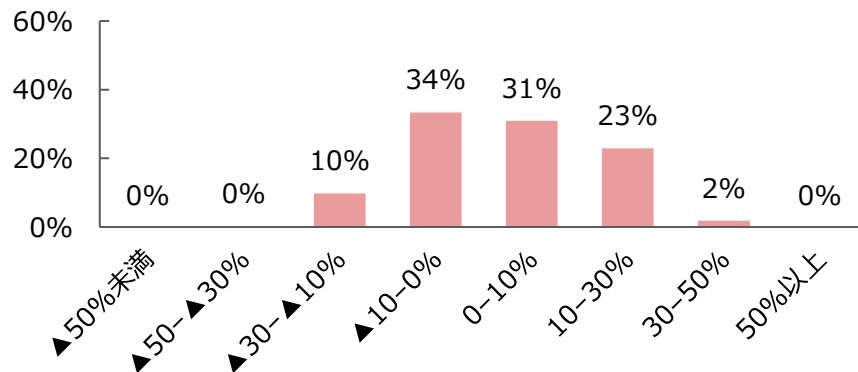
【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト・リターン*2（2025年3月）

証券



	銘柄名	コスト	リターン
1	エムソリューション終身保険型	0.86%	0.94%
2	プレシャスギフト	0.56%	2.69%
3	プレミアプレゼント	0.82%	3.10%
4	やさしさ、つなぐ	0.66%	1.75%
5	エムソリューション年金型	0.90%	1.90%
6	しあわせ、ずっと	0.77%	4.39%
7	ビー ウイズ ユー プラス	1.10%	1.97%
8	ロングドリームGOLD	0.72%	3.89%
9	エムステップ	0.96%	6.69%
10	プレミアベスト	0.90%	1.38%
11	しあわせ、ずっと2	0.97%	7.24%
12	プライムターゲット2（外貨）	0.80%	▲0.46%
13	プライムターゲット2・年金（外貨）	0.78%	2.79%
14	プレミアカレンシー・プラス2	0.70%	2.56%
	残高加重平均（■）	0.79%	1.72%

【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率*3

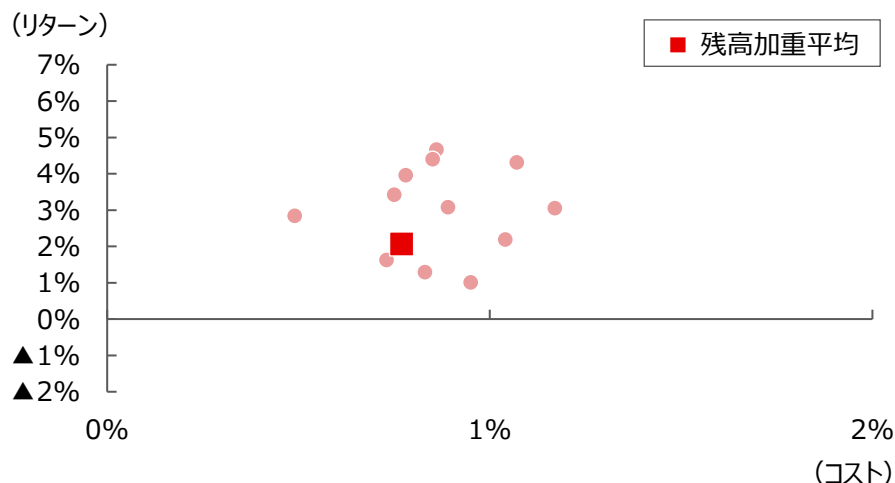


*1 2025年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預かり残高（最大）上位20銘柄 *2 コスト：（「新契約手数料率」＋「継続手数料率」×支払回数（基準日時点での実支払回数）を経過月数を用いて年率換算 ※個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な場合は、各販売会社が定めた手数料率を使用
リターン：基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算 *3 2025年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

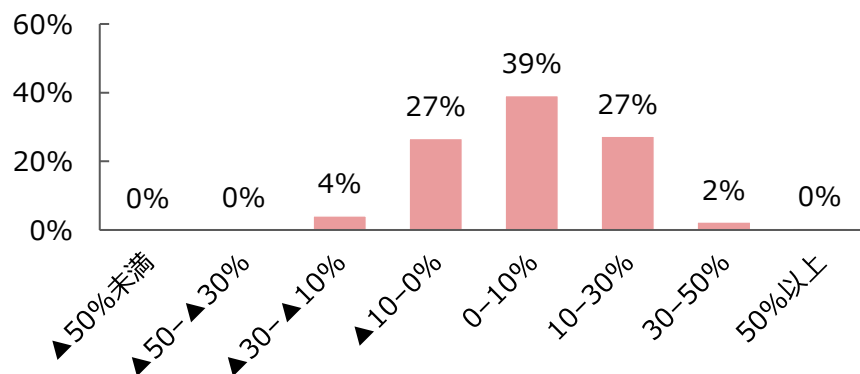
共通KPI（外貨建保険）

【共通KPI】外貨建一時払保険の預かり残高上位20銘柄*1 3箇年のコスト・リターン*2（2024年3月）

証券



【共通KPI】外貨建一時払保険損益別顧客比率*3



*1 2024年3月時点で、保険契約開始から5年を越える商品のみに限った外貨建一時払保険の預かり残高（最大）上位20銘柄 *2 コスト：（「新契約手数料率」+「継続手数料率」×支払回数（基準日時点での実支払回数）を経過月数を用いて年率換算 ※個別契約毎に手数料率の紐づけが困難な場合は、各販売会社が定めた手数料率を使用
リターン：基準日時点の解約返戻金額+基準日までの既支払金額の増加率を年率換算 *3 2024年3月時点で契約している外貨建一時払保険の全量が対象

ディスクレーマー

※ 当資料におけるMUAMの「ファンドアワード受賞本数」

- 「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。
- LSEG リッパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。選定に際しては、「Lipper Leader Rating（リッパー・リーダー・レーティング）システム」の中の「コンシスタント・リターン（収益一貫性）」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにLSEG リッパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、<https://www.lipperfundawards.com/>をご覧ください。LSEG Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

※ 当資料におけるMUAMの「Fundmark レーティング4以上のファンド本数」

- NRIは、国内で販売されている追加型投資信託※の運用実績を用いて、各商品ごとにパフォーマンスの比較・評価を行っています。運用方針や運用実態に沿って投資信託の分類（Fundmark分類：約300分類）を行い、同一分類内において、投資信託のパフォーマンス（リスク調整後リターン）を相対的に評価し、5段階の評価（Fundmarkレーティング）を発表しています。
- 追加型投資信託の内、評価対象となるものは、アクティブファンド、トラックレコードが3年以上のファンド、過去3年の平均運用残高が10億円以上、かつ評価最終月末の運用残高が10億円以上のものに限る（ひとたび評価対象となった場合には、評価期間中の平均運用残高が10億円以上、かつ評価最終月末の運用残高が8億円以上であれば対象を継続）。また、上記の条件を満たす投資信託が10本以上存在するカテゴリ（小分類を為替分類で細分化した分類）に属するものに限る。
- Fundmarkはあくまで過去のデータを分析したものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。Fundmarkは、投資判断・資産運用の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘等を目的としたものではありません。Fundmarkのいかなる部分も、その著作権、知的財産権その他一切の権利は、株式会社野村総合研究所又はその許諾者に帰属しており、電子的方法又は機械的方法を問わず、いかなる目的であれ、株式会社野村総合研究所の書面による同意なしに、無断で複製、引用、転載又は転送等を行うことを禁止いたします。株式会社野村総合研究所は、Fundmarkの正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等につき、いかなる保証も行いません。また、Fundmarkの利用に起因する利用者およびその他第三者のいかなる損害についても、株式会社野村総合研究所は一切の責任を負いません。

※ 当資料におけるMUAMの「商品に関する顧客推奨度」

- 調査概要／対象者：追加型株式投信（除くETF）残高上位9社（2025年12月末基準）のファンドを保有する、対象運用会社の投信を3年以内に購入した全国20-79歳の男女を対象としたインターネット調査（株式会社マクロミル社に調査を委託）。
- 当社を含む運用会社各社の投資信託をお持ちのお客さまに対して、「〇〇（運用会社名）の商品について、あなたは友人や知人にどの程度薦めますか。ぜひ薦めたい：10点、全く薦めたくない：0点として、11段階から選択してください。」と質問し、各社のNPSを調査したものです。
- NPS® は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、NICE Systems, Inc.の登録商標又はサービスマークです。